近江八幡市民病院整備運営事業

＜募集要項　別添資料 4＞

施設要求性能書 及び

維持管理、運営等に関する業務要求水準書

＜本資料の構成＞

第 1 部　　施設要求性能書

第 2 部　　維持管理、運営等に関する業務要求水準書

付属資料　　業務分担表

平成 13 年 11 月

近江八幡市

第１部

施設要求性能書

目　次

ア　病院施設整備業務 1

① 施設整備に係る事前調査及びその関連業務 1

② 施設整備に係る設計（基本設計・実施設計）及びその関連業務 2

第１　総則 2
第２　計画地の条件に関する事項 3
第３　建設計画に関する事項 5

③ 施設整備に係る建設工事（造り付け家具等を含む。）及びその関連業務 111

④ 備品（家具等を含む。）等の調達・設置業務 112

⑤ 医療機器の調達・整備業務 116

⑥ 総合医療情報システムの開発・整備業務 138

⑦ 工事監理業務 139

⑧ 周辺影響調査・対策業務 140

⑨ 電波障害調査・対策業務 141

⑩ 建設工事に伴う各種申請等業務 142

⑪ 補助金・許認可等申請補助業務 143

【図１】　事業計画地位置図
【図２】　測量図
【図３】　近隣地質調査図：近江八幡市立桐原東小学校
【図４】　近隣地質調査図：近江八幡市総合福祉センターひまわり館
【図５】　埋蔵文化財調査範囲図
【図６】　電波到来方向図
【図７】　敷地計画図
【図８】　解体撤去配置図

※　本目次の項目は、募集要項「第 2 事業概要　4.事業内容」掲載の業務 No. に対応しています。

ア　病院施設整備業務

①　施設整備に係る事前調査及びその関連業務

項目	内容
1．業務の目的	免震構造を前提とした病院の設計、施工に必要な地盤情報を得る。
2．業務内容	(1)　地質調査 応募者が必要と判断したポイントについて、下記等の必要とされる調査を実施する。 1）ボーリング、標準貫入試験 2）孔内水平載荷試験の実施 3）透水試験 4）室内土質試験（三軸試験、圧密試験、土粒子の密度試験、含水比試験、粒土試験、湿潤密度試験等） 5）ＰＳ検層、密度検層、キャリパー検層 6）常時微動測定 他 (2)　模擬地震波作成解析 模擬地震波を発生させ必要な解析を実施する。

ア　病院施設整備業務

②　施設整備に係る設計（基本設計・実施設計）及びその関連業務

第1　総則

項目		内容
1. 設計業務	(1) 対象	本施設要求性能書における、ア　病院施設整備業務の「②施設整備に係る設計（基本設計・実施設計）及びその関連業務」に基づき、下記の設計業務等を実施する。 ○ 病院施設 ① 病院本体（病院本館及びエネルギー部門） ② 付帯施設 植栽（庭園を含む）、駐車場、駐輪場、ヘリコプター緊急離発着場、車庫、塀、門扉、擁壁、構内道路、公告掲示板、サイン板・案内板、調整池　他
	(2) 内容	① 基本設計業務 ② 実施設計業務 ③ 上記設計業務に伴う院内調整業務 ④ 上記設計業務に伴う近隣説明業務 ⑤ その他必要関連業務
2. 適用法令等		① 地方公営企業法 ② 医療法 ③ 建築基準法 ④ 都市計画法 ⑤ 河川法 ⑥ 消防法 ⑦ 高齢者・身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律（ハートビル法） ⑧ 健康保険法 ⑨ 老人保健法 ⑩ 薬事法 ⑪ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 ⑫ エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法） ⑬ 水道法 ⑭ 下水道法 ⑮ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ⑯ 水質汚濁防止法 ⑰ 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律 ⑱ 高圧ガス保安法 ⑲ 滋賀県住みよい福祉のまちづくり条例 ⑳ 近江八幡市病院事業の設置等に関する条例 ※ 上記に関するすべての関連施行令・規則等についても含むものとし、また本事業を行うに当たり必要とされる関係法令及び県・市条例についても遵守すること。
3. 適用基準等		各基準の最新版を適用する。ただし、同等程度の性能を確保した場合においてはこの限りでない。なお、各基準に定めのないものについては、市の担当者の確認を必要する。 ① 建築工事共通仕様書及び標準詳細図 （建設大臣官房官庁営繕部監修） ② 電気設備工事共通仕様書及び同標準図 （建設大臣官房官庁営繕部監修） ③ 機械設備工事共通仕様書及び同標準図 （建設大臣官房官庁営繕部監修） ④ 建築設備設計基準・同要領（建設大臣官房官庁営繕部監修） ⑤ 建築設備耐震設計・施工指針（建設省住宅局建築指導課監修） ⑥ 昇降機耐震設計・施工指針（財団法人日本建築センター編集）

第2　計画地の条件に関する事項

項目			内容
1．敷地環境	(1) 地区地番		近江八幡市土田町地先
	(2) 敷地面積		約56,000㎡
	(3) 法的条件		
	1) 区域		都市計画区域（市街化調整区域）
	2) 用途地域		無指定
	3) 形態規制		
	ア　建ぺい率		70%
	イ　容積率		400%
	ウ　斜線制限		
	（建築基準法第56条）		
	道路斜線		1:1.5
	隣地斜線		31m＋1:2.5
	北側斜線		該当せず
	4)　防火指定		22条指定地域
	(4) 計画地の位置		ＪＲ近江八幡駅の北西約1.5㎞に位置する。現在の市民病院からは、西に約1.0㎞に位置している。(【図1】を参照)
	(5) 周辺環境		敷地の南に桐原東小学校、東に白鳥川、西に藤間川が流れている他、周囲は水田となっている。
	(6) 計画場所の現状及び造成等の予定		平成13年　9月現在：水田（休耕田）・ 平成14年　3月末　：文化財発掘調査完了予定 平成14年 10月～　：文化財追加調査（最長6ヶ月間） 平成15年　3月末　：埋め戻し工事完了予定 平成15年度　　：着工前貸与開始予定
2．形状			【図2】測量図を参照
3．地質条件			地質調査は、施設要求性能書におけるア病院施設整備業務の「①施設整備に係る事前調査及びその関連業務」に含む。また、参考資料として、次の近隣地質調査結果を示す。 近江八幡市立桐原東小学校（【図3】） 近江八幡市総合福祉センターひまわり館（【図4】）
4．道路条件	前面道路	道路名	市道黒橋八木線
		幅員	約24m(計画)
		道路側溝	有
		道路状況	敷地との高低差　：【図7】敷地計画図参照
			工事車両の進入路：前面道路
		建基法の定義	法第42条第1号
		管理者	近江八幡市長

項目				内容
5．供給処理基盤	(1) 用水	公共水道	市水道	市水道
			道路の設備	前面道路北側歩道に水道本管（φ250㎜）
	(2) 井水			提案による
	(3) 排水		公共下水道	生活排水のみ
				前面道路内下水本管（φ300㎜又はφ200㎜）開院までに埋設・供用開始予定
			水路・河川等	雨水のみ放流予定
			浄化槽	不要
			特殊排水処理	要
	(4) ガス			ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ（現状では都市ガス供給基盤無し）
	(5) 電力		引込	地中
			電力管路	無
			受電方式	2方向受電方式
	(6) 電話		引込	地中
			電話管路	無
	(7) ＴＶ	ＣＡＴＶ	引込	地中
			管路	無
6．埋蔵文化財調査区域				現在文化財調査中であり、平成14年3月末完了予定である。調査区域は【図5】による。但し、提案による病院の位置が、市が想定した位置と相違する場合には追加調査を行う。 追加調査可能面積　約3,000㎡ 追加調査期間　平成14年10月(契約予定日)～平成15年3月末日

第3　建設計画に関する事項

項目		内容
1.　基本方針		
(1)病院名称		近江八幡市民病院
(2)基本理念		① 患者の権利を尊重し、協働（チーム医療）を実践することにより市民に信頼される医療に努めます。 ② 東近江地域の中核病院として、最先端医療機器を備えた高度急性期医療を提供します。 ③ 予防医療からリハビリテーション医療までを含めた包括的医療を提供します。 ④ 地域の医療機関と連携を図り適切な医療を提供します。
(3)基本コンセプト		市民に信頼される病院
(4)運営方針	患者サービスにおいて	① 憩いのある環境と患者・家族に優しい病院を志向します。 ② 利用しやすく、分かりやすく、かつ待たずに済む病院を志向します。
	病院運営において	① 医療の質的向上を志向します。 ② 市民に開かれた病院を志向します。 ③ 病院の健全経営を志向します。
(5)病床数		一般病床　：430床 感染症病床：　4床
(6)診療科		総合内科（一般内科・呼吸器科・代謝内分泌科）、 消化器科、循環器科、精神科（心療内科）、神経内科、 小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、 産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、 放射線科、麻酔科、救急診療科
(7)新病院の役割	1）急性期医療の提供	東近江地域の中核病院として、診療所との病診連携や地域医療機関との病病連携を積極的に促進するため、最先端医療機器を備え、高度急性期医療の充実を図ります。また、質の高い医療を提供するために、クリニカルパスを定め、チーム医療を実践します。
	2）地域医療支援病院	診療所等「かかりつけ医」に対する支援と連携を基本とし、紹介患者の積極的受け入れを行うため、地域医療支援病院の取得を目標に地域医療連携室を充実します。 また、施設・設備等の共同利用の推進を図るとともに、地域医療従事者の研修等に対応するため医師会連携室を新設します。
	3）救急医療の充実	東近江地域の中核病院として安心と安全の医療を提供するため救急医療の充実を図ります。救急診療科（救急センター）の設置に加え、ＩＣＵ、ＣＣＵ（集中治療部門）を新設します。

項目		内容
	4）臨床研修病院の指定	新病院の質的向上を一層図るため、臨床研修病院の指定をめざします。この為に、精神科（心療内科・外来）の新設及び放射線治療施設を設置します。
	5）健診センターの充実	市民の健康に対する意識の向上や予防医学の重要性に鑑み、健診事業の充実を図ります。
	6）リハビリテーション医療の充実	早期離床、早期退院を図るために回復期医療機能の充実及びリハビリテーション医療機能の充実を図ります。
	7）災害拠点病院としての充実	免震構造建築を取り入れ、また、備蓄倉庫を設けるなどして、施設・設備面を拡充し、災害拠点病院としての機能を充実します。
2．全般		(1) 新病院の予定地は現病院から官庁街を西へ約1.0㎞の一級河川白鳥川、藤間川に囲まれた田園地帯であることなどを踏まえ、次の事項に配慮した配置計画とする。 ・豊かな自然環境や良好な生活環境の保全・整備を行う。 ・周辺への日照及び景観上の調和を考慮する。 ・市民に開かれた病院として敷地へのアプローチ計画を行う。 ・十分な駐車場と災害時の救助活動等に利用できるスペースを確保する。 ・将来の増築計画についても考慮したものとする。 (2) ライフサイクルコストの低減を図る。 (3) 将来にわたり再利用が可能な施設をめざす。 ・ 不変的要素（構造躯体=スケルトン）と可変的要素（内装・設備＝インフィル）の想定・分類による適切かつ柔軟な設計に配慮した、事業期間終了後の用途可変性（＝柔軟な転用可能性）に富む建築であること。 ・ 不変的要素については、100年以上にわたる保存活用を視野に入れた長寿命の建築であること。 ・ 病院の診療機能と施設性能を維持増進しつつ、施設の長寿命と運営経費の軽減を目指すため、日常的に安全快適な空間とサービスを提供しうる良好な管理運営がなされること。 (4) 将来にわたり景観上歴史的・文化的に市民から評価される施設を目指す。 ・ 本市の歴史・文化を踏まえた「調和と秩序ある都市景観」の形成に寄与する建築であること。 ・ 日常目に触れる主要建築物の意匠・形態等が、街の環境を規定し、人の意識形成や感性の醸成に影響を及ぼす可能性に鑑み、本市の将来にわたる地域づくりにとって、21世紀初頭の記念碑的建築として、これからの公的・私的建築物のリーディングデザインとしての役割を果たすことを意識した意匠であること。 ・ 歳月が経過するほどに歴史的・文化的価値の高まる建築であること。 ・ コスト、形態等総合的な判断の基、可能な範囲である程度屋上・バルコニー等の緑化が考慮されること。

項目		内容
3．配置計画（病院本体）	ゾーン	建物ゾーン・患者見舞客駐車場ゾーン・職員駐車場ゾーン及びサービス関係ゾーンを考慮したうえで、敷地内は分かりやすい動線計画とし、人と車の動線分離を図ること。
	アプローチ	南側前面道路側（仮称「正門」とする.）及び敷地北西部（仮称「西門」とする。進入用の橋を設置予定）
4．建築計画（病院本体）	延床面積	原則として32,550㎡（75㎡/床）以下とする。
	建物高さ	原則として45m以下とする。
	地下階	提案に委ねる。
	部門配置計画	配置計画の基本は、日常の診療活動における患者の利用のし易さ、スタッフ側の医療サービス提供の効率性が前提となる。また、災害時においては医療活動拠点としての機能が確保できる空間構成であることが求められる。さらに、日常の設備メンテナンス及び設備更新時等における作業が診療行為の妨げにならないよう実施できる施設計画とする。
	出入り口	（1）玄関、時間外出入口（夜間と休日の利用者・救急車以外の患者用）、救急車専用入口（救急車による搬送患者用）、職員専用出入口、サービス用出入り口等を設ける。 （2）時間外出入口と救急車専用出入口を近接する。
5．構造計画	構造	指定しない。
	免震構造	免震構造を採用する。
6．付帯施設計画	植栽	樹木配置（緑地面積）は、近江八幡市宅地等開発指導要綱により協議に基いて行われるものとし、敷地全体が緑豊かな環境となるようバランスよく配置する。（全敷地面積の10パーセント程度）
	庭園	屋外庭園の設置（屋外リハビリ庭園としての機能を付加することを想定する。）
	駐車場	患者用約550台程度、職員用約450台程度を確保する。 「滋賀県住みよい福祉のまちづくり条例」により、車いす使用者用駐車区画（屋根付）を設ける。雨天時についても考慮する。
	駐輪場	駐輪場（患者用200台程度、職員用50台程度）を確保し、屋根を設ける。
	ヘリコプター緊急離発着場	使用想定ヘリ：滋賀県防災ヘリコプター 機種：川崎式BK117B-2型 定員：10名（最大11名）　　最大全重量：3350kg （全長：13.0m、全幅：2.7m、ローター径：11.0m）
	車庫・倉庫	病院所有車5台（病院救急車を含む。）及び旧紙カルテ及びフィルム用倉庫（約100㎡・可動書架設置）を収容する。 病院本体に設置することも可能。
	塀・柵	周辺環境と調和を図り、全周に塀（乗り越えられない程度）を設ける。ただし、前面道路側は植栽等美観を考慮したものとする。
	門扉	設置する。（緊急時閉鎖可能）
	擁壁	造成及び付帯施設計画による必要箇所に設ける。

項目		内容
	舗装	構内舗装は浸透性舗装も含め、考慮する。
	サイン・案内	診療案内、公告掲示板等を設ける。サイン・案内は解りやすく見やすい表示とし、適宜配置する。
	調整池	敷地内に約7,500ｔを想定しているが、各許認可申請に伴い容量の決定の上対応のこと。
	路線バスの乗り入れスペース	敷地内乗り入れを想定する。

項目		内容
7. 設備計画		
(1) 本計画にかかる基本方針		本施設は、患者が快適で安全に過ごせる空間を提供するものである。快適性については、患者の立場に立った計画が必要である。また、安全性に関しては、院内感染といった衛生面で万全を期すことはもとより、災害時において本施設が地域医療の拠点として機能することを考慮する。加えて、省エネルギー･省資源の考え方を積極的に取り入れ、地球環境に与える負荷を軽減すると同時に、経済性、耐久性･メンテナンス性･更新時の対応に充分に配慮する。 1) 安全性・信頼性の確保 2) 周辺環境の汚染防止 3) 負荷の抑制 4) 自然エネルギーの有効利用 5) 搬送エネルギーの低減化 6) 維持管理費の削減 7) 設備材料の合理的耐久性 8) 廃棄物の削減 9) 低環境負荷材料の採用 10) 更新性・拡張性の確保
(2) 防災対策	基本方針	本施設は、災害拠点病院（地域災害医療センター）として地域医療の中心施設に位置づけられるものであり、災害時において機能を十分に保持できる設備である必要がある。特に、建築とともに免震対策を施した計画とすると同時に、一次災害・二次災害双方に耐えうる計画とする。
	インフラ引込みにおける免震対策	本施設は、建物全体を免震工法とすることで一次災害対策としている。この工法では、インフラの各種配管が建物と地面との間で引張り・圧縮応力及びせん断力をうけるため、応力を吸収する免震継手を設置する。
	電力の確保	電源には商用電源及び非常用発電電源の2種があり、相互間のバックアップ体制を確立し、設備保守及び更新時においての継続的電源供給と災害時の電源供給を確保する。
	通信・連絡網の確保	施設の活動に必要な通信機能を確保するため、通信網の途絶及び輻輳対策に配慮する。
	エネルギーの確保	エネルギーは、災害後も対象室を機能が出来るように、安全な場所に十分な耐震性能を持たせて備蓄する。また、備蓄量は、エネルギー供給の再開に要する期間、補給が可能となる期間を想定し、対処する量とする。
	給水機能の確保	施設の果たすべき機能に応じ、必要とされる飲用水・雑用水を相当期間分確保する。また、給水施設の安全性・水質確保に必要な対策についても考慮する。
	排水機能の確保	施設の果たすべき機能に応じて、必要とされる排水系統を確保し、敷地外放流が不能となった場合においても、相当期間の排水機能が確保できるようにする。

項目		内容
(3) 電気設備	設備項目	1) 受変電設備 2) 非常用発電機設備 3) 蓄電池設備 4) 無停電電源装置 5) 中央監視設備 6) 幹線・動力設備 7) 電灯設備 8) コンセント設備 9) 電話設備 10) 時計設備 11) 放送設備 12) テレビ共聴設備 13) ドクター／ナースコール・ページング設備 14) インターホン設備 15) 順番待表示・投薬表示設備 16) 医療情報用配管設備 17) 防災設備 18) 避雷針設備 19) 監視カメラ設備及び出入管理等セキュリティ設備 20) 講堂・視聴覚室関連設備 21) 外構設備 22) 航空灯設備 23) 太陽光利用設備
	設備概要	
	1) 受変電設備	ア 受電方式は、3相3線6.6KV本線・予備線の2回線受電とする。 イ 受配電盤は信頼性、保守管理・拡張性等を十分に考慮し屋内設置閉鎖型とする。また、受配電機器はオイルレスを採用する。
	2) 非常用発電機設備	ア 原動機は、冷却水が不要で信頼性の高い方式を選定する。 イ 発電機の容量については、防災負荷はもとより、災害応急対策活動を行うに当たり必要な負荷を考慮し、決定する。 ウ 燃料は、常時72時間運転できる量を備蓄する。
	3) 蓄電池設備	ア 蓄電池の容量及び放電時間は、建築基準法に基づき設備する。 イ 装置は、電圧降下を考慮し、各電気室に設置を原則とする。
	4) 無停電電源装置	患者の生命維持に関連する精密医療機器については、無停電電源装置からの供給により安定した質の高い電力を供給する。また、医療用以外の情報用装置に関しても、無停電電源装置でのバックアップを考慮する。
	5) 中央監視設備	ア 中央監視設備では、本病院の電力、空調、衛生、防災設備の運転と故障の状況を監視制御する。 イ 設置場所は、発電機・熱源機器等の近傍とし、防災・防犯の管理拠点にも一元管理が可能なシステムとする。
	6) 幹線・動力設備	幹線は耐震性を考慮するとともに、増改修時の拡張性及び、保守時における無停電バックアップが可能な構成により計画する。
	7) 電灯設備	ア 照明器具 照明器具については、蛍光灯を主体とし、白熱灯及びその他のランプは場所や用途に応じて適宜設置する。各部屋の照度は、その部屋の用途や目的に応じてＪＩＳの照度基準に準じて決定する。 イ 機種 機種については、省エネルギータイプを原則として採用する。また、建築基準法・消防法に基づき、誘導灯は電池内蔵型、非常照明器具は電源別置型の器具を設置する。 ウ 点滅システム 照明の点滅システムは、共用部は中央監視盤にてスケジュール制御を行い、各部門はスタッフステーション・受付等にてリモコン制御を行う。 エ 調光設備 医療活動上必要となる場所には、調光設備を考慮する。

項目		内容
(3) 電気設備（続き）	8) コンセント設備	ア コンセントの取付位置、形式、数量については、その部屋の用途や目的に応じて適宜設置する。 イ 診察室、手術室、ＩＣＵ、重症室、透析室などの諸室のコンセントは、停電時でも関連医療機器が使用できるようにＵＰＳ＋発電機回路に接続する。 ウ 手術室、分娩室、ＩＣＵ、血管撮影室などの部屋のコンセント電源は、地絡時でも地絡電流が少なく感電を防げるように、絶縁変圧器を介した電源とする。 エ 診察、治療部門等において医療機器を使用する部屋には医療用接地工事を施す。
	9) 電話設備	電話設備の配線方式は、原則としてＥＰＳ内及び主要ルートはケーブル方式とし、それ以降は配管方式とする。また、電話システムも含むものとする。（中継台交換方式）
	10) 時計設備	ア 中央監視室にAMラジオコントロール付水晶発振式親時計を設置する。 イ 子時計は待合、エレベーターホール、その他通常必要とされる場所に適宜設置する。 ウ 分娩室には1秒運針の子時計を、手術室には手術用測時時計を設置する。
	11) 放送設備	ア 非常放送 非常時の避難誘導放送を行うために、消防法施行令第24条に規定されている非常放送設備を設置する。このための増幅機は、一般放送・非常放送兼用型とし、中央監視室に設置する。 イ 業務放送 一般業務用放送は、増幅器を中央監視室に設置する。患者の呼び出し用の放送設備は、単独の設備を必要箇所に設置する。
	12) テレビ共聴設備	ア ＣＡＴＶ（近江八幡ケーブルネットワーク）方式とする。災害時には、衛星放送への切替が可能な構成とする。 イ 病室、カンファレンスルーム、待合、デイルーム、職員休憩室、当直室、講堂等にテレビ端子を設置する。
	13) ドクター/ナースコールページング設備	ア 病室は、1床1回線の同時通話方式を採用し、患者のプライバシーに配慮する。また、病棟便所についても同時通話方式とする。 イ 副親機は、院内ＰＨＳシステムを採用し、患者からの呼び出しに迅速に対応する。 ウ 親機は、各病棟等のスタッフステーションに設置する。 エ ドクターコール及びページング設備は、ＰＨＳ利用のシステムとする。

項目		内容
(3) 電気設備（続き）	14) インターホン設備	病院運営上必要となる場所で、かつ内線電話より利便性が高いと思われる場所に、適切なインターホンを設置する。 ア 手術部門 手術室及び関連諸室に設置する。手術室用は壁埋込型とし受話器式とハンドフリー式兼用型とする。 イ 放射線診療部門 放射線診療部門では、操作室より待合患者の呼込みと撮影時の患者への指示を目的としたインターホンを設置する。 ウ 外来診察部門 ブロック受付と診察室間の通話と、診察室より待合の患者を呼込むためのインターホンを設ける。 エ 保守系統 電気室、機械室、ＥＰＳ等に保守用として設ける。ただし、ＥＰＳ内は携帯用の機器をその都度使用するものとし、インターホンジャックのみを設置する。
	15) 順番待表示・投薬表示設備	部門システム等とリンクし、大型表示パネル・パソコン操作部・タッチパネルなどを使用したシステムを必要箇所に設置する。
	16) 医療情報用配管設備	電子カルテシステムを中心とした医療情報システムを導入することから、設備工事では各室とコンピュータ室間に配管、ケーブルラックを布設する。 ア 医療情報の入出力用に診察、治療の各室(診察室、手術室、スタッフステーション等) イ 患者の登録、医事会計の入出力用に医療事務関係各室（外来カウンター、医療事務室等） ウ 医薬品管理、調剤オーダーの入出力、食品管理、給食オーダーの入出力、物品管理の入出力用に薬剤・栄養・物品管理室の各室 エ 検査オーダー等の入出力用に検査・手術管理室の各室
	17) 防災設備	ア 自動火災報知設備 建築基準法及び消防法に基づいて設置する。 イ 防排煙制御設備 建築基準法及び消防法に基づいて設置する。
	18) 避雷針設備	建築基準法に基づいて設置する。
	19) 監視ｶﾒﾗ設備及び出入管理等ｾｷｭﾘﾃｨ設備	ア 監視カメラ 人の出入りのチェックを行う必要がある場所に記録を目的としてＩＴＶ設備を設置する。 イ 手術室状態監視及び教育研修用カメラ ウ 出入管理 ＩＤカード、各種センサー、生体識別システム等を考慮する。
	20) 講堂・視聴覚室関連設備	講堂・会議室等には、臨床研修指定病院基準を満たすとともに、多目的使用が可能な視聴覚設備の導入を計画する。
	21) 外構設備	外構設備として電力及び電話、ＣＡＴＶの引込みと外灯の整備を計画する。
	22) 航空灯設備	関連法規に基づき、ヘリポート（緊急離発着場）を設置する。
	23) 太陽光利用設備	外部の駐車場及び玄関にいたるメインアプローチ等に、太陽電池組込型の外灯を取り入れる。また、その他の太陽光利用による手法・設備についても考慮する。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="8">(4) 空調換気設備</td><td>設備項目</td><td>1) 熱源設備
2) 空気調和設備
3) 換気設備
4) 排煙設備
5) 自動制御設備
6) 室内設計与条件</td></tr>
<tr><td>設備概要</td><td></td></tr>
<tr><td>1) 熱源設備</td><td>ア 熱源供給方式
熱源供給方式として、管理体制・経済性等を考慮して中央式を中心とするが、用途上性格の異なる部屋・系統に対しては分散式の検討も可能である。
イ 熱源方式
熱源機器及びエネルギーの選択については、次の事項を計画の骨子とする。<table><tr><td>エネルギーの経済性・安定供給</td><td>エネルギー多重化及び選択（ベストミックス）</td></tr><tr><td>地球環境の保全</td><td>ノンフロン化（新冷媒を除く）、CO2量の削減</td></tr><tr><td>部分負荷特性</td><td>システム構成</td></tr><tr><td>危険分散</td><td>保守管理及び故障時の対応</td></tr></table>熱源用エネルギーは、対象室を空調できるように安全かつ耐震性を考慮し、3日間運転できる量を備蓄する。</td></tr>
<tr><td>2) 空気調和設備</td><td>本施設の空調設備は、患者の快適性と安全性を追求したものでなくてはならない。具体的に、患者個々の快適性とは、温度の個別コントロール、騒音の低減、臭気除去等を指し、安全性とは院内感染防止を指す。
空調方式の選定に当たっては、次の事項を計画の骨子とする。
・ 方位による負荷変動、使用時間帯、頻度、用途等条件の異なる居室群の室内環境を維持する。
・ 空気清浄度の維持、臭気・有害物質の除去対策
・ 保守・維持管理性
・ 実績・信頼性
・ 衛生かつ十分な加湿
・ 建設・運転コスト、省エネルギー
各部門や部屋の使用目的、室内条件及び管理運営の方式等を考慮して、各方式の中から適宜最適なものを選定する。</td></tr>
<tr><td>3) 換気設備</td><td>院内感染及び臭気・汚染の拡散防止、さらに法規に定められた諸条件を考慮し、適宜最適な換気設備を選定する。
排気処理
解剖室・厨房 ： 脱臭フィルター
感染症病室 ： HEPAフィルター
核医学 ： RI除去フィルター
臭気排気の対策としては、建物最上部での排気を原則とし、外気取り入れ口との配置を考慮する。</td></tr>
<tr><td>4) 排煙設備</td><td>自然排煙を原則とするが、建築の観点から無窓となる廊下及び居室については機械排煙とし、安全区画への避難通路を確保する。また、機械排煙の系統については、用途区画・安全区画を考慮する。</td></tr>
<tr><td>5) 自動制御設備</td><td>各システムとの整合性、経済性及び操作性さらには電気設備との関連性を考慮して、各装置類の制御方法を計画する。</td></tr>
<tr><td>6) 室内設計与条件</td><td>別紙1による。</td></tr>
</table>

項目		内容
(5) 給排水衛生設備	設備項目	1) 衛生器具設備 2) 給水設備 3) 排水設備 4) 給湯設備 5) 消火設備 6) ＬＰＧ設備 7) 医療ガス設備 8) 医療用水設備 9) 排水処理設備 10) ごみ処理設備 11) 厨房機器設備
	設備概要	
	1) 衛生器具設備	節水型器具を原則とし、節水対策と施設の利用の多様性を十分考慮した選定をする。
	2) 給水設備	ア 水源 上水（飲用、医療用等）： 市水 雑用水（便所洗浄水等）： 建物屋根面の雨水等 イ 給水方式 高架水槽方式を原則とし、水槽は2槽とする。また、高架水槽以降必要給水箇所までは、各用途により系統分けを考慮し、必要箇所で計量を行う。 ウ 災害時の対策 ・ 地震時の破断漏水に備え、水槽に緊急遮断弁を設置する。 ・ 大地震後のライフラインの途絶に対し、水の備蓄として4日間以上の水量を確保する。 ・ 雨水貯留水等を上水への転用可能な水処理装置の設置を考慮する。
	3) 排水設備	ア 屋内排水 建物内の排水は、生活排水を汚水、雑排水、厨房排水の分流方式とする。また、特殊排水は、薬品排水、高温排水、プラスタ排水、バリウム排水、人工透析排水、ホルマリン排水、現像排水、定着液排水、検査排水、感染排水、ＲＩ排水について、それぞれの処理を行った後、回収または放流を行う。 イ 屋外排水 生活排水・処理後の特殊排水と雨水の分流方式とする。 ウ 災害時の対策 大地震後のライフラインの途絶に対し、排水を一時的に貯留するために非常用排水放流槽（一次貯留）を設け、水の備蓄量に対応した容量を確保する。
	4) 給湯設備	給湯方式としては、雑用系統は中央式、飲用系統は局所式とする。また、中央式給湯システムの貯湯槽は、複数台を原則とし、病棟部門と診療部門等の用途により系統分けをする。
	5) 消火設備	適切な初期消火と本格消防活動が行えるように、消防法・条例に準拠し計画する。また、ヘリポート（緊急離発着場）に対して、消火設備を設置する。
	6) ＬＰＧ設備	ＬＰＧ供給箇所は、病院内の安全を図るため必要最小限とする。

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">(5) 給排水衛生設備
（続き）</td><td colspan="2">7) 医療ガス設備</td><td>医療ガス設備は、下記に示す設備により構成され、病室、ＩＣＵ、手術室、処置室等にそれぞれの必要に応じ組み合わせたアウトレットにより供給する。また、監視警報設備を設置し、医療ガス供給状況、機器類の警報を表示する。なお、災害時の患者受け入れの対策として、講堂、会議室、外来ホール等にアウトレットを配置する。
・ 酸素ガス配管設備
・ 笑気ガス配管設備
・ 窒素ガス配管設備
・ 余剰麻酔ガス配管設備
・ 圧縮空気供給配管設備（純正空気方式）
・ 吸引配管設備（感染系とそれ以外の2系統に分ける）</td></tr>
<tr><td colspan="2">8) 医療用水設備</td><td>病院内で使用される種々の水に関して、その水質に対する技術面及び水質面からグレードを分類し、各々の水質を製造する造水システムを計画する。また、供給方式については、供給装置の故障による配管系全体の水枯渇等を考慮し、セクショナブルサプライ方式とする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">9) 排水処理設備</td><td>下水道への直接放流に当たり、下水放流基準をオーバーする特殊排水はそれぞれの水質に対応した処理装置を設置し、処理したのち放流する。
・ 厨房排水処理設備
・ 感染排水処理設備（検査排水処理設備）
・ 血液浄化排水処理設備
・ ＲＩ排水処理設備</td></tr>
<tr><td colspan="2">10) ごみ処理設備</td><td>① 集塵及び処理設備
作業の省力化、時間の短縮化、塵埃飛散の防止、発生騒音の抑制を考慮した、院内集塵計画とする。また、各処理設備についても考慮し、ごみの減量化を図る。</td></tr>
<tr><td colspan="2">11) 厨房機器設備</td><td>ＨＡＣＣＰに基づく衛生管理技法に準拠した設備とする。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">(6) 搬送設備</td><td colspan="2">基本方針</td><td>本病院の特性に配慮し、建築計画おける各部門の配置、搬送する対象者及び対象物品により計画する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">搬送機器と対象例</td></tr>
<tr><td>エレベーター</td><td><table><tr><th>区　分</th><th>搬送対象者または搬送対象物品</th></tr><tr><td>一般用エレベーター</td><td>一般外来者、患者</td></tr><tr><td>寝台用エレベーター</td><td>患者及びスタッフ</td></tr><tr><td>物品供給用エレベーター</td><td>薬剤、診療材料、滅菌材料等供給</td></tr><tr><td>廃棄物用エレベーター</td><td>ゴミ（返却物品兼用）</td></tr><tr><td>給食用エレベーター</td><td>食事の配下膳</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>エスカレーター</td><td>一般外来者、患者</td></tr>
<tr><td>ダムウェーター</td><td>薬剤、検体、滅菌材等</td></tr>
<tr><td>中型・小型搬送設備</td><td>薬剤、検体、滅菌材、書類等</td></tr>
</table>

別紙1

7. 設備計画　6) 室内設計与条件(参考)

各室空調温湿度、正圧、負圧、空気清浄度等一覧表

清浄度	ゾーン名称	室名	夏 乾球温度 ℃	夏 相対湿度 %	冬 乾球温度 ℃	冬 相対湿度 %	最小外気量 回/h	最小全風量 回/h	室内圧の正負	室内循環機器設置の可否	備考
I	清潔区域	無菌室	24 ～ 27	50	22 ～ 24	50	3	15	P	×	
		手術室	22 ～ 28	50 ～ 60	22 ～ 28	50 ～ 60	5	30	P	×	
		手術部一般区域(供給ホールなど)	23 ～ 26	50	23 ～ 26	50	3	15	P	×	
		ICU・CCU	23 ～ 26	50	23 ～ 26	50	3	10 (12～15)	P	×	
		透析治療室	24 ～ 26	50	20 ～ 22	50	3	10	P	×	
II	準清潔区域	病室	26 ～ 27	50	22 ～ 23	50	2	4～8	E	○	
		診察室	26 ～ 27	50	22 ～ 24	50	2	6～10	E	○	
		スタッフステーション	26 ～ 27	50	21 ～ 22	50	2	6～10	E	○	
		処置室	26 ～ 27	50	22 ～ 24	50	2	6～10	E	○	
		検査部の一般区域	26 ～ 27	50	21 ～ 22	50	3	10～12	E	○	
		ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ(水治室以外)	26 ～ 27	50	22 ～ 24	50	2	6～10	E	○	
		放射線部門の一般区域	26 ～ 27	50	22 ～ 23	50	2	8～10	E	○	
		中待合室	26 ～ 27	50	22 ～ 23	50	3	6～10	E	○	
III	一般区域	管理部門事務室	26 ～ 27	50	21 ～ 22	50	2	6	E	○	
		会議室	26 ～ 27	50	21 ～ 22	50	2	6	E	○	
		外来レストラン	26 ～ 27	50	21 ～ 22	50	2	10	P	○	
		医局	26 ～ 27	50	21 ～ 22	50	2	6	E	○	
		図書室	26 ～ 27	50	20 ～ 22	50	2	6	E	○	
		病歴室	26 ～ 27	50	20 ～ 22	50	2	6	E	○	
IV	汚染拡散防止区域	体外測定室	26 ～ 27	50	23 ～ 24	50	15		N	×	
		解剖室	24 ～ 26	50	20 ～ 22	50	4	排気10	N	×	
		感染症病室	24 ～ 26	50	23 ～ 24	50	2	4～8	N	×	
		汚物処理室	-	-	-	-	-	-	N	×	
V	汚染区域	一般便所	-	-	-	-	-	排気15	N	×	
		生ゴミ処理室	-	-	-	-	-	排気15	N	×	
備考											

Pは正圧、Nは負圧、Eは等圧、○印は可、×印は否

項目		内容
8．部門計画		
(1) 外来センター	機能構成	□ 外来センターは次の諸機能から構成する。 ブロック受付、診察室、処置室、多目的室、中央処置室、中央採血室、カンファレンスルーム、外待合い、中待合い等 （リハビリテーション科、放射線科、麻酔科の診察室は各部門に設置する。） （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ ブロック受付 数診療科の患者の受付、案内、会計入力、保険確認等の業務を集約して実施することを想定する。 ブロック受付及び診療科は次のとおりとする。 Aブロック：　総合内科、消化器内科、循環器科 Bブロック：　小児科、耳鼻咽喉科、泌尿器科 Cブロック：　外科、整形外科、皮膚科、産婦人科 Dブロック：　脳神経外科、神経内科、眼科、精神科（心療内科） 各ブロック内の診察室の配置はスタッフの動線を考慮した配置とする。（別紙2参照） （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照） □ 診察室 電子カルテの導入、プライバシーの確保、患者の更衣、車椅子での診察を配慮する。 □ 多目的室 問診、検査説明等を実施する。 □ 処置室 各診療科あるいは兼用で設置する。外科及び内科は化学療法にも対応する。 □ 中央処置室 注射・点滴を中央化して実施する。（小児科は除く） □ 中央採血室 外来患者の採血を行う。 □ 外待合い・中待合い 車椅子を利用する患者に配慮した構造とする。 予約制の導入を考慮した計画とする。 □ 結石破砕装置（ＥＳＷＬ） 泌尿器科に結石破砕装置を設置する。
	施設配置上の考慮点	□ 中央採血室 検体搬送を考慮した配置とする。 中央処置室と隣接した配置とする。 □ 多目的室 ブロック受付に隣接して設ける。 □ 産科指導室 産科指導室、集団栄養指導室、小会議室の機能の併用利用を目的とする。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>(2)　入院センター</td><td>機能構成</td><td>□ 入院センターは次の諸機能から構成する。
病室、スタッフステーション、処置室、カンファレンス、器材室、説明室等
（※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）

病棟構成

<table>
<tr><th>病棟ユニット</th><th>病床数</th><th>構成内容</th></tr>
<tr><td>集中治療系</td><td>20</td><td>ＩＣＵ×4　ＣＣＵ×4　ＨＣＵ×12</td></tr>
<tr><td>脳・神経系</td><td>50</td><td>脳神経外科・神経内科×40、眼科×10</td></tr>
<tr><td>循環器・呼吸器系</td><td>50</td><td>循環器内科・呼吸器内科・胸部血管外科×50</td></tr>
<tr><td>消化器系</td><td>54</td><td>消化器内科・消化器外科×50、感染症×4</td></tr>
<tr><td>整形外科系</td><td>50</td><td>整形外科×50</td></tr>
<tr><td>混成系Ａ</td><td>50</td><td>一般内科・内分秘・代謝・血液×30、
一般外科・内分泌・乳腺×15、
皮膚科・麻酔科・放射線科×5</td></tr>
<tr><td>混成系Ｂ</td><td>40</td><td>一般小児科×16、ＮＩＣＵ×9（未熟児室6床を含む）、耳鼻咽喉科×15</td></tr>
<tr><td>混成系Ｃ</td><td>50</td><td>産科×15、婦人科×15、泌尿器科×20</td></tr>
<tr><td>腎臓・透析系</td><td>20</td><td>腎臓病関係の患者を対象、外来透析、CAPDも実施</td></tr>
<tr><td>回復期リハビリテーション系</td><td>50</td><td>複数疾患を抱える患者への包括的医療提供療養型病床、リハビリテーションの性格も持たせる</td></tr>
</table>
各科の病床数は仮置きとする。</td></tr>
<tr><td></td><td>主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点</td><td>□ 集中治療系ユニット
ＩＣＵ（集中治療室）は施設基準を満たす施設計画とする。
ＣＣＵ（冠動脈疾患集中治療室）は施設基準を満たす施設計画とする。
ＩＣＵ・ＣＣＵとＨＣＵは看護単位を区分することが可能な施設計画とする。

□ ＮＩＣＵ
ＮＩＣＵ（3床）は施設基準を満たす施設計画とする。
□ 腎臓・透析系ユニット
外来透析センターと施設を共有可能な施設計画とする。
□ 回復期リハビリテーション系ユニット
回復期リハビリテーション入院料算定の施設基準を満たす施設計画とする。

□ 混成系Ｂユニット
院内学級を設置する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td></td><td></td><td>□ 病棟配置
1フロアーに2病棟を設置する場合には下記の組み合わせとする。
<table><tr><td>混成系A</td><td>消化器系</td></tr><tr><td>混成系B</td><td>混成系C</td></tr><tr><td>循環器系・呼吸器系</td><td>脳・神経系</td></tr><tr><td>整形外科系</td><td>回復期リハビリ系</td></tr></table>□ 病室構成
ア 病室は4床室及び個室の構成を原則とする。
イ 4床室（室内にトイレは設けない）
① 洗面設備を設置する。
② 療養環境加算を算定できる施設計画とする。
ウ 重症室(2床室) ： 洗面を設置する。
エ 重症個室 ： トイレ、洗面を設置する。
オ 特別の療養環境の提供に係る個室は次の構成とする。
① 特別個室 ： トイレ、洗面、浴室、ミニキッチン、応接セットを設置する。
② 個室 ： トイレ、洗面、を設置する。
カ 無菌病室
① 混成系Aユニットに設置する。
② 無菌室管理加算を算定できる施設計画とする。
キ 産科病室
母子同室を考慮した施設とする。
ク 感染病室（第二種感染症指定医療機関）
第二種病室 ： トイレ、シャワー、洗面等を設置する。
□ 病棟食堂（ディルーム兼用）
入院時食事療養費に係る施設基準等の食堂加算の基準を満たす施設とする。
□ スタッフステーション
1フロアーに2病棟を設置する場合にはスタッフステーションが隣接することが望ましい。また、器材室等（休憩室を除く）の共有化も考慮のこと。
□ サテライトファーマシー
1フロアーに1ヶ所設置する。
病棟における服薬指導及び混注業務を行う。
□ 病棟廊下
病棟廊下部分にストレッチャー、リネン等の収納スペースを設ける。
廊下幅は両側居室 W=2,700以上、片側居室 W=1,800以上とする。</td></tr>
<tr><td></td><td>施設配置上の考慮点</td><td>□ 集中治療系ユニット
① 手術室と同一のフロアーとし、可能な限り清潔な動線で結ぶ。
② 救急センターから可能な限り直接、最短の動線で結ぶ。
□ 薬剤部門、検査部門、物品管理部門との配置
臨時搬送を考慮した施設配置とする。
□ 腎臓・透析系ユニット
外来治療室と病棟（腎臓・透析系ユニット）が施設を共有する。</td></tr>
</table>

項目		内容
(3) 救急センター	機能構成	□ 救急センターは次の諸機能から構成する。 診察室、処置室、家族待合室等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ 診察室 次の診察室を設置する。 内科系　：1室 外科系　：1室 産婦人科・泌尿器科系　：1室 小児科系　：1室 □ 処置室 2室設置する。
	施設配置上の考慮点	□ 放射線部門との関係 放射線部門に隣接した配置とする。 □ 集中治療系ユニットとの関係 夜間の入院治療が必要な患者はＨＣＵ（状態によりＩＣＵ・ＣＣＵ）に収容することを考慮した配置とする。 □ 時間外患者の動線 受付、投薬、会計の動線を考慮した諸室配置とする。 □ 救急車用出入口 救急車以外の患者さんの出入口を設ける。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">(4)　手術部門</td><td>機能構成</td><td>□ 手術部門は次の諸機能から構成する。
手術室、供給ホール、外周廊下、機器・機材室、更衣室等
（※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）</td></tr>
<tr><td>主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点</td><td>□ 手術室
手術室は次の構成により想定する。
<table><tr><th>手術室</th><th>対象診療科</th><th>クリーン度（クラス）</th><th>面積</th><th>付帯設備</th></tr><tr><td>手術室1</td><td>整形、脳外、耳鼻</td><td>100</td><td>約70㎡</td><td>ﾏｲｸﾛｻｰｼﾞｬﾘｰ、Ｘ線防護</td></tr><tr><td>手術室2</td><td>整形、泌尿器、内科（ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ対応）</td><td>1,000</td><td>約65㎡</td><td>Ｘ線防護</td></tr><tr><td>手術室3</td><td>全科対応</td><td>10,000</td><td>約45㎡</td><td></td></tr><tr><td>手術室4</td><td>全科対応</td><td>10,000</td><td>約45㎡</td><td></td></tr><tr><td>手術室5</td><td>全科対応</td><td>10,000</td><td>約45㎡</td><td></td></tr><tr><td>手術室6</td><td>全科対応</td><td>10,000</td><td>約45㎡</td><td></td></tr><tr><td>手術室7</td><td>全科対応、外来ｵﾍﾟ救急、感染症対応</td><td>10,000</td><td>約45㎡</td><td>陽陰圧制御
Ｘ線防護</td></tr></table>□ 供給ホール
供給ホール型の形態とする。
□ トランスファーエリア
患者ベッドの待機スペースとしても利用する。
□ 日帰り手術
診察室（麻酔科外来兼用）、更衣室を設置する。
リカバリーはＨＣＵを利用する。</td></tr>
<tr><td>施設配置上の考慮点</td><td>□ 集中治療系ユニット
① 術後リカバリーとして集中治療系ユニットのＨＣＵを利用する。
② 集中治療系ユニットと同一フロアーとし、可能な限り最短で清潔な動線で結ぶ。
□ 中央材料滅菌部門
近接するか、または上下階で結ぶことを基本とする。
□ 検査部門
近接するか、または上下階で結ぶことを基本とする。</td></tr>
</table>

項目		内容
(5) 中央材料滅菌部門	機能構成	□ 中央材料滅菌部門は次の諸機能から構成するが、滅菌消毒業務は選定事業者の業務であることから施設計画については応募者の提案によるものとする。 機器洗浄室、組立室、滅菌・既滅菌室、滅菌保管室等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ 機器洗浄室 各部門で使用された器材の一次洗浄から実施する。 □ 組立室 滅菌コンテナを利用したセット化を基本とする。
	施設配置上の考慮点	□ 中材部門と手術室は、近接するか、または上下階に配置することを基本とする。
(6) 透析センター	機能構成	□ 透析センターは次の諸機能から構成する。 外来透析治療室、待合い兼食堂、更衣室、機械室等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ 外来透析治療室 1室40床の治療室を2室設置する。 1室は軽症、一室は重症患者用とする。 □ 待合い兼食堂 入院患者及び外来患者用とする。
	施設配置上の考慮点	□ 腎・透析系ユニット 外来治療室と病棟（腎・透析系ユニット）が施設を共有できる施設計画とする。 □ 時間外出入り口 夜間透析を想定し、時間外出入り口との動線を考慮した配置とする。 □ 水損事故対策 多量の水を使用することから、水損事故が生じた場合に他に被害が及ばないよう考慮する。
(7) ＭＥ管理部門	機能構成	□ ＭＥ管理部門は次の諸機能から構成する。 ＭＥ機器集中管理室、ＭＥ技士室
	主要な機能の概要	□ ＭＥ機器集中管理室 中央管理機器の点検、保管等を行う。
	施設配置上の考慮点	□ 手術室、ＩＣＵ・ＣＣＵ、腎・透析系センター及び病棟からの動線に配慮した配置とする。

項目		内容
(8) 薬剤部門	機能構成	□ 薬剤部門は次の諸機能から構成する。 入院調剤・注射室、ＤＩ・薬歴室、ＩＶＨ・抗ガン剤調整室、受付・夜間受付等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ 入院調剤室 自家製剤、治験薬、救急患者等を除き原則院外処方とすることから、入院調剤を主体として実施する。 □ ＤＩ・薬歴室 薬剤管理指導料を算定することを考慮した施設計画とする。 □ ＩＶＨ・抗ガン剤調整室 無菌製剤加算を算定できる施設計画とする。 □ 受付・夜間受付 ① 外来患者の院内調剤対象者に対し薬剤を渡す。 ② 院外処方箋を渡す。 ③ 救急患者に対して薬剤を渡す。
	施設配置上の考慮点	□ 病棟は、臨時搬送を考慮した施設配置とする。 □ 夜間受付は、救急患者に対しては院内で調剤し、夜間受付で渡すことから、救急部門との動線を考慮した配置とする。 □ 物品管理部門 薬剤は用度部門が管理する中央倉庫から薬剤部門に払出すため、中央倉庫との動線を考慮した配置とする。
(9) リハビリテーションセンター	機能構成	□ リハビリテーションセンターは次の諸機能から構成する。 診察室、理学療法室・物理療法室、作業療法室・ＡＤＬ室、水治療室、言語療法室等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要	□ 理学療法室・作業療法室 総合リハビリテーション施設、理学療法（Ｉ）・作業療法（Ｉ）の施設基準を満たす施設計画とする。
	施設配置上の考慮点	□ 外来患者及び回復期リハビリテーション病棟からの動線を考慮した配置計画とする。

項目		内容
(10) 検査部門	機能構成	□ 検査部門は次の諸機能から構成する。 中央採血室・採尿室、検体検査室、細菌検査室、輸血検査室、病理検査室、解剖室、生理機能検査室等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ 中央採血室・採尿室は外来患者の採血・採尿を行う。 □ 検体検査室はＦＭＳ方式によることから、応募者の提案によるものとする。 □ 輸血検査室は自己血採血室を併設する。
	施設配置上の考慮点	□ 手術部門・救急部門と検体の搬送が迅速に行える配置とする。 □ 中央採血室・採尿室と検体検査部門との検体搬送を考慮した配置とする。
(11) 放射線部門	機能構成	□ 放射線部門は次の諸機能から構成する。 画像診断 一般撮影 乳房撮影 Ｘ－ＴＶ 泌尿器科撮影 婦人科及び断層撮影 血管撮影 ＣＴ ＭＲＩ 腹部超音波 骨密度測定 放射線治療 リニアアクセラレーター 小線源治療 核医学検査 ＳＰＥＣＴ （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要	□ 情報システム 電子カルテ、オーダーリングシステム、ＲＩＳ、ＰＡＣＳを導入する。
	施設配置上の考慮点	□ 救急センター・健診センターと放射線部門を隣接した配置とする。

項目		内容
(12) 内視鏡部門	機能構成	□ 内視鏡部門は次の諸機能から構成する。 上部内視鏡室 下部内視鏡室 治療内視鏡室 リカバリールーム 洗浄・消毒・器材室等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要	□ 下部内視鏡室 Ｘ－ＴＶを設置する部屋を設ける。 □ 治療内視鏡室 Ｘ－ＴＶを設置する。
	施設配置上の考慮点	□ 放射線部門と内視鏡部門は隣接した配置が望ましい。
(13) 健診センター	機能構成	□ 健診センターは次の諸機能から構成する。 受付・待合い、更衣室、採尿・採血室、診察室、エコー・心電図室、相談室等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要	□ 検査内容 成人病・人間ドック（日帰り）・一般健康診断
	施設配置上の考慮点	□ 放射線部門と健診センターが隣接し、健診者が最短の動線で検査が受けられる配置とする。

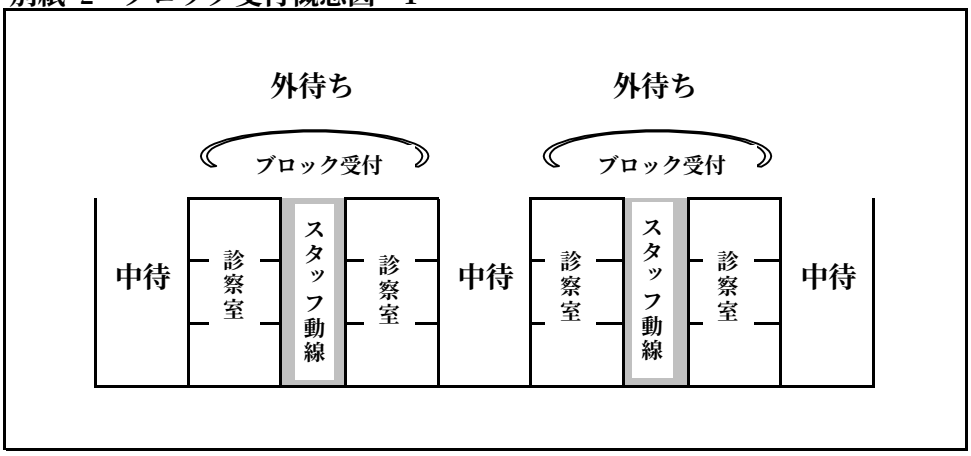
項目		内容
(14) 栄養部門	機能構成	□ 栄養部門は次の諸機能から構成する。 患者給食、栄養食事指導・相談等 （参考として、9. 諸室計画の「諸室リスト」を示すが、病院給食業務については選定事業者の業務となるため、施設計画は応募者の提案に委ねることとする。）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ 患者給食 入院患者、外来透析患者に食事を提供する。 中央配膳とし、温冷配膳車の利用を基本とする。 （応募者の提案に委ねる。） □ 栄養食事指導室（個別） 個別栄養食事指導を行う。 □ 集団栄養指導室 相談室・会議室等を兼用する。
	施設配置上の考慮点	□ 温冷配膳車待機スペースを考慮する。 □ 食材の搬入を考慮した配置とする。

項目		内容
(15) 管理部門	機能構成	□ 管理部門は次の諸機能から構成する。 医事部門、庶務部門、経営情報部門、院長室、副院長室、看護部長室、事務長室、医局、会議室、講堂、更衣室等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ 医事部門 初診受付、再診受付、会計窓口、入退院受付等の機能を設ける。 □ 経営情報部門 医療情報システムのサーバー等を設置するスペースを設ける。 □ 更衣室 職員用に中央更衣室（男女別）、事務部門更衣室及び諸室リストに示す各部門に更衣室を設ける。 事業者の運営事業に関わるスタッフの更衣室については、諸室リストに記載のない場合は必要に応じ設置すること。 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	施設配置上の考慮点	□ 医事部門 医事部門は受付・窓口と隣接して設ける。 □ 庶務部門、管理部門 診療部門と区分された配置とする。 □ 集中当直室 手術部門及び集中治療部門に隣接（または管理部門の一部に）して設置する。
(16) 地域医療部門	機能構成	□ 地域医療部門は次の諸機能から構成する。 地域医療連携室、医師会連携室、医療相談室 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要	□ 地域医療連携室 地域医療連携機能及び医療相談機能を担当する。 □ 医師会連携室 医師会との連携を図る。
	施設配置上の考慮点	□ 紹介患者の受け入れ等の充実を図るため、外来ブロックに隣接した配置が望ましい。

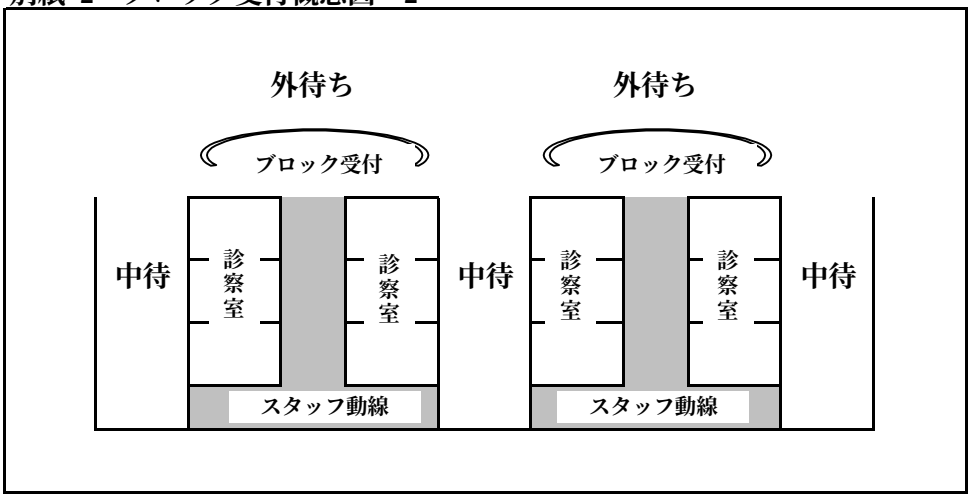
項目		内容
(17) 物品管理部門	機能構成	□ 物品管理部門は次の諸機能から構成する。 中央倉庫、備蓄倉庫、事務室、その他物品保管 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ 中央倉庫 医薬品、診療材料等を保管・管理する。 院内での保管・管理を前提とした物品管理システムを想定しているが、応募者の提案に委ねるものとする。
	施設配置上の考慮点	□ 中央倉庫 資材の搬入、薬剤部門（入院調剤室・注射室）、病棟への動線に配慮する。
(18) 施設管理部門	機能構成	□ 施設管理部門は次の諸機能から構成する。 機械、電気、衛生・給排水設備等、中央監視、ベッドセンター、洗濯等 （参考として、9．諸室計画の「諸室リスト」を示すが、選定事業者の業務となるため、施設計画は応募者の提案に委ねることとする。）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ ベッドセンター マットレスの消毒を想定しているが、設置の有無を含め、応募者の提案に委ねる。 □ 洗濯室 洗濯設備の設置を想定しているが、設置の有無を含め、応募者の提案に委ねる。 □ 寝具倉庫 リネン類（清潔及び使用済み）の保管を想定しているが、設置の有無を含め、応募者の提案に委ねる。
	施設配置上の考慮点	□ 提案によるものとする。

項目		内容
(19) 福利厚生部門・患者（市民）サービス及び利便施設	機能構成	□ 患者サービス部門は次の諸機能から構成する。 喫煙室、公衆電話コーナー、まちの駅コーナー、外来レストラン、売店・フラワーショップ、理容室・美容室、自販機、ＡＴＭ等 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要及び各諸室に対する留意点	□ 喫煙室 完全禁煙施設とする。（原則院内には喫煙室を設けない。） □ まちの駅コーナー 総合案内、各種情報発信、図書コーナー等の機能を設ける。 □ 外来レストラン・売店・フラワーショップ、理容室・美容室、自販機、詳細は業務要求水準書にて記載。 □ コインランドリー 入院患者を対象とし、5台程度の洗濯乾燥機を設置する。
	施設配置上の考慮点	□ 売店・フラワーショップ、理容室・美容室 外来患者、見舞客、入院患者等がわかりやすく利用しやすい場所に設ける。 □ 外来レストラン・自販機 外来患者、見舞客等がわかりやすく利用しやすい場所に設ける。 □ 公衆電話コーナー 外来及び各ディルームに設けることを想定している。
(20) 福利厚生部門・職場環境整備関係諸室	機能構成	□ 福利厚生部門は次の諸機能から構成する。 福利厚生室（和室・茶室）、職員組合事務室、健康管理室、職員食堂 （※ 詳細は、9．諸室計画の「諸室リスト」を参照）
	主要な機能の概要	□ 職員食堂 詳細は業務要求水準書にて記載。
	施設配置上の考慮点	□ 職員食堂 外来レストランと併設して設置することも可能とする。

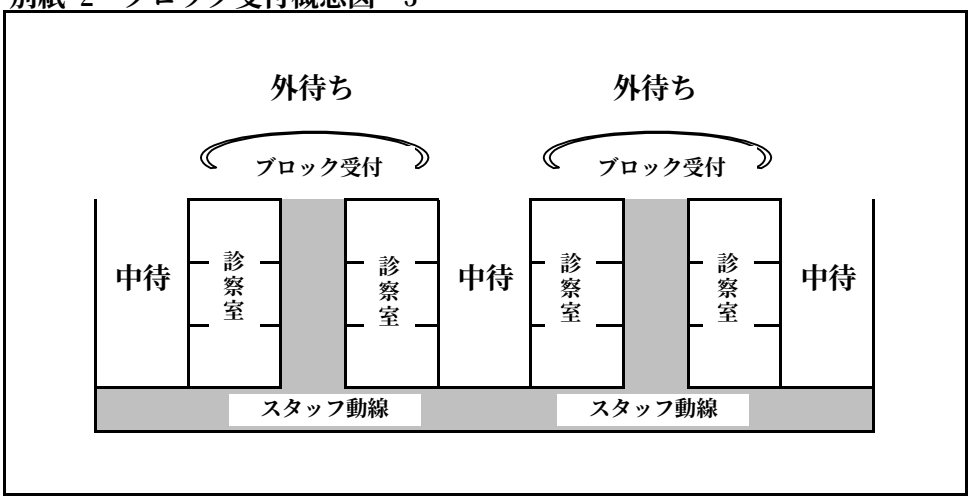
別紙 2　ブロック受付概念図－1



別紙 2　ブロック受付概念図－2



別紙 2　ブロック受付概念図－3



9. 諸室計画

＜諸室リストの考え方＞

1) 本リストは、当病院計画に対して、建築プランニング上必要となると思われる室名･室数を設定したものです。
2) それぞれの諸室構成に対し、病院機能として必要と考えられる室･スペースを適宜配置して下さい。
3) 室数及び面積が空白になっている箇所については、建築プランによりその必要数及び面積が変化することが想定されるため、応募者提案によるものとします。
4) 各室の面積については、院内で調整をし、想定した各部門の面積ですが、おおむねの数値としてご理解ください。プランにより調整してください。
5) 共用部分（ホール、廊下、待合い、中待合い、エレベーター、機械室、階段等）の面積については、プランにより変化するため、諸室リストから除外しています。
6) 栄養部門、中央材料滅菌部門、検体検査部門、物品管理部門等の面積については、提案による運営方法により必要面積が異なるため、空白としています。
7) 諸室構成は、各部門毎の必要な諸室となっていますので、要求水準を満たしていただければ、部門間での共有化、全体での共有化などを図り効率的･経済的な諸室構成にしていただくことを期待しています。
8) 病室数（個室と4床室等の割合）は、各ユニットの必要性及び個室率30%程度を目安に配置を計画したものですが、建築プラン上の標準的な病棟計画において多少の変更はやむを得ないと考えています。

＜諸室データーシートの考え方＞

9) 本データーシートは、必要諸室の使用目的、設計水準及び機能をまとめたものです。

10) それぞれの内容については、院内ヒアリングを行った上で想定した各室毎の性能です。この性能を基本として、「いい医療の提供」施設としての病院を実現させるために必要な、しかも効率的・経済的に提案変更して頂くことを期待しています。なお、諸室の面積・形状を提案していただくことから、要望・性能・機能・数量等を基本設計・実施設計の各段階で協議していただくことを想定しています。

11) 諸室のデーターの水準は、「いい医療の提供」施設としての病院を実現させるために必要な部分的な病院設計要望事項です。従って、設計与条件の全てではありません。本水準に記載のないもので当然、病院の計画・設計に必要な水準・機能・数量等（各室等に設置する「手すり」、感染予防用消毒器〔組込式〕等）を含めたものが設計に適用されるものとします。

12) 各室に設置する備品類（予定）を記載していますが、建築プランに配慮していただくため、一部を設定しております。なお、薬品収納庫、材料収納庫等ＳＰＤシステム対応備品については、最終的には別添「業務水準書」による提案によって変更されること想定しておりますが、病院要望として取り上げられたものの一部を記載しました。

＜諸室計画　共通項目＞

本共通項目は、諸室リスト、各諸室データシートに共通して適用するものです。
「利用者が常に安全・快適に効率よく使用できる施設」を創意工夫によって実現していただきますが、建設に係る全ての諸法規、諸基準、諸指針等の遵守を求めます。

項目	内容
1.一般共通事項	
(1)適用基準等	業務水準及び施設性能要求水準を満足しうるに、必要な全ての基準を適用する。
(2)工事実績情報の登録	病院事業として初のＢＯＴによるＰＦＩ案件であることを鑑み、CORINS（工事実績情報サービス）への登録が可能なようにする。
(3)発生材の処理	構内・構外搬出は特定しないが、適切な処理を行う。なお管理産業廃棄物、再生資源化、その他再生資源化を図るものについては受入施設名、受入場所、仮置場所については市へ報告する。
(4)電気保安技術者	必要に応じ適用する。
(5)工事条件明示	近隣住民への配慮から工事実施日等の工事条件の設定は、事業者側で判断の上行う。
(6)技能士	必要とする工事種別について必要とする技能検定の職種を選定事業者にて行う。
(7)建築材料、設備資材等	選定事業者の責任において施設性能水準及び、品質維持の観点から当然必要と思われる水準の材料を使用する。
(8)特別な材料の工法	当該製品の指定工法による。
(9)施工図等の取扱い	著作権に係わる当該建築物に限る使用権は選定事業者に移譲するものとする。
(10)製本製図の提出	選定事業者の負担において設計図を製本し、指定部数を市に提出するものとする。
(11)各種工事との取り合い	各種工事との取り合いは選定事業者の責任において検討、協議の上解決するものとする。
(12)中間技術検査	選定事業者の責任において法的に必要な検査及び回数を行うこと。
(13)完成図等の提出	選定事業者の負担において設計図を製本、CD-ROM 等に記録し、指定部数を市に提出するものとする。
(14)完成写真等	選定事業者の負担において完成写真を作成しアルバム等に整理のうえ指定部数を市に提出する。また、病院の広報活用として完成写真の使用権を認める。
(15)設計 G.L	周辺地盤、道路、河川等の高さを考慮し、利用者が安全快適に利用できる水準に設定する。
2.各種工事	施設性能を満足するに必要な技術と品質を維持する工法及び材料を採用して工事を行うものとする。

3.外構等付帯施設工事	周辺環境との調和、明るさと落ち着きを持ち安全性に考慮した材料及び工法を採用して工事を行うものとする。
4.ユニット及びその他の工事	
(1)耐震スリット	要求性能を確保するに必要な措置を施す。
(2)止水板	要求性能を確保するに必要な措置を施す。
(3)階段滑り止め	利用者の安全性を確保するため必要箇所全てに取り付ける。
(4)階段手すり	連続して抗菌性能を有する製品を必要箇所全てに取り付ける。
(5)廊下手すり	手すりを必要とする利用者が通行する部分には連続して抗菌性能を有する製品を設置する。
(6)コーナービート	ワゴン、ベッド、各種搬送車等が通行する場所にはストレッチャーガードとともに必要な箇所に設けること。
(7)フリーアクセスフロア	総合医療情報システム関係機器その他、配管・配線を有し将来の配線替えが考えられる場所に設置する。
(8)乾式遮音二重床	上下階の遮音性能を要求される場所に設ける。
(9)トイレブース及びブース内金物	要求性能を満足し、堅牢にして品位と優美さを兼ね備えた製品とする。 なお、ブース内金物は、標準必要金物のほか、患者利用のブースには点滴バック懸架用フック、採尿が想定されるブースにはハルンカップ受け棚を設ける。
(10)便所及び浴室等補助手すり	利用者が安全に使用できる堅牢、衛生的な仕様の製品を必要とする部分に取り付ける。
(11)洗面カウンター等	耐水性、美観性を考慮し、必要箇所に設ける。
(12)流し台ユニット	診療、処置、補助作業用に必要とする部分に設置する。
(13)ミニキッチン	特別個室に設置する製品は室内インテリアと調和したものとする。
(14)ユニットバス	利用時における安全性を十分考慮したものとする。
(15)ユニットシャワー	利用時における安全性を十分考慮したものとし、壁掛け椅子付とする。
(16)ブラインド	外部建具を有する室はすべてブラインドを設置する。
(17)カーテン	特別個室等の外部建具部には、その諸室のインテリアに相応しい抗菌性レースカーテン、ドレープカーテンを設置する。 全ての病室ベッド等の周囲には、ベッドを取り囲む（キュービクル状）ように床上 500㎜ まで設置する。
(18)カーテンレール	天井直付型でランナーの動きがスムースなアルミ製レール（静音タイプ）で耐荷重を計算の上取り付ける。

(19)ブラインドボックス及びカーテンボックス	外部建具周りのブラインド及びカーテンが取り付く部分には堅牢、優美な製品を必要な部分全てに取り付ける。
(20)ピクチャーレール	待合い、廊下、ホール、病室等必要と思われる場所に設ける。 （延べ長さは500㎜を想定しているが選定事業者の提案に委ねる）
(21)黒板及びホワイトボード	必要箇所にデザイン性、安全性を考慮して取り付ける。
(22)屋内掲示板	院内インテリア、サイン計画、カラーコーディネーションを考慮し、必要箇所に取り付ける。
(23)屋外掲示板	院外に広報する情報量に見合った規模で、夜間でも見やすい工夫をした耐候性の高い製品とする。
(24)病室室名札標識	院内インテリア、サイン計画、カラーコーディネーションを考慮し、必要箇所に取り付ける。なお、患者プライバシーを考慮した表示とする。
(25)諸室室名札標識	医療法等関係法規に準拠した部分と諸室利用の利便性を考慮し必要な箇所に院内インテリア、サイン計画、カラーコーディネーションを考慮し取り付ける。
(26)障害者用室名等表示	必要な箇所に、最適と思われる方法で表示、音声認識等を行う。
(27)点検口（床、天井）	日常の設備点検、将来の機器更新等に必要となる部分すべてに作業員が利用しやすい形態の製品を設置する。
(28)手指消毒液専用ボックス	すべての病室の廊下側出入り口脇に壁内埋め込み式鋼製ボックスを設置する。
(29)鋼製書架及び物品棚	必要な箇所に安全に固定する。
(30)既製家具	院内インテリア、サイン計画、カラーコーディネーションを考慮し、必要箇所に取り付ける。なお、利用者の安全性を考慮した製品とする。
(31)製作家具	院内インテリア、サイン計画、カラーコーディネーションを考慮し、必要箇所に取り付ける。なお、利用者の安全性を考慮した製作物とする。
(32)かぎ箱	必要な収容数を持つ製品とする。
(33)靴ふきマット	必要個所に設ける。外部には土、泥をぬぐう機能を持ち内部には水をぬぐう機能を持つこと。
(34)誘導用及び注意突起用床材	必要個所に設ける。
(35)敷地境界石標	必要個所に設ける。
(36)旗竿	日本国旗、市旗、病院旗用の旗竿を設ける。
(37)旗竿受け金物	必要に応じ所定の個所に設ける。
(38)フェンス	人が容易に乗り越えられない高さで、風格と品位のあるフェンスを防犯上必要な場所に全て設ける。

(39)車止め支柱	利用者等、人と車の接点部には安全性を考慮し、堅牢な、また収納等が可能な錆びない車止めを適宜設ける。
(40)避難器具	法的に必要とされる個所に設ける。
(41)消火器及び消火器ボックス	法的に設置が必要な個所に壁埋込型のボックスを設け、必要とされる消火器を納入する。
(42)定礎	堅牢優美な石材を利用し必要事項を掘り込み、内部には収納箱を設け正面玄関脇等に設定する。
(43)（財）日本医療評価機構,ISO 関連の認定書表示	認定書、関係書を入れたデザイン性のある銘板を玄関脇に掲げる。
5.医療施設工事	
(1)放射線遮蔽鉄板	リニアック等から発生する高エネルギー線防御のため設ける。
(2)放射線遮蔽扉開閉機構及び機能	開閉が容易で安全性の高いドアとする。また、必要に応じ自動化する。
(3)放射線散乱防御塗料	放射線反射によって患者及びスタッフに悪影響を及ぼす部分に塗付する。
(4)放射線防護工事	放射線防護工事は、所定の性能を有するものとし、専門業者の責任施工とする。また、所定の測定方法により性能の確認を行う。
(5)MRI シールド工事	MRI シールド工事は、所定の性能を有するものとし、専門業者の責任施工とする。また、所定の測定方法により性能の確認を行う。
(6)手術室内装工事	手術室内装工事は、所定の性能を有するものとし、専門業者の責任施工とする。また、所定の測定方法により性能の確認を行う。
(7)ストレッチャーガード	ストレッチャーが通行する部分及び利用者が通行する部分には連続して抗菌性能を有する製品を設置する。
(8)点滴フック及び点滴レール	病室の全てのベッド、診察台、手術台、処置台及び放射線装置等の撮影台上部には点滴フック（3 ヶ所以上）または、点滴レールを設ける。
(9)医療パネル	所定の性能を有するものとし、スタッフの利便性を考慮したものとする。また、所定の測定方法により性能の確認を行うこと。

諸室リスト：外来センター

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	想定面積 (㎡)	摘要
Aブロック					
	総合内科 消化器科 循環器科 } 診察室	10			３診療科で１０室の診察室 フリーアドレス制採用
	ブロック内共用				
	処置室	1	20	20	
	カンファレンスルーム	1	15	15	
	多目的室（問診等）	1	15	15	ブロック受付に隣接想定
Bブロック					
	小児科				
	診察室	3			
	処置室	1	20	20	
	隔離診察室	1	15	15	
	隔離待合室兼隔離処置室	1	20	20	
	耳鼻咽喉科				
	診察室	1	45	45	
	処置室	1	20	20	
	聴力検査室	1	15	15	
	平衡感覚検査室	1	15	15	
	泌尿器科				
	診察室	2			
	処置室	1	30	30	
	ＥＳＷＬ室	1	30	30	
	ブロック内共用				
	カンファレンスルーム	1	15	15	
	多目的室（問診等）	1	15	15	ブロック受付に隣接想定
	プレイルーム兼授乳室	1	20	20	ブロック外でも可能
Cブロック					
	外科・整形外科				
	診察室	7			２診療科で７室の診察室、フリーアドレス制
	外科処置室	1	20	20	
	整形外科処置室	1	15	15	
	整形外科ギブス室	1	24	24	
	皮膚科				
	診察室	2			
	処置室	1	15	15	
	レーザー処置室	1	15	15	
	産婦人科				
	診察室	2			
	内診室	2	10	20	
	超音波	1	18	18	
	NST室・妊検室	1	30	30	
	ブロック内共用				
	小手術室	1	24	24	
	カンファレンスルーム	1	15	15	
	多目的室（問診等）	1	15	15	ブロック受付に隣接想定

諸室リスト：外来センター

区分	名称	設定			摘要
		室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	
Dブロック					
	脳神経外科				
	診察室	1			
	処置室	1	15	15	
	眼科				
	診察室	2	8	16	
	処置室	1	15	15	
	暗室	1	16	16	
	レーザ室	1	16	16	
	視能矯正室・検査室	1	40	40	視力検査一片７m程度確保
	神経内科				
	診察室	2			
	処置室	1	15	15	
	精神科（心療内科）				
	診察室	2			
	ブロック内共用				
	カンファレンスルーム	1	15	15	
	多目的室（問診等）	1	15	15	ブロック受付に隣接想定
外来全体で共用					
	中央処置室	1	120	120	
	中央採血室	1	36	36	
	産科指導室	1	50	50	会議室・栄養指導室兼用
	職員用トイレ				
	外来車椅子用トイレ				
	外来患者用トイレ				
	その他必要室等				

諸室リスト：入院センター

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	想定面積 (㎡)	摘要
混成系Ｂユニット					小児科、耳鼻咽喉科、ＮＩＣＵ＝40床
	病室				
	１床室	13			
	４床室	4			
	重症室（２床室）	1			
ＮＩＣＵ	ＮＩＣＵ前室	1	12	12	
ＮＩＣＵ	ＮＩＣＵ（９床）	1	70	70	ＮＩＣＵ３床、未熟児対応６床
ＮＩＣＵ	ＮＩＣＵ器材室	1	24	24	
ＮＩＣＵ	ＮＩＣＵ授乳室・沐浴室	1	12	12	
ＮＩＣＵ	ＮＩＣＵ仮眠室	1			
ＮＩＣＵ	調乳室	1	9	9	
	その他諸室				
	院内学級	1			教材室含む。
	患者用トイレ	2			男女各１
	洗面所	1			
	車椅子用トイレ	2			
	職員休憩室	1	18	18	
混成系Ｃユニット					産科、婦人科、泌尿器科＝50床
	病室				
	１床室	20			
	４床室	7			
	重症室（２床室）	1			
	その他諸室				
	スタッフステーション	1			
	処置室	1			
	内診室	1			
	カンファレンス	1	18	18	
	器材室	1	30	30	
	説明室	1	12	12	
	患者用トイレ	2			男女各１
	洗面所	1			
	車椅子用トイレ	2			
	職員休憩室	1	18	18	
	分娩部門				
	陣痛室・回復室	3	15	45	
	分娩室	2	20	40	
	患者用トイレ	1			陣痛室・分娩室に隣接して、車椅子対応
	新生児室	1	18	18	
	沐浴室	1	12	12	
	授乳室・調乳室	1	20	20	
	産科仮眠室	2			

	フロアー共通				
	サテライトファーマシー	1	18	18	
	デイルーム	1			
	配膳室	1	12	12	
	汚物処理室兼廃棄物集積室	1	12	12	
	シャワー室	3			内１室は介助可能とする
	職員トイレ	2			男女各１

諸室リスト：入院センター

区分	名称	設定			摘要
		室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	
消化器系ユニット					消化器内科、消化器外科、感染症＝54床
	病室				
	１床室	16			
	１床室（感染症）	4			第２種感染症指定対応病室
	４床室	8			
	重症室（２床）	1			
	その他諸室				
	スタッフステーション	1			
	処置室	1			
	カンファレンス	1	18	18	
	器材室	1	15	15	
	説明室	1	15	15	
	患者用トイレ	2			男女各１
	洗面所	1			
	車椅子用トイレ	2			
	職員休憩室	1	18	18	
混成系Ａユニット					一般内科、外科、皮膚科、麻酔科、放射線科＝５０床
	病室				
	特別個室	1			
	１床室	9			
	１床室（無菌室）	6			
	４床室	8			
	重症室（２床室）	1			
	その他諸室				
	スタッフステーション	1			
	処置室	1			
	カンファレンス	1	18	18	
	説明室	1	15	15	
	器材室	1	15	15	
	患者用トイレ	2			男女各１
	洗面所	1			
	車椅子用トイレ	2			
	職員休憩室	1	18	18	

	フロア共通				
	サテライトファーマシー	1	18	18	
	デイルーム	1			
	配膳室	1	12	12	
	汚物処理室兼廃棄物集積室	1	12	12	
	大浴室	1			
	職員トイレ	2			男女各１

諸室リスト：入院センター

区分	名称	設定			摘要
		室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	
循環器・呼吸器系ユニット					循環器、呼吸器、外科＝５０床
	病室				
	特別個室	1			
	１床室	15			
	４床室	8			
	重症室（２床室）	1			
	その他諸室				
	スタッフステーション	1			
	処置室	1			
	カンファレンス	1	18	18	
	器材室	1	15	15	
	説明室	1	15	15	
	患者用トイレ	2			男女各１
	洗面所	1			
	車椅子用トイレ	2			
	職員休憩室	1	18	18	
脳・神経系ユニット					脳外、神経内科、眼科＝５０床
	病室				
	１床室	16			
	４床室	8			
	重症室（２床室）	1			
	その他諸室				
	スタッフステーション	1			
	処置室	2			
	カンファレンス	1	18	18	
	説明室	1	15	15	
	器材室	1	15	15	
	患者用トイレ	2			男女各１
	洗面所	1			
	車椅子用トイレ	3			
	職員休憩室	1	18	18	
	フロア共通				
	サテライトファーマシー	1	18	18	
	デイルーム	1			
	配膳室	1	12	12	
	汚物処理室兼廃棄物集積室	1	12	12	
	シャワー室	3			内１室は介助可能とする
	介助浴室	1	18	18	
	職員トイレ	2			男女各１

諸室リスト：入院センター

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	想定面積 (㎡)	摘要
整形外科系ユニット					整形外科＝５０床
	病室				
	１床室	8			
	４床室	10			
	重症室（２床室）	1			
	その他諸室				
	スタッフステーション	1			
	処置室	2			
	カンファレンス	1	18	18	
	器材室	1	15	15	
	説明室	1	15	15	
	介助浴室	1	18	18	
	患者用トイレ	2			男女各１
	洗面所	1			
	車椅子用トイレ	4			
	職員休憩室	1	18	18	
回復期リハビリ系ユニット					回復期＝５０床
	病室				
	１床室	8			
	４床室	10			
	重症室（２床室）	1			
	その他諸室				
	スタッフステーション	1			
	処置室	1			
	ＡＤＬ	1	15	15	
	カンファレンス	1	18	18	
	説明室	1	15	15	
	器材室	1	15	15	
	介助浴室	1	18	18	
	患者用トイレ	2			男女各１
	洗面所	1			
	車椅子用トイレ	3			
	職員休憩室	1	18	18	
	フロア共通				
	サテライトファーマシー	1	18	18	
	デイルーム	1			
	配膳室	1	12	12	
	汚物処理室兼廃棄物集積室	1	12	12	
	介助浴室	1			
	職員トイレ	2			男女各１

各病棟共通

		リネン設備				壁面収納設備等各ユニットに配置

病棟共用（利便施設）

		コインランドリー				５台程度の洗濯機を設置、設置場所は提案による。

諸室リスト：集中治療系ユニット

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	想定面積 (㎡)	摘要
病室					
	ＩＣＵ・ＣＣＵ				
	開放型（４床）	1	90	90	ＩＣＵ
	個室（１床）	4	22	88	ＣＣＵ
	器材室	1	26	26	
	前室				
	ＨＣＵ				
	総室型（４床）	2	40	80	
	個室	4	18	72	
	器材室	1	26	26	
	前室				
	中央監視・記録スペース	1	80	80	ＩＣＵ・ＣＣＵ・ＨＣＵ共用
	その他諸室				
	面談室兼説明室	1	12	12	
	職員休憩室	1	18	18	
	カンファレンスルーム	1	18	18	
	仮眠室（医師）	1			
	薬剤保管スペース	1	12	12	
	検査室	1	12	12	
	汚物処理室兼廃棄物集積所	1	12	12	
	更衣室（女性用）	1	30	30	トイレ、洗面、ＵＳ含む
	更衣室（男性用）	1	24	24	トイレ、洗面、ＵＳ含む

集中当直室

手術部門及び集中治療部門に隣接（または管理部門の一部）して当直室及び休憩室等を設置

	医師等当直室	10			
	職員休憩室	1	20	20	
	職員用浴室	2			男女各１
	ＵＳ	2			男女各１
	職員用トイレ	2			男女各１
	洗面室	1			

諸室リスト：救急センター

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	想定面積 (㎡)	摘要
	救急前室				救急車対応用
	診察室	4			
	処置室１	1	30	30	
	処置室２	1	18	18	
	除染室兼汚物処理室	1	8	8	
	検査室（緊急）	1	12	12	
	受付（事務室）	1	18	18	
	患者用トイレ	2			男女各１
	職員用トイレ	2			男女各１
	車椅子用トイレ	1			
	職員休憩室	1	24	24	仮眠スペース含む。
	家族待合スペース				

諸室リスト：手術部門

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	摘要	
	手術室１	1	70	70		清潔区域
	手術室2	1	65	65		清潔区域
	手術室3	1	45	45		清潔区域
	手術室4	1	45	45		清潔区域
	手術室5	1	45	45		清潔区域
	手術室6	1	45	45		清潔区域
	手術室7	1	45	45		清潔区域
	供給ホール	1				清潔区域
	外周廊下	1				清潔区域
	トランスファー	1	45	45		清潔区域
	洗浄・滅菌室	1	15	15		清潔区域
	写真撮影コーナー	1	9	9		清潔区域
	滅菌器材室	1	24	24		清潔区域
	薬剤保管庫・ 血液保管ｽﾍﾟｰｽ	1	10	10		清潔区域
	機器・機材室	2	36	72		清潔区域
	受付及び中央管理室	1	24	24		不潔区域
	術中緊急検査コーナー	1	9	9		清潔区域
	汚物処理室兼廃棄物集積所	1	15	15		清潔区域
	カンファレンスルーム	1	24	24	医師控室兼用	清潔区域
	職員休憩室	1	18	18		清潔区域
	手術場管理室	1	24	24		清潔区域
	職員トイレ	2			男女各１	清潔区域
	更衣室	1	12	12	日帰り患者用	清潔区域
	日帰り手術					
	診察室	2			麻酔科外来・日帰り手術用	不潔区域
	処置室	1	24	24		不潔区域
	患者用トイレ	2			日帰り対応、男女各１	不潔区域
	更衣室１	1	30	30	職員用（女性）、トイレ、ＵＳ及び洗面含む	不潔区域
	更衣室２	1	20	20	職員用（男性）、トイレ、ＵＳ及び洗面含む	不潔区域
	患者家族説明室	1	12	12		不潔区域
	家族控室	1	20	20		不潔区域

諸室リスト：中央材料滅菌部門

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	摘要
	不潔エリア				
	機器洗浄室等				
	準清潔エリア				
	組立室等				
	清潔エリア				
	滅菌室等				
	滅菌保管室等				
	事務管理室	1			
	器材（リネン）				
	更衣室等				
	払い出し				

部門名：腎臓・透析系ユニット、透析センター

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	摘要
	透析センター（外来）				
	治療室	2	220	440	隔離対応スペース含む
	薬品・物品修理作業室	1	24	24	
	更衣室	2	36	72	
	待合い兼食堂	1	90	90	
	物品倉庫	1			
	前室				履き替え対応用
	患者用トイレ	2			男女各１
	腎臓・透析系ユニット				２０床
	１床室	4			
	４床室	4			
	ディルーム	1	36	36	外来の待合いも兼用
	前室				
	配膳室	1	12	12	
	洗面所	1			
	フロア共通				
	ＣＡＰＤ室	1	18	18	
	処置室	1			
	スタッフステーション	1			透析センター・腎臓・透析ユニット共用想定
	カンファレンス	1	18	18	
	職員休憩室	1	24	24	
	資料室	1	24	24	
	機械室	1			血液浄化用水処理装置室
	シャワー室	2			
	患者用トイレ	2			男女各１
	車椅子用トイレ	2			
	職員用トイレ	2			男女各１
	汚物処理室兼廃棄物集積所	1	12	12	

諸室リスト：ＭＥ管理部門

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	摘要
	ＭＥ管理部門				
	ＭＥ機器集中管理室	1	60	60	
	ＭＥ技士室	1	24	24	洗面、ＵＳ含む

諸室リスト：薬剤部門

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	摘要
	諸室				
	入院調剤・注射室	1	100	100	
	外来相談室	1	10	10	
	ＤＩ・薬歴室	1	36	36	
	処方箋保管室	1	12	12	
	受付				夜間受付兼用
	湿性製剤室	1	20	20	
	IVH調整室・抗ガン室	1	36	36	無菌室兼用
	乾性製剤室	1	20	20	
	カンファレンスルーム	1	36	36	
	薬剤当直室	1			洗面、ＵＳ含む
	カートスペース				
	職員用トイレ	2			男女各１

諸室リスト：リハビリテーションセンター

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	想定面積 (㎡)	摘要
	理学療法室	1	260	260	
	物理療法室	1	45	45	
	作業療法室	1	130	130	
	ＡＤＬ室				
	水治療室	1	45	45	
	受付				
	言語療法室	1	15	15	
	診察室	1	15	15	リハビリ外来
	相談室	1	12	12	
	スタッフルーム	1	36	36	
	器具庫	1	15	15	
	評価室	1	15	15	
	記録保管室	1	15	15	
	患者用トイレ	2			
	車椅子用トイレ	1			
	患者更衣室	2	18	36	男女各１
	職員トイレ	2			男女各１

諸室リスト：検査部門

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	想定面積 (㎡)	摘要
検査受付					
	検査総合受付室	1			
検体検査					
	採尿前室				
	採尿室(男)トイレ	1			
	採尿室(女)トイレ	1			
	車椅子用トイレ	2			
	検体検査室	1			一般検査、緊急検査、血液検査、免疫化学検査 保冷庫、冷凍庫、洗浄含む ＦＭＳ方式の提案による
輸血管理部門					
	輸血検査室	1	36	36	
	自己血採血室	1	18	18	
	血液照射室	1	5	5	
細菌検査					
	前室	1	4	4	
	細菌検査処理室	1	18	18	
	クリーンルーム	1	12	12	
	培地作製室	1	8	8	
病理検査室					
	受付・検体処理室	1	16	16	
	標本作製室	1	30	30	
	診断室	1	36	36	
	標本保管室	1	36	36	

区分	名称	設定			摘要
		室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	
生理機能検査					
	肺機能､眼底検査室	1	24	24	生理検査受付含む
	心電図室	1	28	28	
	心エコー室	1	20	20	
	前室	1	10	10	誘発のデーター処理室兼用、２室分
	誘発１	1	18	18	
	誘発２	1	18	18	
	ﾄﾚｯﾄﾞﾐﾙ(ｴﾙｺﾞﾒｰﾀ)	1	24	24	
	脳波室	1	10	10	
	睡眠脳波室	1	10	10	
	脳波操作室	1	12	12	睡眠脳波・脳波共用
	待合い				
	データ庫	1	16	16	
管理部門					
	検査当直室	1			洗面、ＵＳ含む
	スタッフルーム	1	32	32	
	職員トイレ	2			男女各１
解剖､霊安室					
	解剖前室	1	10	10	
	更衣室	1	12	12	洗面、ＵＳ含む
	器材､準備室	1	16	16	
	解剖室	1	36	36	
	標本室	1	24	24	
	霊安室	1	32	32	家族控室含む（2室対応）

諸室リスト：放射線部門

区分	名称	設定			摘要
		室数	想定面積 (㎡/室)	想定面積 (㎡)	
画像診断					
	一般撮影室	3	27	81	
	乳房撮影室	1	14	14	
	Ｘ－ＴＶ室	2	30	60	
	泌尿器科撮影室	1	30	30	
	婦人科・断層撮影室	1	28	28	
	血管撮影室				
	撮影室①	1	60	60	
	撮影室②	1	45	45	
	操作室	1	30	30	
	前室	1	26	26	
	更衣室	1	8	8	
	機械室	2	15	30	
	ＣＴ室	2	33	66	
	ＭＲＩ室	2	40	80	
	ＭＲＩ機械室	2	10	20	
	腹部超音波室	1	36	36	3ベッド
	骨塩測定室	1	17	17	
	回復室	1	18	18	各検査兼用
	更衣室	1	18	18	ＭＲＩ・ＣＴ・ＴＶ等兼用、6人分
	薬品倉庫	1	20	20	
	ポータブル置場	1			
	待合いスペース				
その他諸室					
	読影室	1	50	50	
	暗室	1	10	10	
	スタッフルーム	1	24	24	
	更衣室	1	10	10	
	放射線当直室	1			洗面、ＵＳ含む
	器材室	1	20	20	
	患者用トイレ	2			
	検査用トイレ	2			
	職員用トイレ	2			
放射線治療					
	ﾘﾆｱｱｸｾﾗﾚｰﾀｰ室	1	100	100	
	シミュレータ室	1	30	30	
	操作・治療計画室	1	50	50	
	小線源治療室	1	50	50	
	診察室	1	15	15	
	回復室	1	10	10	
	工作室	1	24	24	
	患者用トイレ	2			
	待合スペース				
核医学検査					
	体外計測室	1	100	100	
	読影及びデータ管理室	1	20	20	
	処置室	1	10	10	
	準備室	1	12	12	
	待合スペース				
	貯蔵室	1	9	9	
	受付兼管理室	1	12	12	
	廃棄物室	1	10	10	
	ＲＩ専用ﾄｲﾚ、ｼｬﾜｰ	1			
	ﾄﾚｯﾄﾞﾐﾙ検査室	1	15	15	

諸室リスト：内視鏡部門

区分	名称	設定			摘要
		室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	
	上部内視鏡室	1	40	40	3ベッド
	下部内視鏡室	1	20	20	
	下部内視鏡室	1	30	30	
	X線操作室	1	12	12	
	治療内視鏡室	1	30	30	
	上部用前処置室／更衣室	1	20	20	
	下部前処置室	1	20	20	
	リカバリールーム	1	24	24	説明室兼用
	職員休憩室	1	16	16	
	洗浄/消毒/器材室	1	20	20	
	待合いスペース				受付スペース含む、他部門共用可能
	車椅子用トイレ	2			下部前処置室に隣接

諸室リスト：健診センター

区分	名称	設定			摘要
		室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	
	受付	1			
	待合い（ラウンジ）	1			
	診察室	2	15	30	
	器材室	1	15	15	
	エコー・心電図室	1	15	15	
	更衣室（男）	1	12	12	
	更衣室（女）	1	12	12	
	相談室①	1	15	15	
	相談室②	1	15	15	視力・聴力検査兼用
	事務室	1	20	20	

諸室リスト：栄養部門

区分	名称	設定			摘要
		室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	
調理部門					
	厨房				
	食品庫				
	冷蔵室（前）				
	冷蔵室（後）				
	冷凍室				
	荷さばき室				
	検収室				
	下処理室				
	洗浄室				
	配膳車プール				
	下膳エリア				
	物品庫				
	休憩室				
	更衣室				
	シャワー室				
	トイレ				
栄養管理					
	栄養事務室	1	20	20	
	個別栄養指導室	2	8	16	
	検食室、来客室	1	10	10	

諸室リスト：管理部門

区分	名称	設定			
		室数	想定面積 (㎡/室)	想定面積 (㎡)	
医事部門					
	受付	1	20	20	
	医事課	1	80	80	
	入退院管理室	1	18	18	
	湯沸室	1			
	職員トイレ	2			男女各１
経営・情報部門					
	経営情報企画室	1	60	60	モニタリング・医療情報システム・経営企画担当部門
	サーバー室				
	病歴室	1	80	80	
庶務部門					
	庶務課	1	100	100	
	印刷室兼書庫	1	16	16	
	湯沸室	1			
管理部門					
	更衣室（女子）	2	100	200	
	仮眠室	1	30	30	更衣室に隣接、内部に洗面、トイレ、ＵＳ設置
	更衣室（男子）	1	36	36	
	仮眠室	1	30	30	更衣室に隣接、内部に洗面、トイレ、ＵＳ設置
	看護実習生更衣室	1	24	24	
	名誉院長室	1	18	18	
	院長室	1	30	30	
	応接室	1	24	24	
	副院長室	3	18	54	
	医局	2	150	300	
	医局専用応接室	1	24	24	医局談話室及び来客対応兼用
	看護部長室	1	18	18	
	婦長事務室	1	24	24	
	事務長室	1	18	18	庶務課に隣接
	事務応接室	1	12	12	
	国際交流室	1	24	24	
	SPC事務局				
	会議室①	1	20	20	可動間仕切りで区分し、他の会議室と併合できるよう工夫
	会議室②	1	36	36	
	会議室③	1	36	36	
	会議室④	1	54	54	栄養指導兼用
	講堂	1	180	180	
	研修室	1	30	30	看護実習生の控室兼用
	図書室	1	80	80	
	ボランティア室	1	18	18	
	事務部門更衣室	2	30	60	
	共通倉庫	1	36	36	
	倉庫	1	18	18	
	職員トイレ	2			男女各１
地域医療連携部門					
	地域医療連携室	1	30	30	
	医療相談室	4	12	48	
	相談待合い				
	医師会連携室	1	30	30	
	湯沸室	1			

諸室リスト：物品管理部門

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	
物品管理					
	中央倉庫				
	その他物品保管				
	事務室				
	備蓄倉庫	1	200	200	

諸室リスト：施設管理部門

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	摘要
	設備関係（参考例示）				エネルギー部門含む関係諸室想定
	電気設備室				
	機械設備室				
	中央監視室				
	施設関係（参考例示）				選定事業者関係諸室想定（給食等除く）
	ベッドセンター				
	電話交換室				
	リネン関係諸室				洗濯室、リネン倉庫等
	清掃関係諸室				
	警備関係諸室				
	更衣室				
	休憩室				

諸室リスト：福利厚生部門

区分	名称	設定 室数	想定面積 (㎡/室)	(㎡)	摘要
	患者(市民)サービス関係				
	喫煙室				玄関前・中庭に屋根付きで設置
	公衆電話コーナー				
	総合案内 まちの駅コーナー 図書コーナー	1	50	50	
	院外処方コーナー	1	15	15	
	利便施設				
	売店・ フラワーショップ				
	理容室・美容室				
	自販機				
	ＡＴＭ				
	外来レストラン				
	外来レストラン				
	職場環境整備関係諸室				
	福利厚生室	1	40	40	和室、茶室(水屋)等
	職員組合事務室	1	40	40	
	健康管理室	1	36	36	
	職員食堂	1			

諸室計画（諸室データーシート①）：外来センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
Aブロック				
総合内科 消化器内科 循環器科	診察室	①内科外来患者の診察を行う。（初診患者含む） ②診察室はフリーアドレス制を採用する。	①各室診察ベッド1台対応とする。 ②診察室内部のプライバシーの保護を重視すること（視覚的、聴覚的にも）。 ③入口は引き戸とし、車椅子・ストレッチャーが出入りできる幅とすること。 ④診察室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。 ⑤診察台の周囲にはキュービクルカーテンを設けること。 ⑥スタッフ通路から出入りができること。 【診察室の②～⑥を「標準仕様A」とする。】 スタッフ通路の仕様（各部門共通） ⑦スタッフ通路には流し台等と一体になった作業台（収納庫付き）を設けること。	①医師用机（W2100）　10台 ②医師用椅子　10脚 ③患者用椅子　10脚 ④補助用椅子　10脚 ⑤診察台セット　10台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　10台 ⑦脱衣かご　10個
ブロック内共用				
	処置室	①内科外来患者の処置を行う。	①処置用ベッド3台に対応する仕様とすること。 ②処置用ベッドにはキュービクルカーテン及び点滴レールを設けること。 ③入口は引き戸とし、車椅子・ストレッチャーが出入りできる幅とすること。 ④医療ガスのアウトレット（酸素・吸引等）を各ベッドに配置すること。 ⑤スタッフ通路から出入りができること。	①処置用ベッド　3台（医療器機対応） ②患者用椅子　2脚 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫（SPD対応） ④医師用机（W1200）　１台 ⑤医師用椅子　1脚
	カンファレンスルーム	①症例検討、打ち合わせ会及び職員休憩室として使用する。	①診察室へスタッフ通路から出入りができること。 ②壁付きホワイトボードを設けること。	①ミーティングテーブル(W1800)　1台 ②椅子　8脚 ③長椅子　1脚 ④手荷物収納（職員用）ロッカー　（12人用）　１台
	多目的室（問診等）	①初診患者の問診及び検査説明等多目的に使用する。	①将来、診察室等への転用も考慮する。 ②ブロック受付に隣接していること。 ③スタッフ通路からも出入りができること。	①医師用机（W2100）　1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　１脚 ④キャビネット（書類用）　1台
Bブロック				
小児科				
	診察室	①小児科外来患者の診察を行う。	①各室診察ベッド1台対応とする。 ②「標準仕様A」 ③診察室へはスリッパで入室できる仕様とする。	①医師用机（W2100）　3台 ②医師用椅子　3脚 ③患者用椅子　3脚 ④補助用椅子　3脚 ⑤診察台セット　3台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　3台 ⑦脱衣かご　3個 ⑧下駄箱　　１12人用　1台（中待ち用）
	処置室	①小児科外来患者の処置(点滴、採血、髄液検査、浣腸など)や加療(吸入など）を行う。	①処置用ベッド3台、ベビーベッド2台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様B」	①処置用ベッド　2台（医療器械対応） ②ベビーベッド　2台（医療器械対応） ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫　（SPD対応） ④医師用机(W1200)　１台 ⑤医師用椅子　1脚
	隔離診察室	①隔離を必要とする感染症患者等の診察を行う。	①診察ベッド1台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様A」	①医師用机(W2100)　1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　1脚 ④補助用椅子　1脚 ⑤診察台セット　1台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　1台 ⑦脱衣かご　1個
	隔離待合室兼隔離処置室	①感染症患者等の待合い及び患者の処置を行う。	①待合いと処置室が間仕切りされていること。 ②処置室は処置用ベッド2台に対応する仕様とすること。 ③「標準仕様B」 ④待合いから隔離診察室へ入室できる仕様とすること。 ⑤隔離処置室から隔離診察室へ入室できる仕様とすること。	①処置用ベッド　2台（医療器機対応） ②待合い長椅子(W1700)　2台 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫　1台（SPD対応） ④医師用机(W1200)　1台 ⑤医師用椅子　1脚
耳鼻咽喉科				
	診察室	①耳鼻科外来患者の診察を行う。	①耳鼻科診察ユニット（両面）1台、診察ユニット（片面）1台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様A」	①医師用机（W2100）　2台 ②医師用椅子　2脚 ③患者用椅子　2脚 ④補助用椅子　2脚 ⑤診察ユニット　2セット（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　2台 ⑦脱衣かご　2個
	処置室	①耳鼻科外来患者の処置を行う。	①処置用ベッド1台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様B」	①処置用ベッド　1台（医療器機対応） ②患者用椅子　2脚 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫（SPD対応）　1台 ④医師用机(W1200)　1台 ⑤医師用椅子　1脚
	聴力検査室	①聴力検査を行う。	①防音仕様とする。	①患者用椅子　3脚 ②医師用椅子　1脚
	平衡感覚検査室	①平衡感覚検査等を行う。		①患者用椅子　3脚 ②医師用椅子　1脚

諸室計画（諸室データーシート①）：外来センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
泌尿器科				
	診察室	①泌尿器科外来患者の診察を行う。	①各室診察ベッド1台対応とする。 ②「標準仕様A」	①医師用机(W2100)　2台 ②医師用椅子　2脚 ③患者用椅子　2脚 ④補助用椅子　2脚 ⑤診察台セット　2台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類対応）　2台 ⑦脱衣かご　2個
	処置室	①泌尿器科の処置（尿道カテーテル交換、膀胱瘻カテーテル交換、腎瘻カテーテル交換等）を行う。 ②膀胱鏡検査及び超音波検査を行う。	①処置用ベッド1台、膀胱鏡台1台、超音波検査装置用ベッド1台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様B」 ③処置室内に尿流測定室（4㎡程度）を設けること。 ④室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。	①処置用ベッド　2台（医療器機対応） ②膀胱鏡台　1台（医療器機対応） ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫（SPD対応） ④医師用机(W1200)　1台 ⑤医師用椅子　1脚 ⑥脱衣かご　3個
	ＥＳＷＬ室	①結石破砕を行う。	①医療法施行規則に基づくＸ線防護基準に添った構造であること。 ②室内に手洗い及び汚物流しを設けること。 ③ESWLの機種によっては操作室を設けることを想定している。 ④室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。	①事務用机(W1200)　2台 ②医師用椅子　2脚 ③脱衣かご　1個
ブロック内共用				
	カンファレンスルーム	①症例検討、打ち合わせ会及び職員休憩室として使用する。	①スタッフ通路からも出入りができること。 ②壁付きホワイトボードを設けること。	①ミーティングテーブル(W1800)　1台 ②椅子　8脚 ③長椅子　1脚 ④手荷物収納（職員用）ロッカー　（12人用）　1台
	多目的室（問診等）	①初診患者の問診及び検査説明等多目的に使用する。	①将来、診察室等への転用も考慮する。 ②ブロック受付に隣接していること。 ③スタッフ通路からも出入りができること。	①医師用机(W1200)　1台 ②医師用椅子　1台 ③患者用椅子　3脚 ④キャビネット（書類用）　1台
	プレイルーム兼授乳室	①小児の待合及び授乳・おむつ交換等を行う。	①小児科に近い待合いに設けることが望ましい。 ②部屋をパーティション等で仕切り、授乳おむつ交換できるコーナーを設けること。 ③床材は小児が転んでもけがをしない仕様が望ましい。 ④調乳を行うため給湯設備（電熱式）を設けること。 ⑤本・おもちゃ等の収納用多目的棚を設けること。	①ベビーベッド　1台（医療器機対応）
Cブロック				
外科・整形外科				
	診察室	①外科・整形外科外来患者の診察を行う。 ②外科・整形外科で診察室を共有しフリーアドレスを採用する。	①各室診察ベッド1台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様A」	①医師用机(W2100)　7台 ②医師用椅子　7脚 ③患者用椅子　7脚 ④補助用椅子　7脚 ⑤診察台セット　7台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　7台 ⑦脱衣かご　7個
	外科処置室	①外科小手術（アテローム摘出）を行う。 ②外傷の縫合等を行う。	①処置用ベット1台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様B」	①処置用ベッド　2台（医療器機対応） ②患者用椅子　2脚 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫　1台（SPD対応） ④医師用机(W1200)　1台 ⑤医師用椅子　1脚
	整形外科処置室	①整形外科の処置（神経ブロック、洗浄処置等）を行う。	①処置用ベット2台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様B」	①処置用ベッド　2台(医療器機対応） ②患者用椅子　2脚 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫　1台（SPD対応） ④医師用机(W1200)　1台 ⑤医師用椅子　1脚
	整形外科ギブス室	①ギブス処置、装具処方を行う。	①ギブス用ベット　1台に対応する仕様とする。 ②床が水洗いできる構造とすること。 ③松葉杖、石膏装具等を収容する棚を設けること。	①診察ベッド　1台（医療器機対応） ②作業台　1台（医療器機対応）
皮膚科				
	診察室	①皮膚科外来患者の診察を行う。	①各室診察ベッド1台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様A」	①医師用机(W2100)　2台 ②医師用椅子　2脚 ③患者用椅子　2脚 ④補助用椅子　2脚 ⑤診察台セット　2台（医療器機対応） ⑥キャビネット(書類用)　2台 ⑦脱衣かご　2個
	処置室	①皮膚科外来患者用の処置を行う。	①処置用ベッド1台及び術者用椅子1台対応する仕様とすること。 ②「標準仕様B」	①処置用ベッド　1台（医療器機対応） ②患者用椅子　1脚 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫　1台（SPD対応） ④医師用机(W1200)　1台 ⑤医師用椅子　1脚
	レーザー処置室	①レーザー手術等を行う。	①処置用ベッド1台に対応する仕様とすること。 ②「標準仕様B」	①処置用ベッド　1台（医療器機対応） ②患者用椅子　1脚 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫　1台（SPD対応） ④医師用机(W1200)　1台 ⑤医師用椅子　1脚

諸室計画（諸室データーシート①）：外来センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
産婦人科				
	診察室	①健診者の問診を行う。	①問診室と内診室をペアで設置すること。 ②出入り口は内側にカーテンを設け、ドアを開けたとき内部が見えないようにすること。 ③「標準仕様A」	①医師用机(W2100)　2台 ②医師用椅子　2脚 ③患者用椅子　2脚 ④診察台セット　2台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　2台
	内診室	①健診者の内診を行う	①問診室と内診室をペアで設置しアコーデオンカーテン等で間仕切りを行い、行き来ができること。 ②「標準仕様A」	①医師用机(W1200))　2台 ②医師用椅子　2脚 ③患者用椅子　2脚 ④キャビネット（書類用）　2台 ⑤脱衣かご　2個
	超音波室	①超音波検査及びその他の妊産婦検査を行う。	①超音波検査ベッド１台対応の仕様とする。 ②室内にキュービクルカーテン（暗幕）を設けること。	①診察ベッド　1台（医療器機対応） ②事務机(W1200)　1台 ③医師用椅子　1脚
	NST室・妊検室	①妊産婦検査を行う。	①室内をパーテイションで仕切NST部分と、妊検対応部分に区分する。 ②診察ベッド（NST）及びリクライニングチェアー2台を設置する仕様とする。 ③内部にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。	①リクライニングチェアー　2脚（医療器機対応） ②診察ベッド　1台（医療器機対応） ③脱衣かご　2台
ブロック内共用				
	小手術室	①Bブロック共用外来小手術として使用する。 ②簡単な抜釘術、創の切開、縫合術（局麻、神経ブロック対応）	①手術用ベッド2台に対応の仕様とすること。	①手術用ベッド　2台（医療器機対応）
	カンファレンスルーム	①症例検討、打ち合わせ会及び職員休憩室として使用する。	①スタッフ通路からも出入りができること。 ②壁付きホワイトボードを設けること。	①ミーティングテーブル(W1800)　1台 ②椅子　8脚 ③長椅子　1脚 ④手荷物収納（職員用）ロッカー　（12人用）　1台
	多目的室（問診等）	①初診患者の問診及び検査説明等多目的に使用する。	①将来、診察室等への転用も考慮する。 ②ブロック受付に隣接していること。 ③スタッフ通路からも出入りができること。	①医師用机（W1200）　1台 ②医師用椅子　1台 ③患者用椅子　3脚 ④キャビネット（書類用）　1台
Dブロック				
脳神経外科				
	診察室	①脳神経外科外来患者の診察を行う。	①診察ベッド1台に対応する使用とする。 ②「標準仕様A」	①医師用机(W2100)　1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　1脚 ④補助用椅子　1脚 ⑤診察台セット　1台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　1台 ⑦脱衣かご　1個
	処置室	①脳神経外科外来患者の処置を行う。	①処置用ベッド1台に対応する使用とする。 ②「標準仕様B」	①処置用ベッド　1台（医療器機対応） ②患者用椅子　2脚 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫　1台（SPD対応） ④医師用机(W1200)　1台 ⑤医師用椅子　1脚
眼科				
	診察室	①眼科外来患者等の診察を行う。	①診察室の内1室は診察ベッド1台対応とすること。 ②入り口及びスタッフ通路側は遮光カーテンで仕切ること。 ③「標準仕様A」	①医師用机(W2100)　2台 ②医師用椅子　2脚 ③患者用椅子　2脚 ④補助用椅子　2脚 ⑤診察台セット　2台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　2台 ⑦脱衣かご　2個
	処置室	①眼科外来患者の軽易な手術や各種処置等を行う。	①処置用ベッド1台対応の仕様とすること。 ②入り口及びスタッフ通路側は遮光カーテンで仕切ること。 ③「標準仕様B」	①処置用ベッド　1台（医療器機対応） ②患者用椅子　2脚 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫（SPD対応） ④医師用机(W1200)　1台 ⑤医師用椅子　1脚
	暗室	①暗室下での各種治療や検査を行う。	①暗室仕様とする。 ②暗室を保つため出入口に二重のカーテンを設置すること。 ③個室対応とすること。 ④投影による検査を行うため白い壁にすること。 ⑤照明を調光できるようにすること。	①診察台セット　1セット（医療器機対応） ②医師用椅子　2脚 ③患者用椅子　2脚
	レーザ室	①レーザー光線を用いた治療、暗室下での治療や検査を行う。	①個室対応及び暗室仕様とする。 ②暗室を保つため出入口に二重のカーテンを設置すること。 ③レーザー器機の規格に合った電源や水の供給ができること。 ④照明は調光できるようにすること。	①医師用椅子　1脚 ②患者用椅子　2脚
	視能矯正室・検査室	①明室下での視能訓練、検査を行う。	①視力検査（3レーン）に対応できること。	①患者用椅子　15脚

諸室計画（諸室データーシート①）：外来センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
神経内科				
	診察室	①神経内科外来患者の診察を行う。	①各室診察ベッド1台対応とすること。 ②「標準仕様A」	①医師用机(w2100)　2台 ②医師用椅子　2脚 ③患者用椅子　2脚 ④補助用椅子　2脚 ⑤診察台セット　2台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　2台 ⑦脱衣かご　2個
	処置室	①外科的小処置(腰椎穿刺)、点滴、採血を行う。	①処置用ベッド1台に対応する仕様とする。 ②「標準仕様B」	①処置用ベッド　1台（医療器機対応） ②患者用椅子　2脚 ③薬品戸棚兼衛生材料収納庫　1台（ＳＰＤ対応） ④医師用机(w1200)　１台 ⑤医師用椅子　1脚
精神科（心療内科）				
	診察室	①心療内科外来患者の診察を行う。	①各室診察ベッド1台に対応する仕様とする。 ②「標準仕様A」	①医師用机(w2100)　２台 ②医師用椅子　２脚 ③患者用椅子　２脚 ④補助用椅子　２脚 ⑤診察台セット　２台（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　２台
ブロック内共用				
	カンファレンスルーム	①症例検討、打ち合わせ会及び職員休憩室として使用する。	①スタッフ通路からも出入りができること。 ②壁付きホワイトボードを設けること。	①ミーティングテーブル(w1800)　1台 ②椅子　8脚 ③長椅子　1脚 ④手荷物収納（職員用）ロッカー　（１２人用）　１台
	多目的室（問診等）	①初診患者の問診及び検査説明等多目的に使用する。	①将来、診察室等への転用も考慮する。 ②ブロック受付に隣接していること。 ③スタッフ通路からも出入りができること。	①医師用机(w1200)　1台 ②事務椅子　1台 ③患者用椅子　3脚 ④キャビネット（書類用）　1台
外来全体で共用				
	中央処置室	①外来患者一般に対して点滴などの処置を行う。	①処置用ベッド20台及びリクライニングチェアー2台対応の仕様とする。 ②処置用ベッドにはキュービクルカーテン及び点滴レールを設けること。 ③室内に流し台と汚物流しを設けること。 ④室内に受け付けカウンターを設けること。（収納付き） ⑤中央採血室と受付が共用できる構造とすること。	①処置用ベッド　20台(医療器機対応) ②長椅子(W1700)　3台 ③リクライニングチェアー　2台 ④処置用テーブル　1台 ⑤事務用椅子　3脚
	中央採血室	①外来患者一般に対して採血を行う。	①採血用ベッド3台及び採血カウンター（6人程度）を設けること。 ②採血用ベッドにはキュービクルカーテン及び点滴レールを設けること。 ③中央処置室の流し台及び汚物流しが共用できる仕様とすること。 ④中央処置室と受付が共用できる構造とすること。	①待合い用長椅子　2台 ②患者用椅子　8台 ③採血用ベッド　3台（医療器機対応） ④事務机(W1200)　1台 ⑤事務用椅子　1台
	産科指導室	①産科の妊産婦指導用を行う。 ②栄養指導室を兼用する。 ③一般会議室を兼用する。	①妊産婦が体操を行うため上履き対応の仕様とする。 ②集団栄養指導ができる設備（調理実習台2台）を設ける仕様とする。 ③調理実習台は、使用しないときはパーティション又は、カーテン等で仕切られていること。 ④会議室として使用できる仕様とする。	①サークルベット　2台 ②会議用長机　8脚 ③会議用椅子　24脚 ④下駄箱　（15人用）　２台
	職員用トイレ	①職員用トイレ	①外来患者の動線からはずれた位置に設けること。	①汚物入れ
	外来車椅子用トイレ	①外来患者及び外来者用車椅子トイレ	①荷物置きを設けること。 ②ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	外来トイレ	①外来患者及外来者用トイレ	①荷物置きを設けること。 ②ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	その他必要諸室			

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
混成系Bユニット				
病室				
	1床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	①出入口は引戸で（窓付）で、ベッドの出入りがスムーズに出来る幅があること。 ②トイレ、洗面ユニットを設置すること。 ③収納は洋服が吊り下げられるものを設けること。 ④点滴レールを設けること。 ⑤室入口にカーテン（中が直接みえないように）を設けること。 ⑥壁面ユニット（医療ガス設備・各種照明、コンセント含む）を設けること。不要な時は外から見えないように設置する。 ⑦床頭台はテレビ、セーフティボックス、冷蔵庫等の利便設備を設けること。 以下病棟における１床室は原則共通の仕様とする。	各室 ①ベッド　　1台（医療器機対応） ②オーバーテーブル　1台（医療器機対応）
	4床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	①出入口は引戸で（窓付）で、ベッドの出入りがスムーズに出来る幅があること。 ②収納は洋服が吊り下げられるものを設ける仕様とすこと。 ③点滴レールを各ベッド毎に設けること。 ④キュービクルカーテン（上部は編み用）を各ベッド毎に設けること。 ⑤洗面器を設けること。 ⑥壁面ユニット（医療ガス設備・各種照明、コンセント含む）を設けること。不要な時は外から見えないように設置する。 ⑦床頭台はテレビ、セーフティボックス、冷蔵庫等の利便設備を設けること。 以下病棟における4床室の仕様は原則共通とする。	各室 ①ベッド　　4台（医療器機対応） ②オーバーテーブル　4台（医療器機対応）
	重症個室（2床室）	①重症者及びターミナル期等の患者に使用する。	①出入口は引戸で（窓付）で、ベッドの出入りがスムーズに出来る幅があること。 ②収納は洋服が吊り下げられるものを設けること。 ③点滴レールを各ベッド毎に設けること。 ④キュービクルカーテン（上部は編み用）を各ベッド毎に設けること。 ⑤洗面器を設けること。 ⑥壁面ユニット（医療ガス設備・各種照明、コンセント含む）を設けること。不要な時は外から見えないように設置する。 ⑦床頭台はテレビ、セーフティボックス、冷蔵庫等の利便設備を設けること。 ⑧スタッフステーションからできるだけ近い位置に設けること。（隣接する場合はガラス間仕切り等を用い患者の状況が分かるように配慮すること。） 以下病棟における重症室（2床室）の仕様は原則共通とする。	①ベッド　　2台　（医療器機対応） ②オーバテーブル　　2台（医療器機対応）
	NICU前室	①入室準備室 ②手洗い　ガウンテクニック　スリッパ履き替えを行う。 ③患者・家族の入り口を兼用する。	①入口は自動ドアであること。	①職員更衣ロッカー　4人用　2台 ②患者用更衣ロッカー4人用　3台 ②下駄箱　16人分
	NICU（9床）	①未熟児の治療を行う。 ②NICU3床、GCU6床で運用する。	①入口は自動ドアであること。 ②収納庫は壁面を利用する。 ③GCU側にガラスパーテイションで区画された感染隔離のエリアを設けること。 ④NICU側はカーテンで仕切暗室対応できる仕様とすること。	①ナーステーブル　　1台 ②椅子　　6脚 ③キャビネット（書類用）　1台 ④ＮＩＣＵ用保育器等　　9台（医療器機対応）
	NICU器材室	①医療器材、物品材料、薬品の収納を行う。 ②クベースの消毒と保管をする。	①器材が効率よく収納できるよう壁面収納を設ける。	①物品収納棚　　1台（SPD対応） ②薬品収納棚　　1台（SPD対応）
	NICU授乳室・沐浴室	①調乳後のミルクの保管及び沐浴等の指導を行う。 （退院指導室）	①沐浴槽2台を設けること。 ②入口は自動ドアであること。 ③収納庫は壁面を利用する。	①ソファー　1台（医療器機対応） ②小児用ベッド　1台（医療器機対応）
	NICU仮眠室	①医師仮眠室。	①トイレを設けNICU内の職員トイレと兼用する。	①ベッド　　1台 ②事務用椅子　　1脚 ③事務用机(W1200)　1台
	調乳室	①調乳及び母乳の保管を行う。	①給湯設備を設ける。 ②搾乳後の母乳が窓越しに手渡しできる仕様が望ましい。	①キャビネット（書類用）　1台

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
その他諸室				
	スタッフステーション	①医師、看護婦が入院・療養に伴う各種の作業を行う。	①ステーションはオープンカウンターとする。 ②整理しやすい、使いやすい収納ユニットを設置すること。 ③医師コーナー、婦長コーナ、作業コーナー等効率よく配置すること。 ④壁面を利用しホワイトボードを設けること。	スタッフステーションは提案による面積・機能に大きく影響されるため、必要備品は変化すると考えられるので最低必要と思われる備品を計上した。 ①事務用机(W1200)　3台 ②事務用椅子　5脚 ③ナーステーブル　1台 ④椅子（ナース用）　8脚
	処置室	①病棟における処置を行う。	①ベッド搬入に充分な出入口を有すること。 ②通路側から使用中の表示ができること。	①処置用ベッド　1台（医療器機対応）
	カンファレンス	①スタッフの研修・会議を行う。	①患者動線から区別されていること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　8台
	器材室	①医療器機看護用品を保管する。	①各種の医療器械を整理しやすく、取り出しやすいユニットを設置すること。 ②壁面を利した収納を設けること。	①軽量棚　2台
	説明室	①患者及び家族に治療・看護について説明を行う。	①使用中の表示が出来ること。	①説明用テーブル　1台 ②椅子（説明用）　4脚
	プレイルーム	①小児患者が療養中に活動する。	①部屋の中が見えるような仕様とすること。 ②スタッフステーションに隣接することが望ましい。 ③転んでもけがをしない床材質が望ましい。 ④壁面収納棚を設けること。	①キャビネット（書類用）　1台
	院内学級	①入院中の小学生及び中学生が学習を行う。	①小学生5人程度、中学生5人程度の学習ができる仕様とする。 ②黒板を壁面（2面）に設置する。 ③壁面収納棚等を考慮すること。	①学習用机　10台 ②学習用椅子　10台
	患者用トイレ	①病棟患者用トイレ	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②蓄尿設備を設ける仕様とすること。 ③ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ④ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	洗面所	①病棟洗面所	①車椅子使用者も使用できる。 ②シャンプーコーナーを設置すること。	
	車椅子用トイレ	①病棟車椅子対応多目的トイレ	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分されること。 ②窓がある部屋が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　10台 ③長椅子　1台 ④手荷物収納ロッカー　12人用　2台
混成系Cユニット				
病室				
	1床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	4床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	重症個室（2床室）	①重症者及びターミナル期等の患者に使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
その他諸室				
	スタッフステーション	①医師、ナースが入院・療養に伴う各種の作業を行う。	①ステーションはオープンカウンターとする。 ②整理しやすい、使いやすい収納ユニットを設置すること。 ③医師コーナー、婦長コーナ、作業コーナー等効率よく配置すること。 ④壁面を利用しホワイトボードを設けること。	スタッフステーションは提案による面積・機能に大きく影響されるため、必要備品は変化すると考えられるので最低必要と思われる備品を計上した。 ①事務用机(W1200)　3台 ②事務用椅子　5脚 ③ナーステーブル　1台 ④椅子（ナース用）　8脚
	処置室	①病棟における処置を行う。	①ベッド搬入に充分な出入口を有すること。 ②通路側から使用中の表示ができること。	①処置用ベッド　1台
	内診室	①内診を行う。	①内部にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。	①医師用机(W2100)　1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　1脚 ④脱衣かご　1個
	カンファレンス	①スタッフの研修・会議を行う。	①患者動線から区別されていること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　8台
	器材室	①医療器機看護用品を保管する。	①各種の医療器械を整理しやすく、取り出しやすいユニットを設置すること。 ②壁面を利した収納を設けること。	①軽量棚　2台
	説明室	①患者及び家族に治療・看護について説明を行う。	①使用中の表示が出来ること。	①説明用テーブル　1台 ②椅子（説明用）　4脚
	患者用トイレ	①病棟患者用トイレ	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②蓄尿設備を設ける仕様とすること。 ③ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ④ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	洗面所	①病棟洗面所	①車椅子使用者も使用できる。 ②シャンプーコーナーを設置すること。	
	車椅子用トイレ	①病棟車椅子対応多目的トイレ	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分されること。 ②窓がある部屋が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　10台 ③長椅子　1台 ④手荷物収納ロッカー　12人用2台

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
分娩部門				
	陣痛室・回復室	①産婦の陣痛・回復室として使用する。	①スタッフステーションから監視しやすい仕様とする。 ②分娩監視装置の配置スペースを考慮した配置とする。 ③点滴レールを設けること。 ④3室には常時観察できる職員通路を設ける。 ⑤分娩室と隣接すること。 ⑥入口にカーテンを設けること。 ⑦防音に配慮すること。	①分娩用ベット（医療器機対応） ②脱衣かご　3個
	分娩室	①分娩を行う。	①2つの分娩室は出入りしやすく、分娩室の出入りは広く引き戸で静かな自動ドアとする。 ②分娩室入口内にカーテンを設けること。 ③分娩監視装置、インファントウォーマー、簡易式吸引器の配置スペースを考慮すること。 ④点滴レールを設けること。 ⑤防音に配慮した仕様とすること。	①分娩用ベット（医療器機対応）
	患者用トイレ	①分娩患者用トイレ	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②蓄尿設備を設ける仕様とすること。 ③ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ④陣痛回復室及び分娩室に隣接していること。 ⑤ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	新生児室	①新生児の観察及び一時母親から預かるため使用する。	①部屋はガラス張りにして、室外から新生児との面会や観察が出来る。 ②感染予防や観察・救急処置に対処しやすい仕様とする。 ③隔離スペースを設けること。 ④関係者以外が入室できない仕様とする。 ⑤できるだけスタッフステーションに隣接することが望ましい。	①新生児用ベット　10台（医療器機対応） ②事務用机(W1200)　1台 ③下駄箱12人用　1台 ④事務椅子　1脚
	沐浴室	①新生児の沐浴を行う。 ②沐浴指導を行う。	①分娩室の隣で、出生直後の新生児をすぐに洗えること。 ②収納庫は壁面を利用する。 ③沐浴槽2台を設置する。	①小児用ベット　2台（医療器機対応）
	授乳室・調乳室	①授乳及び調乳、退院指導等を行う。	①関係者以外が入室できない仕様とする。 ②出入りは静かな自動ドアとする。 ③外部から授乳室内が見えない仕様とする。 ④収納庫は壁面に設置する。	①産褥椅子　　2台（医療器機対応） ②事務用椅子　　1脚 ③小児用ベット　2台　（医療器機対応） ④テーブル　　1台
	産科仮眠室	①時間外時における産科医師及び助産婦の仮眠室。	①緊急呼び出しに対応する。 ②室内にUB（トイレ付き）を設けること。	①ベッド　　2台 ②椅子　　2脚 ③事務用机(W1200)　2台
フロアー共通				
諸室				
	サテライトファーマシー	①病棟における薬剤業務、服薬指導を行う。	①クリーンベンチが設置できる仕様とする。	①事務用机(W1200)　　2台 ②事務用椅子　4台
	デイルーム	①患者の食堂、面会スペース、その他多目的ホールとして使用する。 ②災害時にはベッドを搬入することで臨時応急病室として使用する。	①40人程度が食事ができる仕様であること。 ②手洗い、ミニキッチン等の設備を設けること。 ③公衆電話コーナー、ゴミ集積所、面会コーナー等のスペースを有すること。 ④身体の不自由な患者に配慮すること。 ⑤ピクチャーレール等を設けること。	①テーブル　10台 ②椅子　40脚 ③応接セット　　2セット
	配膳室	①配膳車・下膳車の収納スペースとして使用する。	①温冷配膳車に対応すること。	
	汚物処理室兼廃棄物集積室	①汚物の処理及び集積を行う。 ②一般ゴミ及び医療廃棄物の分別集積所として使用する。	①一般ゴミの分別集積が出来ること。 ②医療用廃棄物の分別集積・一時保管が出来ること。 ③スタッフステーションにできるだけ隣接することが望ましい。	①提案による集積設備を想定
	シャワー室	①患者シャワー	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②シャワー室を3室設け、1室は介助対応のできること。 ③車椅子で入室できる入口であること。 ④脱衣棚を設けること。	①シャワチェアー　3脚
	職員トイレ	①職員用トイレ	①スタッフと患者の動線が区分すること。	①汚物入れ

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
消化器系ユニット				
病室				
	1床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	1床室（感染症）	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	第2種感染症対応とすること。 混成系Bと同一仕様とする	①ベッド　4台（医療器機対応） ②オーバーテーブル　4台（医療器機対応） ③応接セット　4セット
	4床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	重症個室（2床）	①重症者及びターミナル期等の患者に使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
その他諸室				
	スタッフステーション	①医師、ナースが入院・療養に伴う各種の作業を行う。	①ステーションはオープンカウンターとする。 ②整理しやすい、使いやすい収納ユニットを設置すること。 ③医師コーナー、婦長コーナ、作業コーナー等効率よく配置すること。 ④壁面を利用しホワイトボードを設けること。	スタッフステーションは提案による面積・機能に大きく影響されるため、必要備品は変化すると考えられるので最低必要と思われる備品を計上した。 ①医師用机(W1200)　3台 ②事務用椅子　5脚 ③ナーステーブル　1台 ④椅子（ナース用）　8脚
	処置室	①病棟における処置を行う。	①ベッド搬入に充分な出入口を有すること。 ②通路側から使用中の表示ができること。	①処置用ベッド　1台
	カンファレンス	①スタッフの研修・会議を行う。	①患者動線から区別されていること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　8台
	器材室	①医療器機看護用品を保管する。	①各種の医療器械を整理しやすく、取り出しやすいユニットを設置すること。 ②壁面を利した収納を設けること。	①軽量棚　2台
	説明室	①患者及び家族に治療・看護について説明を行う。	①使用中の表示が出来ること。	①説明用テーブル　1台 ②椅子（説明用）　4脚
	患者用トイレ	①病棟患者用トイレ	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②蓄尿設備を設けること。 ③ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ④ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	洗面所	①病棟洗面所	①車椅子使用者も使用できること。 ②シャンプーコーナーを設置すること。	
	車椅子用トイレ	①病棟車椅子対応多目的トイレ	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分すること。 ②窓がある部屋が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　10台 ③長椅子　1台 ④手荷物収納ロッカー　12人用2台

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
混成系Aユニット				
病室				
	特別個室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用する。	①出入口は引戸で（窓付）で、ベッドの出入りがスムーズに出来る幅があること。 ②トイレ、洗面ユニットを設置すること。 ③収納は洋服が吊り下げられるものを設けること。 ④点滴レールを設けること。 ⑤室入口にカーテン（中が直接みえないように）を設けること。 ⑥壁面ユニット（医療ガス設備・各種照明、コンセント含む）を設けること。不要な時は外から見えないように設置する。 ⑦床頭台はテレビ、セーフティボックス、冷蔵庫等の利便設備を設けること。	①ベッド　　1台（医療器機対応） ②オーバーテーブル　1台（医療器機対応） ③応接セット　1セット
	1床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用する。	混成系Ｂと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	1床室（無菌室）	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用する。 ②無菌加算対応の仕様とする。	無菌加算対応室とする。 ①出入口は引戸で（窓付）で、ベッドの出入りがスムーズに出来る幅があること。 ②トイレ、洗面ユニットを設置すること。 ③収納は洋服が吊り下げられるものを設けること。 ④点滴レールを設けること。 ⑤出入り口ドアはガラスによる窓を有すること。 ⑥壁面ユニット（医療ガス設備・各種照明、コンセント含む）を設けること。不要な時は外から見えないように設置する。 ⑦床頭台はテレビ、セーフティボックス、冷蔵庫等の利便設備を設けること。 ⑧無菌ユニットに対応仕様とすること。	①ベッド　　1台　（医療器機対応） ②オーバーテーブル　1台（医療器機対応）
	4床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	重症個室（2床室）	①重症者及びターミナル期等の患者に使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
その他諸室				
	スタッフステーション	①医師、ナースが入院・療養に伴う各種の作業を行う。	①ステーションはオープンカウンターとする。 ②整理しやすい、使いやすい収納ユニットを設置すること。 ③医師コーナー、婦長コーナ、作業コーナー等効率よく配置すること。 ④壁面を利用しホワイトボードを設けること。	スタッフステーションは提案による面積・機能に大きく影響されるため、必要備品は変化すると考えられるので最低必要と思われる備品を計上した。 ①医師用机(W1200)　　4台 ②事務用椅子　5脚 ③ナーステーブル　　1台 ④椅子（ナース用）　　8脚
	処置室	①病棟における処置を行う。	①ベッド搬入に充分な出入口を有すること。 ②通路側から使用中の表示ができること。	①処置用ベッド　　1台（医療器機対応）
	カンファレンス	①スタッフの研修・会議を行う。	①患者動線から区別されていること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーテングテーブル　　1台 ②椅子（ミーテング用）　　8台
	説明室	①患者及び家族に治療・看護について説明を行う。	①各種の医療器械を整理しやすく、取り出しやすいユニットを設置すること。 ②壁面を利した収納を設けること。	①説明用テーブル　　1台 ②椅子（説明用）　　4脚
	器材室	①医療器機看護用品を保管する。	①使用中の表示が出来ること。	①軽量棚　2台
	患者用トイレ	①病棟患者用トイレ	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②蓄尿設備を設けること。 ③ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ④ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	洗面所	①病棟洗面所	①車椅子使用者も使用できる。 ②シャンプーコーナーを設置すること。	
	車椅子用トイレ	①病棟車椅子対応多目的トイレ	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分すること。 ②窓がある部屋が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーテングテーブル　　1台 ②椅子（ミーテング用）　　10台 ③長椅子　1台 ④手荷物収納ロッカー　12人用2台
フロア共通				
	サテライトファーマシー	①病棟における薬剤業務、服薬指導を行う。	①クリーンベンチが設置できる仕様とする。	①事務用机(W1200)　　2台 ②事務用椅子　4台
	デイルーム	①患者の食堂、面会スペース、その他多目的ホールとして使用する。 ②災害時にはベッドを搬入することで臨時応急病室として使用する。	①40人程度が食事ができること。 ②手洗い、ミニキッチン等の設備を設けること。 ③公衆電話コーナー、ゴミ集積所、面会コーナー等のスペースを有すること。 ④身体の不自由な患者に配慮すること。 ⑤ピクチャーレール等を設けること。	①4人掛けテーブル　10台 ②背もたれ付椅子　40脚 ③応接セット　　2セット
	配膳室	①配膳車・下膳車の収納スペースとして使用する。	①温冷配膳車に対応すること。	
	汚物処理室兼廃棄物集積室	①汚物の処理及び集積を行う。 ②一般ゴミ及び医療廃棄物の分別集積所として使用する。	①一般ゴミの分別集積が出来ること。 ②医療用廃棄物の分別集積・一時保管が出来ること。 ③スタフステーションにできるだけ隣接することが望ましい。	①提案による集積設備を想定
	大浴室	①入浴を行う。	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②5人程度が入浴できる仕様とする。 ③車椅子で入室できる入り口であること。 ④脱衣棚を設けること。	
	職員トイレ	①職員トイレ	①スタッフと患者の動線が区分されること。	①汚物入れ

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
循環器・呼吸器系ユニット				
病室				
	特別個室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	①出入口は引戸で（窓付）で、ベッドの出入りがスムーズに出来る幅があること。 ②トイレ、洗面ユニットを設置すること。 ③収納は洋服が吊り下げられるものを設けること。 ④点滴レールを設けること。 ⑤室入口にカーテン（中が直接みえないように）を設けること。 ⑥壁面ユニット（医療ガス設備・各種照明、コンセント含む）を設けること。不要な時は外 から見えないように設置する。 ⑦床頭台はテレビ、セーフティボックス、冷蔵庫等の利便設備を設けること。	①ベッド　　1台　（医療器機対応） ②オーバーテーブル　1台（医療器機対応） ③応接セット　1セット
	1床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	4床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	重症個室（2床室）	①重症者及びターミナル期等の患者に使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
その他				
	スタッフステーション	①医師、ナースが入院・療養に伴う各種の作業を行う。	①ステーションはオープンカウンターとする。 ②整理しやすい、使いやすい収納ユニットを設置すること。 ③医師コーナー、婦長コーナ、作業コーナー等効率よく配置すること。 ④壁面を利用しホワイトボードを設けること。	スタッフステーションは提案による面積・機能に大きく影響されるため、必要備品は変化すると考えられるので最低必要と思われる備品を計上した。 ①医師用机(W1200)　3台 ②事務用椅子　5脚 ③ナーステーブル　1台 ④椅子（ナース用）　8脚
	処置室	①病棟における処置を行う。	①ベッド搬入に充分な出入口を有すること。 ②通路側から使用中の表示ができること。	①処置用ベッド　1台（医療器機対応）
	カンファレンス	①スタッフの研修・会議を行う。	①患者動線から区別されていること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　8台
	器材室	①医療器機看護用品を保管する。	①各種の医療器械を整理しやすく、取り出しやすいユニットを設置すること。 ②壁面を利した収納を設けること。	①軽量棚　2台
	説明室	①患者及び家族に治療・看護について説明を行う。	①使用中の表示が出来ること。	①説明用テーブル　1台 ②椅子（説明用）　4脚
	患者用トイレ	①病棟患者用トイレ。	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②蓄尿設備を設けること。 ③ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ④ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	洗面所	①病棟洗面所	①車椅子使用者も使用できること。 ②シャンプーコーナーを設置すること。	
	車椅子用トイレ	①病棟車椅子対応多目的トイレ。	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分すること。 ②窓がある部屋が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　10台 ③長椅子　1台 ④手荷物収納ロッカー　12人用　2台

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
脳・神経系ユニット				
病室				
	１床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	4床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	重症個室（2床室）	①重症者及びターミナル期等の患者に使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
その他諸室				
	スタッフステーション	①医師、ナースが入院・療養に伴う各種の作業を行う。	①ステーションはオープンカウンターとする。 ②整理しやすい、使いやすい収納ユニットを設置すること。 ③医師コーナー、婦長コーナ、作業コーナー等効率よく配置すること。 ④壁面を利用しホワイトボードを設けること。	スタッフステーションは提案による面積・機能に大きく影響されるため、必要備品は変化すると考えられるので最低必要と思われる備品を計上した。 ①医師用机(W1200)　　3台 ②事務用椅子　5脚 ③ナーステーブル　　1台 ④椅子（ナース用）　　8脚
	処置室	①病棟における処置を行う。	①ベッド搬入に充分な出入口を有すること。 ②通路側から使用中の表示ができること。	①処置用ベッド　　1台
	カンファレンス	①スタッフの研修・会議を行う。	①患者動線から区別されていること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーテングテーブル　　1台 ②椅子（ミーテング用）　　8台
	説明室	①医療器機、看護用品を保管する。	①各種の医療器械を整理しやすく、取り出しやすいユニットを設置すること。 ②壁面を利した収納を設けること。	①説明用テーブル　　1台 ②椅子（説明用）　　4脚
	器材室	①患者及び家族に治療・看護について説明を行う。	①使用中の表示が出来ること。	①軽量棚　2台
	患者用トイレ	①病棟患者用トイレ	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②蓄尿設備を設けること。 ③ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ④ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	洗面所	①病棟洗面所	①車椅子使用者も使用できること。 ②シャンプーコーナーを設置すること。	
	車椅子用トイレ	①病棟車椅子対応多目的トイレ。	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分すること。 ②窓がある部屋が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーテングテーブル　　1台 ②椅子（ミーテング用）　　10台 ③長椅子　1台 ④手荷物収納ロッカー　12人用　2台
フロア共通				
	サテライトファーマシー	①病棟における薬剤業務、服薬指導を行う。	①クリーンベンチが設置できる仕様とする。	①事務用机(W1200)　　2台 ②事務用椅子　4台
	デイルーム	①患者の食堂、面会スペース、その他多目的ホールとして使用。 ②災害時にはベッドを搬入することで臨時応急病室として使用する。	①40人程度が食事ができる仕様であること。 ②手洗い、ミニキッチン等の設備を設けること。 ③公衆電話コーナー、ゴミ集積所、面会コーナー等のスペースを有すること。 ④身体の不自由な患者に配慮すること。 ⑤ピクチャーレール等を設けること。	①4人掛けテーブル　10台 ②背もたれ付椅子　40脚 ③応接セット　　2セット
	配膳室	①配膳車・下膳車の収納スペースとして使用する。	①温冷配膳車に対応する仕様とすること。	
	汚物処理室兼廃棄物集積室	①汚物の処理及び集積を行う。 ②一般ゴミ及び医療廃棄物の分別集積所として使用する。	①一般ゴミの分別集積が出来ること。。 ②医療用廃棄物の分別集積・一時保管が出来ること。 ③スタッフステーションにできるだけ隣接することが望ましい。	①提案による集積設備を想定
	シャワー室	①シャワーを行う。	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②シャワー室を３室設け、１室を介助対応とすること。 ③車椅子で入室できる入口であること。 ④脱衣棚を設けること。	①シャワチェアー　1脚
	介助浴室	①寝たきり患者、重度の介助を要する患者の入浴に使用。	①ウォークスルータイプの入浴システムを設置できる仕様とすること。 ②脱衣棚を設けること。	
	職員トイレ	①職員トイレ	①スタッフと患者の動線が区分すること。	①汚物入れ

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
整形外科系ユニット				
病室				
	1床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	4床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ 入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	重症個室（2床室）	①重症者及びターミナル期等の患者に使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
その他諸室				
	スタッフステーション	①医師、ナースが入院・療養に伴う各種の作業を行う。	①ステーションはオープンカウンターとする。 ②整理しやすい、使いやすい収納ユニットを設置すること。 ③医師コーナー、婦長コーナ、作業コーナー等効率よく配置すること。 ④壁面を利用しホワイトボードを設けること。	スタッフステーションは提案による面積・機能に大きく影響されるため、必要備品は変化すると考えられるので最低必要と思われる備品を計上した。 ①医師用机(W1200)　3台 ②事務用椅子　5脚 ③ナーステーブル　1台 ④椅子（ナース用）　8脚
	処置室	①病棟における処置を行う。	①ベッド搬入に充分な出入口を有すること。 ②通路側から使用中の表示ができること。	①処置用ベッド　1台
	カンファレンス	①スタッフの研修・会議を行う。	①患者動線から区別されていること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　8台
	器材室	①医療器機看護洋品を保管する。	①各種の医療器械を整理しやすく、取り出しやすいユニットを設置すること。 ②壁面を利した収納を設けること。	①軽量棚　2台
	説明室	①患者及び家族に治療・看護について説明を行う。	①使用中の表示が出来ること。	①説明用テーブル　1台 ②椅子（説明用）　4脚
	介助浴室	①寝たきり患者、重度の介助を要する患者の入浴に使用する。	①チェアーインバスシート分離型リクライニング式入浴システムを設置できる仕様 とすること。 ②脱衣棚を設けること。	
	患者用トイレ	①病棟患者用トイレ	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②蓄尿設備を設けること。 ③ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ④ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	洗面所	①病棟洗面所	①車椅子使用者も使用できること。 ②シャンプーコーナーを設置すること。	
	車椅子用トイレ	①病棟車椅子対応多目的トイレ	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分すること。 ②窓がある部屋が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　10台 ③長椅子　1台 ④手荷物収納ロッカー　12人用　2台

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
回復期リハビリ系				
病室				
	1床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	4床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	重症個室（2床室）	①重症者及びターミナル期等の患者に使用する。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
その他諸室				
	スタッフステーション	①医師、ナースが入院・療養に伴う各種の作業を行う。	①ステーションはオープンカウンターとする。 ②整理しやすい、使いやすい収納ユニットを設置すること。 ③医師コーナー、婦長コーナ、作業コーナー等効率よく配置すること。 ④壁面を利用しホワイトボードを設けること。	スタッフステーションは提案による面積・機能に大きく影響されるため、必要備品は変化すると考えられるので最低必要と思われる備品を計上した。 ①医師用机(W1200)　3台 ②事務用椅子　5脚 ③ナーステーブル　1台 ④椅子（ナース用）　8脚 ⑤キャビネット（書類用）　2台
	処置室	①病棟における処置を行う。	①ベッド搬入に充分な出入口を有すること。 ②通路側から使用中の表示ができること。	
	ADL	①日常動作訓練を行う。		
	カンファレンス	①スタッフの研修・会議を行う。	①患者動線から区別されていること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　8台
	説明室	①患者及び家族に治療・看護について説明を行う。	①各種の医療器械を整理しやすく、取り出しやすいユニットを設置すること。 ②壁面を利した収納を設けること。	①説明用テーブル　1台 ②椅子（説明用）　4脚
	器材室	①医療器機看護洋品を保管する。	①使用中の表示が出来ること。	①軽量棚　2台
	介助浴室	①寝たきり患者、重度の介助を要する患者の入浴に使用する。	①チェアーインバスシート分離型リクライニング式入浴システム設置できる仕様とすること。	
	患者用トイレ	①病棟患者用トイレ	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②蓄尿設備を設けること。 ③ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ④ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	洗面所	①病棟洗面所	①車椅子使用者も使用できること。 ②シャンプーコーナーを設置すること。	
	車椅子用トイレ	①病棟車椅子対応多目的トイレ	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分された仕様とすること。 ②窓がある部屋が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　10台 ③長椅子　1台 ④手荷物収納ロッカー　12人用2台
フロア共通				
	サテライトファーマシー	①病棟における薬剤業務、服薬指導を行う。	①クリーンベンチが設置できる仕様とする。	①事務用机(W1200)　2台 ②事務用椅子　4台
	デイルーム	①患者の食堂、面会スペース、その他多目的ホールとして使用する。 ②災害時にはベッドを搬入することで臨時応急病室として使用する。	①40人程度が食事ができる仕様であること。 ②手洗い、ミニキッチン等の設備を設けること。 ③公衆電話コーナー、ゴミ集積所、面会コーナー等のスペースを有すること。 ④身体の不自由な患者に配慮すること。 ⑤ピクチャーレール等を設けること。	①4人掛けテーブル　10台 ②背もたれ付椅子　40脚 ③応接セット　2セット
	配膳室	①配膳車・下膳車の収納スペースとして使用する。	①温冷配膳車に対応する仕様とすること。	
	汚物処理室兼廃棄物集積室	①汚物の処理及び集積を行う。 ②一般ゴミ及び医療廃棄物の分別集積所として使用する。	①一般ゴミの分別集積が出来ること。 ②医療用廃棄物の分別集積・一時保管が出来ること。 ③スタッフステーションにできるだけ隣接することが望ましい。	①提案による集積設備を想定
	介助浴室	①軽介助で入浴可能な患者様の浴室として使用（車椅子患者対応）する。 ②院内における大浴室として共有する。		
	職員トイレ	①職員トイレ	①スタッフと患者の動線が区分すること。	①汚物入れ

各病棟共通

	リネン設備	①リネン設備 ②廊下壁面等を利用したリネン設備を想定している。	①壁面収納設備等リネンを壁面に収納を設置すること。	

病棟共用

	コインランドリ	①病棟における入院患者の洗濯設備としてコインランドリ（利便施設）を設ける。	①提案による仕様とする。ただし、洗濯機及び乾燥機を5台以上設ける仕様とする。	

諸室計画（諸室データーシート①）：集中治療系ユニット

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
病室				
ICU・CCU				
	開放型（4床） ICU	①急性期重症患者（冠動脈疾患を含む）の集中治療対応の開放型病床。（ICU）	①スタッフステーションから観察しやすい仕様とする。 ②ベッドサイドは看護、観察、治療に十分対応できる幅を持つこと。 ③手術室からの動線が短く、救急室からの搬送のアクセスが良いこと。 ④壁面はICU仕様の収納庫とする。 ⑤点滴レールを設けること。 ⑥キュビクルカーテン（上部は編み用）を各ベッド毎に設けること。 ⑦モニター類を機能的に配置できる仕様とする。 ⑧照明、空調は患者に対し刺激の少ない仕様が望ましい。	①ICU仕様ベッド　4台（医療機器対応） ②ナースベッドサイド記録用テーブル　4台（医療器機対応）
	個室（1床） CCU	①同上疾患対応の個室を設ける。（CCU） ②冠動脈疾患、感染症、免疫不全その他個室管理が望ましい症例を管理する。	①感染症、免疫不全どちらにも対応可能とする。（4床の内の2床、陽陰圧変換） ②点滴レールを設けること。	①ICU仕様ベッド　4台（医療機器対応） ②ナースベッドサイド記録用テーブル　4台（医療器機対応）
	器材室	①ICU、CCU対応の大型治療機器の収納および管理を行う。 ②一部ME技師の管理業務スペースとして使用する。	①大型機器の荷重に耐える強度と耐久性のある素材の床であること。	①軽量棚　4台 ②作業台　1台 ③事務用椅子　2脚
	前室	①ＩＣＵの前室として使用する。		
HCU				
	総室型（４床）	①時間外救急入院患者を受け入れる。ICU・CCUから一般病棟への中間段階や、日帰り手術のリカバリーとしても機能する。	①ICU・CCU開放病床に準じる。 ②手術室、救急室からの動線が長くないこと。 ③HCU監視スペースからの観察がしやすいように壁面の一部をガラスで構成するなど工夫をする。 ④点滴レールを設けること。 ⑤キュビクルカーテン（上部は編み用）を各ベッド毎に設けること。 ⑥壁面収納（薬品、材料等）を行い効率よく設置すること。	①ICU仕様ベッド　8台（医療器機対応）
	個室（１床）	①時間外救急入院患者を受け入れる。 ②ICU・CCUから一般病棟への中間段階や、日帰り手術のリカバリーとしても機能する。	①ICU・CCU個室病床に準じる。 ②HCU監視エリアからの観察がしやすいように壁面、ドアの構成に工夫をする。 ③点滴レールを設けること。 ④壁面収納を行い効率よく設置すること。	①ICU仕様ベッド　4台（医療器機対応）
	器材室	①HCU対応の大型機器の収納管理する。	①大型機器の荷重に耐える強度と耐久性のある素材の床であること。	①軽量棚　4台 ②作業台　1台 ③事務用椅子　2脚
	前室			
中央監視・記録スペース（ICU・CCUエリアおよびHCUエリア）		①ICU・CCU及びHCUのスタッフステーション、中央監視、記録スペースとして機能させる。	①ICU・CCUサイドとHCUサイドを機能的かつ構造的に分離する。 ②ICUエリアは設置基準に設備の上で合致する仕様とする。ただし当面看護単位はICU・CCUとHCUを1単位で運営するので、両エリアの動線が複雑とならぬよう工夫する。 ③ICU・CCUサイドは開放病床、個室病床の観察が支障なく行える構造であること。 ④HCUサイドもICU・CCUエリアに準じた観察が必要となるので総室型病床はガラス等で一部壁面を構成し、観察の便を図る仕様とすること。 ⑤中央監視用カウンターテーブルを設けること。 ⑥物品の保管が効率的に行えること。	①椅子（ナース用）　15脚 ②キャビネット（書類用）　4台
その他諸室				
	面談室兼説明室	①ICU・CCU・HCU収容患者家族への説明を行う。	①使用中の表示が出来ること。	①説明用テーブル　1台 ②椅子（説明用）　4脚
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分すること。 ②可能であれば窓側に配置が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーティングテーブル(W1800)　1台 ②椅子　10脚 ③長椅子　1脚
	カンファレンスルーム	①症例検討、スタッフミーティングに使用する。	①複数科医師間、医師看護スタッフ間の定時症例検討会等、多人数で使用できる広さの確保。 ②中央監視・記録スペースに近いこと。 ③壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーティングテーブル　1台 ②椅子　8脚
	仮眠室（医師）	①ＩＣＵ・ＣＣＵ・ＨＣＵ共通の医師仮眠室及び医師控室として使用する。	①緊急呼び出しに対応できること。	①ベッド　1台 ②事務用椅子　3脚 ③事務用机(W1200)　1台
	薬剤保管スペース	①薬剤保管及び各種薬剤、点滴準備スペース。 ②処置治療備品準備スペース。	①準備室エリアはICU・CCUサイドとHCUサイドを機能的に分けられるようデザインする。 ②滅菌器材庫と隣接していること。	収納はSPD提案による方式
	検査室	①入室症例の緊急検査を行う。	①緊急検査用検査機器が機能的に配置される仕様とする。 ②検査項目は血液ガス、電解質、血糖，Ｈｂ・Ｈｔ、血液凝固系等を想定している。	①検査機器設置テーブル　2台（医療器機対応） ②軽量棚　1台
	汚物処理室兼廃棄物収納場所	②医療廃棄物収納及び汚物処理を行う。	①血液を含む廃棄物その他処置に伴う医療消耗品を効率よく収納できること。	①分別収集機能の設備
	更衣室1	①女性用更衣。	①室内にトイレを設けること。 ②室内にUSを設けること。 ③休憩室と隣接していることが望ましい。 ④洗面ユニットを設けること。	①更衣ロッカー　40人分
	更衣室2	①男性用更衣	①室内にトイレを設けること。 ②室内にUSを設けること。 ③休憩室と隣接していることが望ましい。 ④洗面ユニットを設けること。	①更衣ロッカー　8人分

諸室計画（諸室データーシート①）：集中当直室

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
	医師等当直室	①職員当直室	①集中治療部門、救急センター等に対し救急時に直ぐに対応できる場所に設置することが望ましい。	①ベッド　　10台 ②事務用机(W1200)　　10台 ③椅子　　10脚 ④更衣ロッカー　　1人用10台
	職員休憩室	①職員休憩室	①吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①ミーティングテーブル　　1台 ②椅子　　10台 ③長椅子　　3台
	職員用浴室	①職員用浴室	①脱衣場、浴室を男女別に設けること。 ②脱衣棚を設けること。	
	US	①シャワー室	①脱衣場、USを男女別に設けること。 ②脱衣棚を設けること。	
	職員用トイレ	①職員用トイレ	①男女別に洋式トイレ各1を設ける。	①汚物入れ
	洗面室	①洗面室	①3人程度が洗面できる仕様とすること。 ②吊り戸棚を適切な位置に設けること。	

諸室計画（諸室データーシート①）：救急センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
	救急前室	①救急車から患者の受け入れを行う。	①前室入口部分は、患者・救急車が雨等に対応した庇を有すること。 ②入口は自動ドアとすること。 ③風除機能を持つこと。	
	診察室	①内科系・外科系・小児科系患者の救急患者の診察を行う。 ②婦人科・泌尿器科患者の救急患者の診察を行う。	①救急車以外の救急患者の待合スペースを診察室の近隣に設けること。 ②診察室は、大部屋の中に4室を設け、それぞれパーテションで区分し、入口部にカーテンを設けること。 ③集中治療部との連携を考慮した配置とすることが望ましい。 ④室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。	①医師用机(W2100)　4台 ②医師用椅子　　4台 ③患者用椅子　　4脚 ④診察ベット　　2台（医療器機対応） ⑤内診台　　1台（医療器機対応） ⑥小児用ベット　1台（医療器機対応） ④脱衣カゴ　　4台
	処置室1	①救急患者の処置を行う。	①救急前室から処置室1に患者を搬送する仕様とし、入口は自動ドアとすること。 ②処置用ベッド3台に対応する仕様とすること。 ②診察室から入室できる仕様とすること。 ③キュビクルカーテンを各ベッド毎に設けること。 ④点滴レールを各ベッド毎に設けること。 ⑤室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。	①医師用机(W1200)　1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　　3台 ④薬品・衛生材料収納庫　1台（ＳＰＤ対応） ⑤処置台　1台（医療器機対応） ⑥点滴用ベット（リクライニング）　２台（医療器機対応） ⑦脱衣かご　４個
	処置室2	①救急患者の処置を行う。 ②感染症患者の診察・処置を兼用する。	①処置用ベッド1台に対応する仕様とすること。 ②診察室から入室できる仕様とすること。 ③キュビクルカーテンを各ベッド毎に設けること。 ④点滴レールを各ベッド毎に設けること。	①医師用机(W1200)　　1台 ②医師用椅子　1脚 ③処置台　　1台（医療器機対応） ④薬品・衛生材料収納庫　1台（SPD対応）
	除染室兼汚物処理室	①救急患者の洗浄・着替え等を行う。	①ストレッチャーごと入れる仕様とすること。 ②救急前室内から入室できる仕様とすること。	
	検査室（緊急）	①緊急検査を行う。	①診察室と処置室に隣接すること。	
	受付（事務室）	①救急受け付け事務・会計を行う。	①待合いスペース側に設けること。 ②受付窓口を設けること。 ③救急用薬剤を渡すため薬剤部が近い（動線が複雑でないこと）ことが望ましい。 ④救急受付で夜間の外線電話の受付を想定しているのでその必要備品を整備すること。	①事務用机(W1200)　　2台 ②事務用椅子　　3脚
	患者用トイレ	①患者用トイレ	①ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	職員用トイレ	①職員用トイレ		①汚物入れ
	車椅子用トイレ	①救急患者用多目的トイレとして使用する。	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員休憩室	①職員休憩室。 ②職員仮眠室。	①患者動線と区分された位置が望ましい。 ②休憩室16㎡程度、仮眠室8㎡程度で仮眠ベッド2台を設けること。	①センターテーブル　1台 ②ソファーベット　3台 ③手荷物ロッカー　12人用　1台
	家族待合スペース	①救急車来院患者家族の待合室。 ②一般救急患者家族の待合室。	①処置室又は診察室に対面していること。	①長椅子　4脚

諸室計画（諸室データーシート①）：手術部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
	手術室1	①大型機器を術中使用する手術等に対応する手術室として使用。（X線使用可能）	①空調は1室ごとに独立空調とする。温湿調節は各室個別にできること。 ②クリーン度の高い部屋をより入口から遠い奥に配置すること。 ③7つの手術室が供給ホールを囲む方式であり、供給ホールから各手術室へ直接展開済みの手術機器を供給する。 ④手術患者、術者、その他の医療従事者、使用済み手術器械は外周廊下を通過するので、7室の配置をたとえば3室および4室の2群にわけるなどして外周廊下からの出入りをスムーズにできるよう工夫する。 ⑤機器・機材室2室を上記2群に対応して配置しそれぞれと機能的につなげるよう配慮すること。 ⑥壁面収納ユニット（情報パネル（空調・照明・室温・その他）・壁面医用ガスパネル・画像配信ディスプレイ・シャーカステン等）、配管、その他による壁厚を配慮して設置すること。 ⑦供給廊下側と外周廊下側の2カ所にドアを設ける必要があるためフィルターの配置や作りつけの棚の設置等に関する壁面の利用に工夫が必要である。 ⑧大型機器の出し入れ、移動などが頻繁なため、床材の強度に配慮すること。 ⑨各手術室の、壁面医用ガスパネル、およびシーリングカラム、コンセント、モニターデータレコードシステム端末等の個数、配置に工夫し、手術ごとのベッドや麻酔器の配置の変換に対応できるようにすること。 ⑩点滴レールを各室に設けること。	①手術台　　7セット（医療器機対応） ②天井取付無影灯　　7セット（ビルトイン対応） ③ドクースツール　10台（医療器機対応） ④ナースチェア　7台（医療器機対応）
	手術室2	①クリーン度が比較的高い手術室。（X線使用可能）		
	手術室3	①クリーン度が比較的高い手術室。		
	手術室4	①開腹手術その他一般手術に対応する手術室。外来手術にも対応。		
	手術室5	同上		
	手術室6	同上		
	手術室7	①緊急手術、感染症症例にも対応可能な手術室。（X線使用可能）	①同上。 ②一番入口に近い（より不潔なエリアに近く、緊急入室しやすい）場所に配置。空調は陽圧、陰圧変換が可能なこと。洗浄室との動線が比較的短いこと。	
	供給ホール	①中央材料室から滅菌後搬送された手術機器の展開・配盤を行い、各手術室へ供給する。清潔手術器材を清潔を保持し最短距離で各手術室へ搬入する。	①クラス1000程度の清潔度を保持すること。 ②中央材料室と上下につなぎ、滅菌器材の搬入をスムーズに行うこと。（想定） ③手術の滅菌手術コンテナの搬送、保管スペースが確保されていること。 ④入口で手洗い（手洗いユニット）をして入室する構造とすること。 ⑤各手術室へスムーズに入室できるよう配置に工夫すること。 ⑥頻繁な器械台の出し入れに耐えられる強度であり、かつ清潔保持できる素材の床材であること。 ⑦各手術室の手術器機の展開を同時に行える広さ（幅）を確保すること。 ⑧時間外緊急手術に対して滅菌手術器材を搬入できる仕様を考慮すること。	①軽量棚
	外周廊下	①医療従事者、患者の出入り、使用済みの手術機器の搬出、大型手術用器械の機器・機材室から各手術室への搬入、等の通路となる。	①大型手術用器械を運び、かつ、人の出入りが頻繁であるので適切な幅を持つこと。 ②手洗いユニット（３カ所）を機能的に配置すること。 ③清潔度に配慮するとともに医療従事者や患者の入退室をしやすくすること。 ④安全管理のため監視カメラを設けること。	
	トランスファー	①患者の出入り、病棟ベッド・手術ベッド間の乗せ変え、手術中患者の病棟用搬送車の一時保管及び手術台運搬車の一時プールを行う。	①患者乗せ変えシステムの設置を想定している。 ②看護スッタッフ間の申し送りスペースを効率よく設けること。 ③病棟用搬送車、手術台運搬車を機能的に保管できること。（各々最大7台ずつとなる）	
	洗浄・滅菌室	①使用済み手術機器コンテナ内容を再確認後中央材料室へ搬送する。 器械台、展開台を清拭のうえ供給ホールに返却する。 ②使用済みの手術用機器の一部を必要に応じて洗浄を行う。	①中央材料室の不潔エリアと近接に結ぶ仕様とする。 ②数セットのコンテナ内容の確認、展開台の清拭等ができるよう考慮すること。 ③ウオッシャーリスインフェクターを移設するすることを想定している。 ④水濡れ等に強く、また強度の強い床材であること。 ⑤時間外対応の滅菌作業ができる機能を設けること。 ⑥オートクレイブの設置を行う。	①軽量棚
	写真撮影コーナー	①手術中に摘出された検体の処理及び写真撮影を行う。	①汚物処理（廃液を含む）ができること。 ②オープンスペースとして想定している。	①軽量棚
	滅菌器材室	①手術用滅菌消耗備品の保管・管理を行う。	①院内倉庫と搬送システム等で機能的につながっていること。 ②各手術室と機能的につながっており動線が短いこと。	
	薬剤保管庫・血液保管ｽﾍﾟｰｽ	①薬剤及び血液の保管管理を行う。	①各手術室からの動線が長くないこと。 ②薬剤・血液の搬入システムを工夫すること。（ダムウェータ等を想定している。） ③オープンスペースとして想定している。	①SPD提案による収納設備想定
	機器・機材室	①手術用大型医療器械の収納及び修理を行う。	①手術室と機能的につながるよう配置し、機器の出し入れや、運搬の動線が短いよう配慮する。 ②ＭＥ技師が修理を行うスペースを考慮すること。 ③床は充分な強度を持たせ器機の出し入れに強い材質とすること。	①作業机　2台 ②機器保管棚　5台
	受付及び中央管理室	①手術室の運営管理及び受付を行う。 ②麻酔科受付業務。	①手術室に入退室する全ての患者、部外者の把握ができること。 ②手術内管理用監視テレビ、環境監視装置等を機能的に配置すること。 ③部外者の立ち入りを制限できる受付カウンターの設置、構造に工夫すること。	①事務用机　4台 ②事務用椅子　4脚 ③キャビネット（書類用）　2台
	術中緊急検査スペース	①手術中の緊急検査。	①各手術室からの動線が長くないこと。 ②オープンスペースとして想定している。	
	汚物処理室兼廃棄物集積所	①感染性廃棄物（血液を大量に含む廃棄物を含む）を含む医療廃棄物の集積。	①動線上、各手術室等から外周廊下を通って廃棄物を搬入しやすい位置にあること。 ②流し台及び汚物流しを設けること。	①提案による廃棄物集積設備等を想定

諸室計画（諸室データーシート①）：手術部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
	カンファレンスルーム	①医師・看護スタッフ共用カンファレンスルームとして使用。 ②医師控室共用	①更衣室近くの比較的不潔エリアに近い位置に配置すること。（可能であれば窓側に配置） ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①ミーティングテーブル　1台 ②椅子（ミーティング用）　8脚
	職員休憩室	①職員休憩室	①更衣室近くの比較的不潔エリアに近い位置に配置すること。（可能であれば窓側に配置） ②室内に流しを設けること。	①ソファ－ベッド　2台 ②センターテ－ブル　1台 ③事務椅子　　6脚
	手術場管理室	①生体情報を電子カルテブランチのモニター－システムを用い一括して監視する。	①モニター類及び管理用コンピュ－ター－を機能的に配置できる仕様とすること。 ②各手術室への緊急対応等が容易な位置に設けること。 ③重量のある物品の設置が多く、ある程度の強度のある床を要す。	①事務用机(W1200)　4台 ②医師用椅子　4脚 ③キャビネット（書類用）　4台
	職員トイレ	①職員用トイレ	①比較的不潔エリアに近い位置に設けること。	①汚物入れ
	更衣室	①日帰り患者用更衣室 ②前処置後の観察を行う。	①完全に独立した4ブ－スの更衣室を設置する。 ②トランスファ－の構造を工夫し、入院手術患者とは分離して手術室へ入室できるよう配置に工夫する。 ③必ず手術室受付でチェック後入室するような配置とする。（手術室清潔区域内）	①更衣ロッカー4人用　2台
日帰り手術				
	診察室 （日帰り手術）	①日帰り手術前（後）の診察を行う。	①麻酔科外来診察室、処置室と並べて不潔エリア内で設置する。 ②診察ベッド1台に対応する仕様とする。 ③「標準仕様A」。 ④一般外来患者との動線を区分し、手術患者や集中治療部門の出入りとの接触がないよう配置を工夫する必要がある。	①医師用机(W2100)　1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　1脚 ④補助用椅子　1脚 ⑤診察台セット　1台(（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　1台 ⑦脱衣かご　1個
	診察室 （麻酔科外来）	①麻酔科外来診察を行う。一般ペインクリニック外来、術前麻酔科診察、麻酔説明会等を実施する。	①日帰り外来診察室、麻酔科処置室と並べて不潔エリア内で設置する。 ②診察ベッド1台に対応する仕様とする。 ③「標準仕様A」。 ④手術患者や集中治療部門の出入りとの接触がないよう配置を工夫する必要がある。	①医師用机(W2100)　1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　1脚 ④補助用椅子　1脚 ⑤診察台セット　1台(（医療器機対応） ⑥キャビネット（書類用）　1台 ⑦脱衣かご　1個
	処置室 （麻酔科外来）	①麻酔科外来における神経ブロックを中心とした処置を中心として行う。 ②術前患者の麻酔説明会等も実施する。 ③日帰り手術前処置後観察を行う可能性もある。	①処置用（神経ブロック用）ベッドを３台に対応する仕様とする。 ②「標準仕様B」。	①処置用ベッド　3台（医療器機対応） ②薬品戸棚兼衛生材料収納庫（SPD対応） ③医師用机（W1200）　１台 ④医師用椅子　1脚 ⑤患者用椅子　2脚
	患者用トイレ	①日帰り手術患者用トイレ	①更衣室に隣接のこと。 ②ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	更衣室1	①女性用更衣	①更衣室入口は医療従事者の手術室入口となるので、一般外来者の動線とく区分し部外者が容易に入れない位置とする。 ②室内にトイレを設けること。 ③室内にUSを設けること。 ④休憩室と隣接していることが望ましい。	①更衣ロッカー　4人用　10台
	更衣室2	①男性用更衣	①更衣室入口は医療従事者の手術室入口となるので、一般外来者の動線と区分し部外者が容易に入れない位置とする。 ②室内にトイレを設けること。 ③室内にUSを設けること。 ④休憩室と隣接していることが望ましい。	①更衣ロッカー　4人用　7台
	患者家族説明室	①患者家族説明室として使用	①日帰り手術診察室、麻酔科外来診察室と並べて手術室清潔エリア外の不潔エリアに設置する。	①説明用テーブル　　1台 ②椅子（説明用）　　4脚
	家族控室	①手術中患者、集中治療部門入室患者の家族控室として使用。 ②麻酔科外来待合いを兼ねる。	①オープンスペース的とする。 ②壁面、床材など落ち着いた雰囲気を持たせる。 ③手術室本来のスペースと完全に分離し不潔エリアに配置する。	①長椅子　3脚 ②センターテーブル　1台

諸室計画（諸室データーシート①）：中央材料滅菌部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
不潔エリア				
	機器洗浄室等	提案により各室の機能は整備されるものであるが、滅菌業務を行うための性能を維持する仕様とすること。		
準清潔エリア				
	組立室等			
清潔エリア				
	既滅菌室等			
	滅菌保管室等			
事務管理室				
器材（リネン）				
更衣室等				
払い出し				

諸室計画（諸室データーシート①）：腎臓・透析系ユニット、透析センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
透析センター（外来）				
	治療室	①慢性腎不全他血液疾患患者の血液浄化を行う。	①治療室2室を第1治療室と第2治療室とし、第2治療室の透析ベッド毎にキュービクルカーテンを設けること。 ②スタッフステーションを中心にして治療室、病棟、処置室が隣接する仕様が望ましい。 ③必要な配管、電気系回路が外から見えないようにする。 ④壁面ユニット（各種照明、コンセント含む。）を設けること。不要な時は外から見えないように設置する。医療ガス設備・酸素・吸引設備（2床に1カ所）は、必要時使用できる配置とする。 ⑤カウンターを4カ所設ける。	
	薬品・物品修理作業室	①データ整理、透析装置の点検及び物品保管等を行う。	①医療用3Ｐ電源が充分に配置すること。	①医師用机(W1200)　2台 ②医師用椅子　2脚
	更衣室	①外来通院患者の更衣。	①男女各150人のロッカーが入る。 ②同時に40人が更衣できる。 ③更衣後、治療室へ入室する仕様とする。	①手荷物用ロッカー　12人用　26台 ②長椅子　6台
	待合い兼食堂	①外来通院患者の待合い室と食堂を兼ねる。	①80人が使用できる仕様とする。 ②廊下から待合い、食堂の中が見える。	①食事用テーブル　20台 ②椅子（食事用）　80脚 ③長椅子　2脚
	物品倉庫	①血液浄化に必要な診療材料、薬品等の保管、特殊治療に必要なME機器の保管を行う。	①提案（SPDシステム）による面積仕様を想定している。 ②できるだけ搬入回数を多くし大きな面積を取らないことが望ましい。	
	前室	①治療室への入室準備	①患者入り口から治療室の中が見えない仕様とすること。 ②入口は引き戸で、一部すりガラスの窓を有する。 ③治療室内用スリッパと、土足の区別（はきかえ）ができる。	①下駄箱　24人用　6台
	患者用トイレ	①外来治療者のトイレ	①ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
腎臓・透析系ユニット				
	1床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	4床室	①24時間過ごす生活空間として快適な療養環境を持つ入院居室として使用。	混成系Bと同一仕様とする	混成系Bと同一仕様とする
	ディルーム	①患者の食堂、面会スペース、その他多目的ホールとして使用。 ②災害時にはベッドを搬入することで臨時応急病室として使用する。	①20人程度が食事ができる仕様であること。 ②手洗い、ミニキッチン等の設備を設けること。 ③公衆電話コーナー、ゴミ集積所、面会コーナー等のスペースを有すること。 ④障害者仕様に配慮すること。 ⑤利便設備（自動販売機）を設ける場合は協議のこと。	①テーブル　5台 ②椅子　20脚 ③応接セット　1セット ⑤長椅子　4脚
	前室	①病棟前室	①病棟部門への前室として機能する仕様とする。	
	配膳室	①配膳車、下膳車の収納。	①温冷配膳車に対応すること。	
	洗面所	①患者の洗面、洗髪	①車椅子使用者も使用できること。 ②シャンプーコーナーを設置すること。	
フロア共通				
	CAPD室	①CAPD患者の診察、処置	①CAPD患者の診察と処置ができる仕様とする。	①処置用ベッド　1台（医療器機対応） ②医師用机(W1200)　1台 ③医師用椅子　1脚 ④患者用椅子　1脚 ⑤キャビネット（書類用）　1台
	処置室	①外来・入院患者共用の処置等を行う。	①ベッド搬入に充分な出入口を有すること。 ②通路側から使用中の表示ができる。 ③CAPD室と隣接し、一部ガラスでCAPD室が見えること。 ④CAPDバック交換ができること。	①処置用ベット　1台（医療器機対応）
	スタッフステーション	①医師、ナースが入院・療養に伴う各種の作業を行う。	①ステーションはオープンカウンターとする。 ②整理しやすい、使いやすい収納ユニットの設置。 ③医師コーナー、婦長コーナ、作業コーナー等効率よく配置すること。	①ナーステーブル　1台 ②椅子（ナース用）　8脚 ③事務椅子　5脚 ④事務用机(W1200)　3台
	カンファレンス	①スタッフの研修・会議を行う。		①ミーテングテーブル　1台 ②椅子（ミーテング用）　8台
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分すること。 ②窓がある部屋が望ましい。 ③スタッフステーションに隣接することが望ましい。	①ミーティングテーブル　1台 ②椅子　10脚 ③手荷物用ロッカー12人用　2台
	資料室	①透析記録等の資料保管、管理を行う。		①事務用机(W1200)　1台 ②事務椅子　1台
	機械室	①血液浄化に必要な水処理装置、透析液作成、供給を行う。	①特殊排水（透析）に対応する仕様とする。 ②透析装置に対応する（スラブ下りｏｒFA）仕様とする。	
	シャワー室	①患者シャワー	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②シャワー室を2室設け、1室は介助対応のできること。 ③車椅子で入室できる入口であること。 ④脱衣棚を設けること。	①シャワチェアー　3脚
	患者トイレ	①患者用トイレ	①身体の不自由な患者に配慮すること。 ②ポータブルトイレ収納スペースを設けること。 ③ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	車椅子用トイレ	①車椅子使用者トイレ。（多目的トイレ）	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	職員トイレ	①職員専用トイレ	①スタッフと患者の動線が区分すること。	①汚物入れ
	汚物処理室兼廃棄物集積所	①一般ゴミ及び医療廃棄物の分別集積所として使用。	①一般ゴミの分別集積が出来ること。 ②医療用廃棄物の分別集積・一時保管が出来ること。 ③スタッフステーションにできるだけ隣接することが望ましい。	

諸室計画（諸室データーシート①）：ME管理部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
ME管理部門				
	ME機器集中管理室	①中央管理機器の集中管理(保管、修理、点検、調整)を行う。 ②機器の貸し出しを行う。	①入口近くに受付カウンター設けること。 ②作り付けホワイトボードを設けること。 ③入口は機器の出し入れがスムーズに出来る広さが望ましい。 ④ME機器を常時保管するため、高温、多湿にならない空調設計を必要とすること。 ⑤ME機器の修理点検調整を行うため、照明は充分な明るさが供給できる照明器具を必要とすること。	①事務用机(W1200)　　8個 ②事務用椅子　　8個 ③作業台　　2台 ④軽量棚　　3個 ⑤下駄箱１２人用　１台
	ME技士室	①ME技師の事務室兼休憩室 ②夜間待機場所兼用する。	①ME機器集中管理室とＭＥ技士室との入り口は、隣接すること。 ②室内にUSを設けること。	①事務用机（W1200）　　2個 ②長椅子　　2個 ③更衣ロッカー　　4人用　3台 ③軽量棚　　2台 ④テーブル　　1台

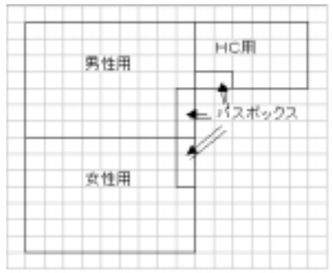
諸室計画（諸室データーシート①）：薬剤部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
諸室				
	入院調剤・注射室	①各病棟入院患者の定期薬調剤を行う。 ②処方監査、疑義照会を行う。 ③各病棟への定期薬などの薬の払い出しを行う。	①室内に受付併設する。	
	外来相談室	①外来患者の薬などの相談を行う。 ①入院患者の退院時指導を行う。	①患者のプライバシーが守れるような防音性があること。 ②外部（患者用）ドアと薬局側ドアの2箇所のドアを有すること。	①説明用テーブル　　1台 ②椅子（説明用）　　4脚
	DI・薬歴室	①医薬品情報収集・提供等を行う。 ②医薬品情報システムの開発・メンテナンスを行う。	①事務室としての機能を持つこと。	①医師用机(W1200)　　4台 ②事務椅子　　4脚 ③キャビネット（書類用）　5台
	処方箋保管室	①入院処方箋、血液製剤管理簿、服薬指導記録等保管義務期間の保管を行う。	①防犯対策（ドアロック）ができること。	①キャビネット（書類用）　2台
	受付	①平日、日勤帯にて院内製剤など院外調剤薬局で対応が不可能な薬品の外来患者への払い出しを行う。 ②平日、日勤帯、夜間の救急外来患者の薬の払い出しを行う。	①オープンカウンターの仕様とすること。 ②救急部門と薬剤が遠い場合は搬送システムで結ばれていること。	
	湿性製剤室	①製剤の滅菌を行う。 ②湿性下における院内製剤、特殊製剤の調整を行う。	①床面は耐薬品仕様のシートとすること。 ②滅菌作業のスペースは水漏れ防止対策の必要がある。	
	IVH調整室・抗ガン室	①各病棟の中心静脈注射の無菌的調整を行う。 ②各病棟の抗ガン剤（注射）の無菌的調整を行う。 ③特殊院内注射製剤の調製を行う。	①IVH調整室と抗ガン剤調整室及び前室の2ブロックに分けること。 ②IVH調整室、抗ガン剤調整室、準備室はクリーンルームとすること。 ③準備室よりパスボックス経由で直接、注射セッティング室もしくは注射セッティング室近隣の部内通路に払い出しが出来るようにすること。	
	乾性製剤室	①乾性下における院内製剤の調整を行う。 ②市販されていない内服薬（カプセル､錠剤など）の調製を行う。		
	カンファレンスルーム	①内部会議・ミーティングを行う。 ②勉強会・症例検討会を行う。	①入院調剤・注射室に隣接する仕様とすること。 ②入院患者用個人渡しのカート（W100cm×D80cm程度）を16台程度置くスペースを必要と想定している。	①ミーティングテーブル　　2台 ②椅子　　14脚 ③手荷物用ロッカー　18人用　1台
	薬剤当直室	①薬剤宿直者の仮眠室	①夜間窓口（受付）と隣接し、入院調剤室と注射セッティング室と同フロアであること。（薬局内） ②内部にUS・洗面を設けること。	①ベッド　　1台 ②更衣ロッカー1人用　　1台 ③事務用机(W1200)　　1台 ④事務椅子　　1台
	カートスペース	①カートスペース	①注射室に隣接すること。	
	職員トイレ	①職員トイレ		①汚物入れ

諸室計画（諸室データーシート①）：リハビリテーションセンター

区分	名称	使用目的	設計水準	備考
	理学療法室	①一般外来患者・入院患者の理学所見に基づいた機能訓練を行う。主に、運動機能障害を有する患者に対して、筋力回復や歩行訓練・起居動作訓練等の運動機能を応用した治療法を行う。	①壁は手摺りを設け、床や壁は怪我しない素材にする。 ②出入口は自動ドアにして、最低限車椅子がすれ違うことが可能である幅にすること。 ③部屋の中に柱を設けない仕様にすること。 ④音楽療法が出来る仕様にすること。 ⑤屋外を見渡せるガラス張りが望ましい。	①長椅子　　3台 ②コシラーク　　2台
	物理療法室	①主に牽引療法・温熱療法・光線療法等を行う。	①理学療法室と物理療法室を隣接し、1フロアーにすること。 ②キュービクルカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。 ③ホットパックなど高温水を扱うので一部分だけ防水の床にすること。	①事務用机(W1200)　1台 ②事務椅子　1台 ③診察台　4台（医療器機対応）
	作業療法室	①運動機能障害を持つ患者等に対して、手芸・工作その他の作業を行わせることにより、主として応用的動作能力・巧緻性や社会への適応能力などを増すことを目的として実施する。	①壁は手摺りを設け、床や壁は怪我しない素材にする。 ②出入口は自動ドアにして、最低限車椅子がすれ違うことが可能である幅にすること。 ③理学療法室の壁と作業療法室の壁の色は違えること。 ④音楽療法が出来ること。 ⑤屋外を見渡せるガラス張りが望ましい。	①工作机（木製）　　2台 ②コシラーク　　2台
	ADL室		①壁は手摺りを設け、床や壁は怪我しない素材にする。 ②模擬台所・模擬入浴場・模擬便所・畳の間を設置することを想定すること。	①長椅子　　2台 ②事務用椅子　4脚 ③キャビネット（書類用）　1台 ④昇降テーブル　1台
	水治療室	①水を利用した治療法であり、温水や渦流で鎮痛効果や循環促進を図る。代表的なものとして渦流浴を設置する。	①壁は手摺りを設け、床や壁は怪我しない素材にする。 ②床は防水とすること。 ③キュービクルカーテンで仕切られた更衣スペース（2スペース）を設けること。 ④出入口のドアは自動が望ましい。	①ワークテーブル　1台 ②長椅子　　1台 ③脱衣カゴ　　2個
	受付	①診察・理学療法・作業療法・言語療法を受けようとする、一般外来患者・入院患者の受付業務・予約業務を行う。	①カウンター式にすること。（車椅子対応ローカウンター構造） ②物理療法室、水治療法室等をモニター等で監視が出来る（集中監視構造）こと。	①事務用机(W1200)　　2台 ②事務椅子　2台 ③キャビネット（書類用）　　1台
	言語療法室	①言語障害者に言語治療を行う。その他、構音障害・発声障害・言語発達障害・聴覚障害による言語発達障害・吃音、口蓋裂による言語障害などに治療を行う。	①壁は手摺りを設け、床や壁は怪我しない素材にする。 ②部屋は防音とすること。 ③出入口のドアは自動とし、車椅子がすれ違うことが可能な幅にすること。 ④部屋の中の構造は家庭的な環境を設定すること。 ⑤音楽療法が出来るようにすること。	①患者用椅子　　4台 ②ワークテーブル　　1台
	診察室	①リハビリテーションを受ける外来患者の診察、他科からの紹介患者の診察・各セラピストへの指示をする。	①出入口は幅の広い引き戸とし、内側にはカーテンを設置すること。 ②診察室内部に患者用の更衣スペースを設けること。 ③壁には手摺りを設けること。	①医師用机(W2100)　　1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　1脚 ④診察台セット　1式（医療器機対応） ⑤脱衣カゴ　　1個
	障害相談室	①障害者及びその家族に対する相談業務をする。	①出入口は幅の広い引き戸とし、患者のプライバシーが守られるように防音性があること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①説明用テーブル　　1台 ②椅子（説明用）　　4脚
	スタッフルーム	①治療前の打ち合わせ、職員の休憩。机上の職務遂行。	①外部から見える隔たりとすること。（例えばガラス張り等） ②壁面用ホワイトボードを設けること。	①事務用机(W1200)　　8台 ②事務椅子　　8脚 ③ミーティングテーブル　　1台 ④手荷物用ロッカー　12人用　1台
	器具庫	①車椅子・松葉杖・杖・装具及び器具、遊具の保管	①出入口ドア幅の広くすること。	①軽量棚　　2
	評価室	①機能障害を持った患者の評価を行う。姿勢、動作観察・筋力・関節可動域等、治療プログラム作成のための評価をする。	①壁には手摺りを設けること。	①ミーティングテーブル　　1台 ②事務用椅子　　1脚 ③キャビネット　　1台 ④診察台　　1台（医療器機対応） ⑤患者用椅子　　1脚 ⑥脱衣カゴ　　1個
	記録保管室	①運動分析データーや姿勢制御データーを保管する。又、研修生や実習生のレポートや成績を保管・管理する。又、リハビリテーション実施記録を記載する。		①キャビネット（書類用）　　1台
	患者用トイレ	①患者用トイレ	①男女別に複数設けること。 ②ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	車椅子用トイレ	①車椅子用（多目的）トイレ	①介助者も充分に入れるスペースを確保すること。	①汚物入れ
	患者更衣室	①患者の着替えを行う。	①壁には手摺りを設けること。	①更衣ロッカー　　4人用　6台
	職員トイレ	①職員トイレ	①スタッフと患者の動線が区分されていること。	①汚物入れ

諸室計画（諸室データーシート①）：検査部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
検査受付				
	検査総合受付室	①患者IDカードで患者の採血及び採尿、生理検査の受付をし、それぞれ必要な検査室に案内する。検査全般の問い合わせ窓口をする。特殊容器の保管管理もする。	①中央採血室に隣接して位置すること。 ②採血室との間仕切りはせずワンフロア-で使用できること。 ③カウンター受付にはシャッター式で戸締りができること。	①事務用机(W1200)　　1台 ②事務椅子　1脚
検体検査				
	採尿前室	①採尿室の前室		
	採尿室(男)	①男性用採尿室	①男性用・女性用・車椅子用は隣接することが望ましい。 ②奥に尿提出パスボックスを設置する。 ③パスボックスは700～800㎜の高さとし3室のパスボックスが1箇所になるように配置すること。  	①汚物入れ
	採尿室(女)	①女性用採尿室		①汚物入れ
	車椅子用トイレ	①車椅子用採尿室		①汚物入れ
	検体検査室	①一般検査、緊急検査、血液検査、免疫化学検査を統合して検体検査室とする。 ②中央採血室に隣接することが望ましい。 ③一般検査部門に隣接して血液部門が位置する。 ④染色部門では手染めの検体、特殊染色をする。 ⑤検鏡部では目視による白血球分類、骨髄検査、細胞カウント、穿刺液細胞種類の分類等をする。 ④ガス分析、新生児ビリルビン検査などの緊急用手法検査も同じフロアーで行う。	FMSにより設計水準が提案されるよう想定している。概ね次により計画する。 ①床は配線や端末のコードが片付けられるようにフリーアクセスフロアが望ましい。 ②コンセントは3Pを基本とし、必要な分析器には必要量の電気配線を用意する。 ③温度管理を厳しくし±3℃の変動に抑える機能を持つこと。また空気のよどみを作らないような吹出口とし、細分したエリア毎に温度風量の設定ができること。 ④一般検査と血液検査の接合部に汚物処理槽を設けること。 ⑤機器及び作業台間のスペースは、背中合わせに椅子に座るスペースでは1500㎜、立って作業する場所では1200㎜を確保すること。 ⑥保冷庫、冷凍庫、洗浄設備を設けること。 ⑦機器それぞれに排水設備を設け、定期的に次亜塩素酸で洗浄しても耐えられる素材とすること。	①事務用椅子　　6脚 ②事務用机(W1200)　　3台 ③キャビネット（書類用）　1台 ④スライド式標本棚（医療器械対応）
輸血管理部門				
	輸血検査室	①輸血業務（血液製剤管理、輸血検査、自己血管理、副作用調査）を行う。 ②クリーンベンチを用いて造血幹細胞の調節などを行う。	①床は配線や端末のコードが片付けられるようにフリーアクセスフロアー望ましい。 ②入り口は引き戸にする。 ③温度管理を厳しくし±3℃の変動に抑える機能を持つこと。また空気のよどみを作らないような吹出口とし、細分したエリア毎に温度風量の設定ができること。 ④機器及び作業台間のスペースは、背中合わせに椅子に座るスペースでは1500㎜、立って作業する場所では1200㎜を確保すること。	①中央実験台　1台（医療器機対応） ②サイド実験台　2箇所（医療器機対応） ③作業台　　1台（医療器機対応） ④事務用机(W1200)　　1台 ⑤事務用椅子　　1脚 ⑥キャビネット　1脚
	自己血採血室	①輸血用の自己血の採血を行う。	①日本赤十字血液センターの献血室と同水準の設計基準が必要。	①採血用ベッド　　1台（医療器機対応） ②メディテーションチェア　1台（医療器機対応） ③作業台　　1台（医療器機対応） ④事務用机(W1200)　　1台 ⑤事務用椅子　　1脚 ⑥キャビネット　1台
	血液照射室	①輸血用血液製剤放射線照射装置を置き、血液照射業務を行う。	①重い照射装置に十分に耐えられる床強度が必要。 ②医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ③装置が熱を発するため室の温度が一定に保てる空調設備が必要。 ④装置は高い水圧と多くの水量を必要とするため、十分な給排水設備が必要。	①キャビネット（書類用）　1台
細菌検査				
	前室	①細菌室出入口につき感染予防を行う。	①入口引き戸とすること。 ②抗菌仕様をすること。	
	細菌検査処理室	①検体塗抹培養を処理する。 ②検体保管をする。	①抗菌仕様とすること。	①中央実験台　1台（医療器機対応） ②椅子（足掛け付）2台 ③事務用机(W1200)　1台 ④事務用椅子　1台
	クリーンルーム	①無菌状態で作製した培地等の保管。	①抗菌仕様とすること。	①中央実験台1台　（医療器機対応） ②椅子（足掛付）　　2台 ③薬品、器具保管棚　　2台（SPD対応） ④事務用机(W1200)　1台 ⑤椅子 1台
	培地作製室	①培地を作成する。	①抗菌仕様とすること。 ②クリーンルーム内に設ける。	①壁面実験台　2台（医療器機対応） ②事務椅子　1脚

諸室計画（諸室データーシート①）：検査部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
病理検査室				
	受付・検体処理室	①病理組織検体と細胞診検体の受付及び処理を行う。	①受付業務窓口を設けること。 ②壁面を利用した収納設備を考慮すること。	①事務用机(W1200)　　1台 ②事務椅子　1脚 ③検体処理作業台　1台（医療器機対応） ④切り出し専用台　1台（医療器機対応） ⑤医療器械収納棚　1台（医療器機対応）
	標本作製室	②病理組織標本と細胞診標本の包埋・薄切・染色・封入 等標本作製のために必要な作業を行う。	①受付検体処理室と診断室の中間に位置し、両方の部屋の状況が観察できるようにする ことが望ましい。 ②壁面を利用した収納設備を考慮すること。	①薄切用専用台　1台（医療器機対応） ②封入用専用台　1台（医療器機対応） ③事務用椅子　3脚
	診断室	③病理組織標本と細胞診標本の病理診断およびスク リーニングを行う。		①顕微鏡専用台　6台 ②書庫　　2台 ③椅子　　8脚 ④事務用机(W1200)　4台
	標本保管室	①病理組織のブロック・標本および細胞診標本の保管を行う。	①標本等の重量に耐える構造とすること。	①スチール棚　2
生理機能検査				
	肺機能､眼底検査室	①生理検査の受付を行う。 ②眼底検査及び、肺機能検査を行う。	①眼底検査を暗室状態で行うため暗幕（W1850×D900）で仕切れること。 ②肺機能検査は衝立でスペース（W2100XD1800）を確保する。 ③入口は引き戸とし車いす、ストレッチャーの出入りがスムーズにできるようにする。 ④受付はカウンター方式とする。 ⑤心電図室と一体となった構造が望ましい。 ⑥吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①事務用椅子　4脚 ②長椅子　1台 ③事務用机(W1200)　2台 ⑤キャビネット（書類用）　1台
	心電図室	①心電図検査を行う。	①検査ベッド3台対応とし各ベッドにそれぞれ入口を設ける仕様とする。 ②各検査ベッドはアコディオンカーテン等で間仕切りをすること。 ③入口は引き戸とし車いす、ストレッチャーの出入りがスムーズにできるようにすること。 ④入口にカーテンを設置すること。 ⑤生理検査受付と一体となった構造が望ましい。 ⑥心電図室を使用している時に使用中のランプがつくようすること。 ⑦点滴レールを設けること。 ⑧スタッフ側から見えない構造とすること。 ⑨吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①検査用ベッド　　3台（医療器機対応） ②マスター用スッテプ台（手摺つき）　2台　（医療器機対応） ③脱衣かご　3台
	心エコー室	①心臓超音波検査を行う。	①検査ベッド２台対応の仕様とする。 ②各検査ベッドはアコディオンカーテン等で間仕切りをすること。 ③入口は引き戸とし車いす、ストレッチャーの出入りがスムーズにできるようにすること。 ④入口にカーテンを設置すること。 ⑤点滴レールを設けること。 ⑥吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①検査用ベッド　　2台　（医療器機対応） ②脱衣かご　　2台 ③事務用机（W1200）　　1台 ④事務用椅子　　2脚
	前室	①誘発検査のデーター処理及び患者説明を行う。	①入り口は引き戸とすること。	①事務用机（W1200）　1台 ②事務用椅子　　1台 ③キャビネット（書類用）　　1台
	誘発１	①MS、針筋電図を行う。	①シールドルーム及び遮音機能を持つこと。 ②入口は引き戸とし車いす、ストレッチャーの出入りがスムーズにできるようにすること。 ③吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①検査用ベッド　　1台（医療器機対応）
	誘発２	①ABR、SEP、VEPなどの検査を行う。	①シールドルーム及び遮音機能を持つこと。 ②入口は引き戸とし車いす、ストレッチャーの出入りがスムーズにできるようにすること。 ③吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①検査用ベッド　　1台（医療器機対応）
	トレッドミル （エルゴメータ）	①トレッドミル（エルゴメータ）検査を行う。	①室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。 ②検査ベッド１台対応の仕様とし、キュービクルカーテンを設ける。 ③室内にパーテイションで区切った前室を設けること。 ④入口は引き戸とし車いす、ストレッチャーの出入りがスムーズにできるようにすること。 ⑤吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①事務用机（W1200）　1台 ②事務用椅子　　1台 ③キャビネット（書類用）　　1台
	睡眠脳波室	①睡眠時無呼吸検査を行う。	①シールドルーム及び遮音機能を持つこと。 ②入口は引き戸とし車いす、ストレッチャーの出入りがスムーズにできるようにすること。 ③吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①検査用ベッド　　1台（医療器機対応）
	脳波室	①脳波検査を行う。	①シールドルーム及び遮音機能を持つこと。 ②入口は引き戸とし車いす、ストレッチャーの出入りがスムーズにできるようにすること。 ③吊り戸棚を適切な位置に設けること。	
	脳波操作室	①睡眠時無呼吸検査・脳波検査の器械の操作を行う。	①睡眠脳波、脳波中の様子をモニターするテレビカメラを設置すること。 ②操作室からの声を脳波室と睡眠脳波室に聞こえるようマイクを設け、また中の声もモニタ できるようにしておくこと。	①事務用机(W1200)　　2台 ②事務用椅子　　1脚 ③キャビネット（書類用）　1台
	待合い	①生理検査に来られた患者さんの為の待合。		①長椅子　2台
	データ庫	①ホルター心電図、脳波のデーターの保管を行う。		①移動棚

諸室計画 (諸室データーシート①) : 検査部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
管理部門				
	検査当直室	①当直者の仮眠室		①ベッド　　1台 ②事務用椅子　　1脚 ③事務用机（W1200）　1台
	スタッフルーム	①スタッフミーティングや休憩する場所。 ②検査スタッフの手荷物保管を行う。	①壁面を利用したホワイトボードを設けること。	①ミーティングテーブル　1台 ②事務用椅子　　23脚 ③事務用机（W1200）　　2台 ④手荷物ロッカー　20人分
	職員トイレ	①職員トイレ		
解剖、霊安室				
	解剖前室	①病理医が臨床経過の説明および臨床医との打ち合 わせを行う。		①事務用机（W1200）　1台 ②事務用椅子　4脚
	更衣室	①職員用更衣室	①室内にUSを設ける。 ②内部にカーテンを設けること。（男女の区分）	①更衣ロッカー（3人用）　2 ②脱衣カゴ　4
	器材、準備室	①解剖用器材の保管および解剖準備を行う。		①器材用棚　2
	解剖室	①病理解剖を行う。	①音が外部に漏れない（遮音）仕様とする。	①器械用棚　1
	標本室	①病理解剖の臓器標本を保管する。	①可動式保管棚を設置する。 ②標本保管の重量に耐えられる構造とする。	
	霊安室	①遺体の保管・安置および家族の控え室とする。	①霊安室を2室を設ける。 ②遺体保冷庫を設ける。 ③祭壇（作り付け）を考慮すること。	①ソファ　　2脚

諸室計画（諸室データーシート①）：放射線部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
画像診断				
	一般撮影室	①外来患者及び入院患者のX線撮影検査を行う。	各室共通　各検査室の入り口は車椅子、ストレッチャー、ベッドでの搬送を考慮した仕様であること。 ①医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ②患者側ローカから入室し撮影室に入室できる更衣室を各室に２室設けること。（管理区域外） ③操作ローカ側からの患者観察用防護ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ④床ピットを適切な位置に設けること。 ⑤吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①患者用椅子　6個 ②脱衣かご　6個 ③作業テーブル　3台 ④備品用ラック　3台
	乳房撮影室	①乳房撮影を行う。	①医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ②患者側ローカ待合いから入室し撮影室に入室できる更衣室を２室設けること。（管理区域外） ③操作ローカ側からの患者観察用防護ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ④床ピットを適切な位置に設けること。 ⑤吊り戸棚を適切な位置に設けること。 ⑥点滴レールを設けること。	①医師用机（W2100）　1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　2個 ④脱衣かご　2個 ⑤作業テーブル　1台
	X－TV室	①X線透視、撮影装置を用い検査及び治療を行う。	①医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ②待合いから入室し撮影室に入室できる更衣室を各室に２室設けること。（管理区域外） ③操作ローカ側からの患者観察用防護ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ④床ピットを適切な位置に設けること。 ⑤吊り戸棚を適切な位置に設けること。 ⑥全体照明は調光であること。	①作業テーブル　2台 ②患者用椅子　2個
	泌尿器科撮影室	①外来患者等の泌尿器撮影を行う。	①医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ②待合いから入室し撮影室に入室できる更衣室を４室設けること。（管理区域外） ③操作ローカ側からの患者観察用防護ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ④床ピットを適切な位置に設けること。 ⑤吊り戸棚を適切な位置に設けること。 ⑥室内を間仕切り（鉛パーテイション）すること。 ⑦点滴レールを設けること。	①作業テーブル　1台 ②事務用机（W1200）　1台 ③事務用椅子　1脚 ④患者用椅子　2個
	婦人科・断層撮影室	①外来患者等の断層撮影及び婦人科撮影を行う。	①医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ②室内を間仕切りし婦人科撮影装置と断層撮影装置を設ける構造とする。 ③待合いから入室し撮影室に入室できる更衣室を各室に１室設けること。（管理区域外） ④操作ローカ側からの患者観察用防護ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ⑤床ピットを適切な位置に設けること。 ⑥吊り戸棚を適切な位置に設けること。 ⑦操作ローカに流し及び汚物流しを設けること。	①作業テーブル　1台 ②患者用椅子　2個
	血管撮影室			
	撮影室①	①血管造影撮影を行う。 ②アンギオCT装置を用い各種血管撮影及びIVR治療を行う。	①医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ②前室を挟み血管撮影室を設ける。 ③操作室からの患者観察用防護ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ④床ピットを適切な位置に設けること。 ⑤吊り戸棚を適切な位置に設けること。 ⑥点滴レールを設けること。 ⑦全体照明は調光であること。	①作業テーブル　1台 ②患者用椅子　2個
	撮影室②	①血管造影撮影を行う。	同上	①作業テーブル　1台 ②患者用椅子　2個
	操作室	①血管撮影装置の操作を行う。	①床ピットを適切な位置に設けること。 ②吊り戸棚を適切な位置に設けること。 ③全体照明は調光であること。	①事務用机（W1200）　1台 ②事務用椅子　1脚
	前室	①術者の手洗いや患者の検査前処置を行う。	①前室は各室の入室がスムーズに行える幅を持つこと。 ②床ピットを適切な位置に設けること。 ③吊り戸棚を適切な位置に設けること。 ④室内にに流し台及び汚物流しを設けること。 ⑤点滴レールを設けること。	①作業テーブル　1台
	更衣室	①職員用更衣室。（術者用）	①男子用4室、女子用2室を設ける。	①更衣ロッカー1人用　6個 ②下駄箱　12人用　1台
	機械室	①血管撮影装置のX線発生装置用機械室。	①床ピットを適切な位置に設けること。	

諸室計画（諸室データーシート①）：放射線部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備考
	CT室	①コンピューター断層撮影を行う。	①医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ②操作室からの患者観察用防電波ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ③点滴レールをガントリーの前後に設けること。 ④床ピットを適切な位置に設けること。 ⑤室内に更衣スペース（カーテンで区画）を設けること。 ⑥吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①患者用椅子　2個 ②更衣ロッカー（1人用）　2個 ③事務用机（W1200）　2台 ④事務用椅子　2脚
	MRI室	①磁気共鳴画像撮影を行う。	①医療法施行規則及び電波管理法に基づく基準に添った構造であること。 ②操作ローカ側からの患者観察用防護ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ③点滴レール（非磁性体）をガントリーの前後に設けること。 ④床ピットを適切な位置に設けること。 ⑤吊り戸棚を適切な位置に設けること。（非磁性体）	①患者用椅子　2個 ②更衣ロッカー（1人用）　2個 ③事務用机（W1200）　2台 ④事務用椅子　2脚
	MRI機械室	①MRI装置の機械部分（磁場発生器等）を設置する。	①床ピットを適切な位置に設けること。	
	腹部超音波室	①腹部超音波検査を行う。	①室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを2人分設けること。 ②超音波室内にドアを設け2室の行ききができること。 ③室内に洗面台及び汚物流しを設けること。 ④点滴レールを設けること。	①事務用机（W1200）　2台 ②事務用椅子　2脚
	骨塩測定室	①骨塩測定検査を行う。	①医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ②操作ローカ側からの患者観察用防護ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ③室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを１人分設けること。 ④点滴レールを設けること。 ⑤床ピットを適切な位置に設けること。 ⑥吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①作業テーブル　1台 ②患者用椅子　2脚
	回復室	①各種検査による処置及び経過観察を行う。	①診察ベッド2台対応とする。 ②点滴レールを設けること。 ③床ピットを適切な位置に設けること。 ④アコーデオンカーテンで仕切ること。	①診察ベッド　1台（医療器機対応） ②リクライニングチェアー　1台（医療器機対応）
	更衣室	①CT、MRI、X線TVの検査患者の更衣を行う。	①パーテイションで区画された更衣スペースを10室を設ける。	①更衣ロッカー（1人用）　10個
	薬品倉庫	①検査に使用する薬品及び器材保管を行う。	①アンギオ室等IVRを行う部屋に近いことが望ましい。	①SPDシステムによる収納設備想定。
	ポータブル置場	①病棟階に設置。		
	待合いスペース	①患者待合い。	①手すりが設置されていること。	①長椅子　3台
その他諸室				
	読影室	①検査画像の読影等を行う。	①充分な電源コンセントが必要である。	①事務用机（W1200）　4台 ②事務用椅子　4脚 ③作業テーブル　2台 ④キャビネット（書類用）　4台
	暗室	①暗室作業を行う。 ②フイルムデジタイザーを設置する。	①床ピットを適切な位置に設けること。 ②暗室作業を明示する機能表示を設けること。	
	スタッフルーム	①症例検討、打ち合わせ会及び職員休憩室として使用。	①流し台（収納スペース付き）を室内に設けること。 ②壁面を利用しホワイトボードを設けること。	①事務用机（W1200）　2台 ②事務用椅子　2脚 ③テーブル　1台 ④長椅子　2台
	更衣室	①職員用更衣室		①更衣ロッカー　4人用　4台
	放射線科当直室	①放射線当直室	①洗面ユニット及びUSを設けること。	①ベッド　1台 ②事務用机（W1200）　1台 ③事務用椅子　1台 ④更衣ロッカー（1人用）　1台
	器材室	①サーバ関連機器を設け運用する。	①床ピットを適切な位置に設けること。 ②吊り戸棚を適切な位置に設けること。	
	患者用トイレ	①一般トイレ	①一般トイレを男女別に別れ複数設けること。 ②内部に収納棚を設けること。 ③ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	検査用トイレ	①検査用トイレ。（車椅子用トイレ1含む）	①車椅子用トイレ　1、一般トイレ　1を設ける。 ②内部に収納棚を設けること。 ③ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	職員用トイレ	①職員トイレ	①男女別に設けること。 ②患者動線と区分されていること。	①汚物入れ

諸室計画（諸室データーシート①）：放射線部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
放射線治療				
	リニアアクセラレーター室	①高エネルギーX線、電子線を用いた放射線治療を行う。	①医療法施行規則に基づく基準に添った構造であること。 ②床ピットが適切な位置に設けること。 ③室内に流し台を設けること。 ④入口は自動ドアとすること。	
	シミュレータ室	①シミュレーター及びCTを用いて放射線治療のシミュレーションを行う。	①医療法施行規則に基づくX線防護基準に添った構造であること。 ②室内にカーテンで仕切られた更衣室１室を設けること。 ③操作・治療計画室側からの患者観察用防護ガラスは、操作者及びスタッフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。 ④室内に流し台を設けること。 ⑤点滴レールを設けること。 ⑥吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①脱衣かご　2台 ②患者用椅子　1脚
	操作・治療計画室	①放射線治療計画を立案する。 ②ライナック、シミュレーター、小線源装置の操作を行う。	①床ピットを適切な位置に設けること。 ②吊り戸棚を適切な位置に設けること。 ③壁面を利用しホワイトボード設けること。	①事務用机（W1200）　3台 ②事務用椅子　6脚 ③作業テーブル　1台
	小線源室	①小線源を用いた放射線治療を行う。	①医療法施行規則に基づく障害防護を講じ構造設備の基準を満たした構造であること。 ②床ピットを適切な位置に設けること。 ③点滴レールを設けること。 ④流し台（収納スペース付き）を室内に設けること。 ⑤汚物流しを設けること。 ⑥吊り戸棚を適切な位置に設けること。	
	診察室	①放射線治療を行う患者の診察を行う。	①診察ベッド2台対応の仕様とすること。 ②操作・治療計画室に隣接すること。 ③点滴レールを設けること。 ④診察室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。 ⑤診察台の周囲にはキュービクルカーテンを設けること。 ⑥吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①診察ベッド　1台（医療器機対応） ②医師用机（W2100）　1台 ③医師用椅子　1台
	回復室	①放射線治療患者の処置及び経過観察を行う。	①診察ベッド2台対応の仕様とする。 ②点滴レールを設けること。 ③診察台の周囲にはキュービクルカーテンを設けること。 ④診察室に隣接することが望ましい。	①診察ベッド　1台（医療器機対応） ②長椅子　　1台 ③事務用机（W1200）　　1台 ④事務用椅子　1脚
	工作室	①放射線治療に必要な器具の作成、加工を行う。	①防音対応仕様とすること。 ②操作・治療計画室から床ピットが設けられていること。 ③吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①作業テーブル　1台
	患者用トイレ	①放射線治療患者用トイレ。	①男女別に複数設けること。 ②ゴミ箱（造り付け）を設けること。	①汚物入れ
	待合スペース	①放射線治療患者用待合いスペース。	①車椅子、ストレッチャー等のすれ違いに余裕があるスペースとすること。	①長椅子　　2台
核医学検査				
	体外計測室	①各種RI検査を行う。	①スペクト2台対応の仕様とする。 ②室内に手洗いを設けること。 ③室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。 ④吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①患者用椅子　2脚 ②事務用椅子　2脚 ③更衣ロッカー1人用　2個
	読影及びデータ管理室	①各種RI検査のデータ管理及び読影を行う。	①床ピットを適切な位置に設けること。 ②室内に手洗い及び流し台を設けること。 ③吊り戸棚を適切な位置に設けること。 ④壁面を利用しホワイトボード設けること。	①事務用机（W1200）　2台 ②事務用椅子　2脚
	処置室	①RI検査のための処置及び合併症対応を行う。	①診察ベッド1台に対応した仕様とする。 ②診察台の周囲にはキュービクルカーテンを設けること。	①診察ベッド 1台 ②医師用椅子　1脚 ③患者用椅子　1脚
	準備室	①RI検査目的に合わせ分注等を行う。	①RI専用流し台を設けること。 ②吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①事務用机（W1200）　1台 ②事務用椅子　1脚
	待合スペース	①RI部門待合いスペース。		①長椅子　　1台
	貯蔵室	①RI保管、管理を行う。	①医療法施行規則、建築基準法等を満すこと。	
	受付兼管理室	①RI部門の受付、及び入退室管理を及びRI排水管理などを行う。	①入退室管理装置（IDカード等）を設けること。 ②排気排水管理装置（中央監視盤）を設けること。 ③吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①下駄箱（12人用）　1台 ②事務用机（W1200）　1台 ③事務用椅子　1脚
	廃棄物室	①RIの一時保管、管理を行う。	①医療法施行規則、建築基準法等を満すこと。 ②吊り戸棚を適切な位置に設けること。	
	ＲＩ専用トイレ、シャワー	①RI検査専用トイレ、汚染除去用シャワーを行う。	①トイレ男女各1を設けること。 ②シャワー1カ所を設けること。 ③洗面ユニットを設けること。	①脱衣かご　2個
	トレッドミル検査室	①心筋シンチグラフィー時に心筋負荷をかける検査を行う。	①処置台1台に対応する仕様とし、周囲にはキュービクルカーテンを設けること。 ②吊り戸棚を適切な位置に設けること。	①処置台　1台（医療器機対応）

諸室計画（諸室データーシート①）：内視鏡部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
	上部内視鏡室	①上部消化管内視鏡検査を行う。	①室内を3ブースにパーテイションで区分し3ベッド対応の仕様とする。 ②3室の内の1室はストレッチャが搬入できる幅とする。 ②床は汚れの落ちやすい材質であること。 ③床ピットを設けること。 ④出入口はストレッチャーがスムーズに通れるように十分な広さがある。 ⑤出口及びスッタッフ通路側にカーテンを設ける。 ⑥スタッフ通路に流し台及び汚物流しを設ける。	①医師用机（W1200）　3台 ②医師用椅子　6台 ③患者用椅子　3台 ④脱衣かご　3台 ⑤内視鏡用ベッド　3台（医療器機対応）
	下部内視鏡室１	①下部消化管内視鏡検査を行う。	①入口はストレッチャーがスムーズに通れるように十分な広さがあること。 ②入口はカーテンを設けること。 ③床等は汚れの落ちやすい材質であること。 ④床ピットを設ける。	①医師用机（W1200）　1台 ②医師用椅子　1台 ③患者用椅子　1台 ④脱衣かご　1台 ⑤内視鏡用ベッド　1台（医療器機対応）
	下部内視鏡室2 （X線装置付き）	①無透視で挿入困難な症例の大腸ファイバー（術後、初心者）検査を行う。 ②治療内視鏡検査室のＸ線装置故障時の治療内視鏡検査を行う。 ③内視鏡検査に続いての造影査を行う。	①入口はストレッチャーがスムーズに通れるように十分な広さがあること。 ②入口にはカーテンを設けること。 ③床等は汚れの落ちやすい材質であること。 ④床ピットを設ける仕様とすること。 ⑤点滴レールを設けること。 ⑥トイレに隣接していること。 ⑦X線防護壁であること。 ⑧プロテクターガウンを壁面につるす仕様とする。	①医師用机（W1200）　1台 ②医師用椅子　1台 ③患者用椅子　1台 ④脱衣かご　1台 ⑤内視鏡用ベッド　1台（医療器機対応）
	X線操作室	①透視の操作、X線撮影を行う。	①検査室内の内視鏡画像を観察できるサブモニターを設置する。 ②X線装置付の下部内視鏡室２と治療内視鏡室の中間に位置する。 ③患者観察用防護ガラス（マジックミラー）は、操作者及びスッタフが患者の状態を観察しやすい大きさと位置であること。	①医師用机（W1200）　1台 ②医師用椅子　4台
	治療内視鏡室 （X線装置付き）	①ERCP、EST、EPBD、胆管ステント留置等の検査、治療を行う。 ②気管支ファイバー検査を行う。 ③粘膜切除(胃、大腸）を行う。 ④経肛門的イレウス管の挿入を行う。	①入口はストレッチャーがスムーズに通れるように十分な広さがあること。 ②入口はカーテンを設け流こと。 ③床等は汚れの落ちやすい材質であること。 ④床ピットを設ける。 ⑤点滴レールを設けること。 ⑥トイレに隣接していること。 ⑦X線防護壁であること。 ⑧プロテクターガウンを壁面につるす仕様とする。	①医師用机(W1200)　1台 ②医師用椅子　1台 ③患者用椅子　1台 ④脱衣かご　1台
	上部用前処置室 ／更衣室	①上部消化管内視鏡検査の前処置を行う。	①患者用リクライニング椅子を3台設置する仕様とする。 ②点滴レールを設けること。 ③入口は車椅子、ストレッチャーがスムーズに入れること。 ④室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを2カ所設けること。 ⑤スタッフ通路に流し・汚物流しを設けること。	①更衣ロッカー（4人用）　2台 ②リクライニングチェアー　3台（医療器機対応）
	下部前処置室	①下部消化管内視鏡検査の前処置を行う。	①室内にトイレ（3ブース）を設ける仕様とする。 ②隣接して車椅子対応トイレを設けること。 ③出入口は車椅子、ストレッチャーがスムーズに入れる仕様とする。	①テーブル　2台 ②患者用椅子　6台 ③長椅子　2台 ④脱衣かご　1台
	リカバリールーム	①患者の観察及び患者、家族へ治療説明を行う。	①入口はストレッチャーが通れる広さがあること。 ②患者用リクライニング3台対応の仕様とする。 ③上部内視鏡室に隣接させることが望ましい。 ④スタッフ通路から患者の状況が観察できること。	①リカバリーチェアー　3台（医療器機対応） ②患者用椅子　4台 ③事務用机(W1200)　１台 ④事務用椅子　１台 ⑤キャビネット（書類用）　1台 ⑥脱衣籠　4台
	職員休憩室	①職員休憩室	①スタッフと患者の動線が区分すること。 ②窓がある部屋が望ましい。	①ミーティングテーブル　1台 ②ミーティング用椅子　8脚 ③長椅子　1台 ④手荷物用ロッカー　9人用　1台
	洗浄/消毒/器材室	①各スコープ及び処置具の洗浄を行う。 ②各種器材の保管する。	①酵素系洗剤による予備洗浄、超音波洗浄、消毒、自動洗浄器、乾燥といった流れに沿った仕様とする。 ②各室との移動距離ができるだけ短くなるよう配慮する。 ③水を使用する頻度が非常に高いため、給排水はもとより、床面の防水、排水を考慮する。	①作業テーブル　2台
	待合いスペース	①患者待合いスペース。	①他部門の待合いとの共用化も検討すること。	①長椅子　2台
	車椅子用トイレ	①大腸内視鏡検査前処置でに対応するため使用する多目的トイレ。	①室内にシャワー設備を設ける。 ②荷物置き場と洗面ユニットを備えている。	①脱衣かご　1個

諸室計画（諸室データーシート①）：健診センター

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
	受付	①受診者の受付を行う。 ②来院時、必要な検査項目を確認し、オーダーする。	①健診入口に入ってすぐに設置され、カウンター（収納庫付き）を設ける方式とする。 ②待合いに面して窓を設ける。	
	待合い（ラウンジ）	①健診待合い兼更衣後に身長・体重の測定を行う。	①健診者が30人程度が待合いとして利用できること。 ②入口に下足箱とスリッパ収納スペースを置くこと。 ③ラウンジの奥にベッドを置きキュービクルカーテンで仕切り、気分の悪い方が休憩出来るスペースを置く。（点滴レールを設けること。） ④身長・体重を計測するスペースを設ける。 ⑤自動販売機（利便施設）を設置する場合には病院と協議のこと。	①ソファー（三連背付）　8台 ②センターテーブル　2台 ③下駄箱　15人用　1台
	診察室	①健診者の問診、血圧測定をする。 ②検査後の診察と検査結果の説明（医師による）を行う。	①各室診察ベッド1台対応とする。 ②診察室内部のプライバシーの保護を重視すること（視覚的、聴覚的にも）。 ③入口は引き戸とし、車椅子が出入りできる幅とすること。 ④診察室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。 ⑤診察台の周囲にはキュービクルカーテンを設けること。 ⑥スタッフ通路から出入りができること。	①医師用机(W2100)　2台 ②医師用椅子　2台 ③患者用椅子　2台 ④健診者用ベッド　2台（医療器機対応） ⑤脱衣籠　2個
	器材室	①器材・常用物品の洗浄、手洗いを行う。 ②汚物の処理をする。 ③職員休憩室を兼用する。	①スタッフ通路から出入りできること。 ②ミニキッチンと汚物処理槽は離れた位置に設けること。	①事務用椅子　1脚 ②事務用机（W1200）　1台
	エコー・心電図室	①健診者の心電図を取る。	①処置用ベッド1台に対応する仕様とすること。 ②処置用ベッドにはキュービクルカーテンを設けること。 ③室内にカーテンで仕切られた更衣スペースを設けること。 ④入口はカーテンで中が見えない様にすること。	①処置ベッド　1台（医療器機対応） ②脱衣籠　1個
	更衣室（男）	①健診者の更衣及び荷物の保管を行う。	①入口から中が見えないようにカーテンで仕切ること。	①更衣ロッカー　4人用　4台
	更衣室（女）	①健診者の更衣及び荷物の保管を行う。	①入口から中が見えないようにカーテンで仕切ること。	①更衣ロッカー　4人用　4台
	相談室　①	①健診者への生活指導を行う。 ②採血を行う。	①通路をはさんで診察室と向き合うように設置することが望ましい。 ②入口は引き戸で段差がなく滑りにくい床であること。 ③ポスター等の掲示板及びピクチャーレール等を設けること。	①事務用机（W1200）　1台 ②事務用椅子　1脚 ③健診者用椅子　2脚
	相談室　②	①健診者への生活指導を行う。 ②視力・聴力検査を行う。	①通路をはさんで診察室と向き合うように設置することが望ましい。 ②視力・聴力測定室を兼ねるため、遮音性能を持たせること。 ③ポスター等の掲示板及びピクチャーレール等を設けること。	①事務用机（W1200）　2台 ②事務用椅子　1脚 ③健診者用椅子　3脚
	事務室	①健診予約登録及びIDカードの発行等受付業務及び健診案内等事務業務を行う。	①事務室としての機能を有すること。	①事務用机（W1200）　1台 ②事務用椅子　2脚 ③キャビネット（書類用）　2台

諸室計画（諸室データーシート①）：栄養部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
	調理業務			
	厨房		①要求水準（HACCP等）に基づく衛生管理に対応していること。	
	食品庫			
	冷蔵室（前）			
	冷蔵室（後）			
	冷凍室			
	荷さばき室			
	検収室			
	下処理室			
	洗浄室			
	配膳車プール			
	下膳エリア			
	物品庫			
	休憩室			
	更衣室			
	シャワー室			
	トイレ			
	栄養管理			
	栄養事務室	①入院患者・外来患者のフードサービスを行う。	①一般事務室としてOA対応などができること。 ②厨房内の状況を確認できる仕様が望ましい。	①事務用机（W1200）　4台 ②事務用椅子　4台 ③キャビネット（書類用）　2台
	個別栄養指導室	①入院患者・外来患者の個別栄養指導を行う。 ②患者の情報管理を行う。	①患者のプライバシーが守られるよう遮音性があること。 ②入り口は引き戸とすること。 ③歩行障害の患者に対応できること。	①説明用テーブル　2台 ②説明用椅子　8脚 ③キャビネット（書類用）　4台
	検食室、来客室	①検食を行う。（医師・栄養士）	①検食を保存する冷蔵庫1台を設置できるスペースを有すること。 ②換気設備を有すること。	①説明用テーブル　1台 ②説明用椅子　4脚

諸室計画（諸室データーシート①）：管理部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
医事部門				
	受付	①初診受付・会計処理等を行う。	①オープンカウンター方式が望ましい。	①事務用机(W1200)　2台 ②事務用椅子　2台
	医事事務室	①医事事務を行う。	①一般事務室としての仕様とする。 ②電算処理（OAスペース）に対応すること。 ③打ち合わせスペースを設ける。 ④壁面収納庫を設けること。 ⑤執務ゾーンの拡張やレイアウトの変更に柔軟に対応できるよう設定する。	①事務用机（W1200）　4台 ②事務用椅子　4脚
	入退院管理室	①入院・退院受付及びその管理を行う。	①受付窓口（オープンカウンター方式）を設ける。	①事務用机（W1200）　2台 ②事務用椅子　2脚
	湯沸室	①来客及び職員用湯茶の準備を行う。	①湯沸かし設備を設ける。	
	職員トイレ	①職員用トイレ		①汚物入れ
経営情報部門				
	経営情報企画室	①病院の情報システムの中枢を担う役割を持つ。院内の あらゆるシステムを包括的に管理することは勿論、 「経営」の観点から様々な統計資料をアウトプット して患者のニーズを反映した院内システムの構築・ 維持管理を行う。	①一般事務室執務スペースを室内に設ける。 ②サーバー室と操作室に分けて遮音パーテーションで間仕切りをする。 ③24時間空調設備・不活性ガス消火設備・サーバー搬入（入れ替え）時にパーティシ ョンが取り外し可能なこと。 ④OAフロア・OA照明・2系統電源（トランスから）・UPS（無停電装置）・LAN幹線は光ケ ーブルを設置すること。 ⑤セキュリティ対策（例：カードエントリィシステム等）を設けること。 ⑥医事事務室と隣接が望ましい。	①事務用机（W1200）　5台 ②事務用椅子　5台 ③キャビネット（書類用）　3台
	サーバー室	①情報システム関係のサーバーを設置する。		
	病歴室	①電子カルテの保管を行うために、媒体を整理保存する。 （旧紙カルテおよび電算室の統計資料含む。）	①セキュリティ対策を万全に取ることが必要。（例：職員IDを入力しないと操作不可） ②経営情報企画室と隣接が望ましい。 ③カルテ保管用可動棚を設けること。	
庶務部門				
	庶務課	①庶務課事務室	①一般事務室としての仕様とする。 ②電算処理（OAスペース）に対応すること。 ③打ち合わせスペースを設ける。 ④壁面収納庫を設けること。 ⑤執務ゾーンの拡張やレイアウトの変更に柔軟に対応できる仕様とする。	①事務用机（W1200）　11台 ③事務用椅子　11脚
	印刷室兼書庫	①文書の印刷及び簡易書庫として使用。		①軽量棚
	湯沸室	①接客対応のため準備室として使用。		
管理部門				
	更衣室（女子）	①看護婦等女性用更衣室		①更衣ロッカー4人用　70台
	仮眠室	①看護婦等女性用仮眠室	①仮眠用ベッド4台程度を設ける仕様とする。 ②室内に洗面及びUSを設けること。	①ベッド　1台 ②事務用机（W1200）　1台
	更衣室（男子）	①看護士等男性用更衣室		①更衣ロッカー4人用　10台
	仮眠室	①看護士等男性用仮眠室	①仮眠用ベッド4台程度設ける仕様とする。 ②室内に洗面及びUSを設けること。	①ベッド　1台 ②事務用机（W1200）　１台 ③事務用椅子　１脚
	看護実習生更衣室	①看護実習生（看護専門学校等）更衣室		①更衣ロッカー　4人用8台
	名誉院長室	①名誉院長室		①両袖机　1台 ②両袖用椅子　1台 ③ワードローブ　1台 ④書架　1台
	院長室	①院長室	①室内に応接スペースを設けること。	①両袖机　1台 ②両袖用椅子　1台 ③ワードローブ　1台 ④書架　2台 ⑤応接セット　1
	応接室	①院長等来客応接室	①院長室・副院長室に隣接若しくは対面に設置する仕様が望ましい。	①応接セット　1セット
	副院長室	①副院長室	①各室1人対応とする。 ②洗面化粧台を設ける。	①両袖机　3台 ②両袖用椅子　3脚 ③ワードローブ　3台 ④書架　3台

諸室計画（諸室データーシート①）：管理部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
	医局	①診療部医師事務室	①OAスペースを設ける。 ②ミニキッチンを設ける。 ③個別化されたブースをパネルシステムで構成すること。 ④1室33人対応を想定している。	①更衣ロッカー　4人用18台
	医局専用応接室	①医師用応接室	①応接機能と休憩機能を持った仕様とする。	①応接セット　1組
	看護部長室	①看護部長室	①事務室仕様とする。 ②OA対応とすること。	①事務用両袖机（W1400）　1台 ②医師用椅子　1台 ③ロッカー１人用　1台 ④キャビネット（書類用）　1台
	婦長事務室	①看護部事務室	①事務室仕様とすること。 ②OA対応とすること。 ③ミニキッチンセット及び洗面化粧台を設ける。	①事務用机（W1200）　4台 ②事務用椅子　4脚 ③OAデスク　2台 ④ミーティングテーブル　1台 ⑤キャビネット　１台
	事務長室	①事務長室	①事務室仕様とする。	①両袖机　1台 ②両袖用椅子　1脚 ③ワードローブ　1台 ④書架　１台 ⑤キャビネット（書類用）　1台
	事務局応接室	①庶務部門応接室	①庶務部門の応接対応として事務長室と、庶務課に隣接して設置することを想定している。	①応接セット　1セット ②キャビネット（書類用）　1台
	国際交流室	①交流医師事務室	①医局に隣接することを想定している。	①両袖机　1台 ②両袖用椅子　1脚 ③ワードローブ　1台 ④キャビネット（書類用）　1台
	SPC事務局	①SPC事務局室	①経営企画管理部門に隣接することを想定している。	
	会議室①	①小会議室	①会議室①～④は可動間仕切りで区分し、室面積を変化できる様とすること。 ②災害時には病室として使用することを想定している。	①会議用テーブル　６台 ②会議用椅子　１８脚
	会議室②	①中会議室	①同上。	①会議用テーブル　10台 ②会議用椅子　30脚
	会議室③	①中会議室	①同上。	①会議用テーブル　10台 ②会議用椅子　30脚
	会議室④	①大会議室	①同上。	①会議用テーブル　15台 ②会議用椅子　45脚
	講堂	①講演会、研修会等多人数の参集に対応する研修室	①講演会・研修会、内部医局会等100名以上が参集できる仕様とする。 ②災害時には病室として使用することを想定している。 ③室内に椅子、長机等収納スペースを設ける。	①会議用テーブル　40台 ②会議用椅子　120脚
	研修室	①研修医等の研修に使用する。		①会議用テーブル　6台 ②会議用椅子　18脚
	図書室	①医局図書室	①内部に事務スペース・OAスペースをカウンター等で仕切った区画を設ける仕様とする。	①平机　　4台 ②事務用机（W1200）　2台 ③事務用椅子　6脚
	ボランティア室	①ボランティアの休憩室	①地域医療連携室が管理するため隣接が望ましい。	①説明用椅子　10脚 ②更衣ロッカー　4人用3台
	事務部門更衣室	①事務部門更衣室。（男女別各1）		①更衣ロッカー　4人用11台
	共通倉庫	①事務部門共通倉庫	①可動棚を設けること。	
	倉庫	①永久保存文書等保管倉庫	①棚収納を設置すること。	①軽量棚
	職員トイレ	①職員トイレ		①汚物入れ
地域医療連携部門				
	地域医療連携室	①地域の開業医との効率的な機能分担や医療情報提供の連携を図り病診、病病連携と病院内の中核的機能を果たす。	①来客者の秘密保持確保。 ②OA対応とする。 ③来客スペースを設ける。	①事務用机（W1200）　4台 ②事務用椅子　4脚 ③応接セット　1セット ④キャビネット（書類用）　1台
	医療相談室	①各種医療相談を行う。	①相談者の秘密保持が出来る様にすること。 ②1室は喫煙対応とする。	①説明用テーブル　4台 ②説明用椅子　16脚
	相談待合い	①医療相談等待合いスペース。		①長椅子　2台
	医師会連携室	①地域医師会との連携を図るため使用する。	①事務室対応の仕様とする。 ②OA対応とする。	①事務用机（W1200）　2台 ②事務用椅子　2脚 ③応接セット　1セット ④キャビネット（書類用）　2台
	湯沸室	①地域医療連携部門の湯茶準備を行う。	①湯沸かし設備を設ける。	

諸室計画（諸室データーシート①）：物品管理部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
物品管理（例示）				
	中央倉庫			
	その他物品保管			
	事務室			
	備蓄倉庫	①災害用備蓄倉庫として使用する。	①簡易ベッド、応急用医療資器材セット、テント等の備蓄を行う。	①アングル棚

諸室計画（諸室データーシート①）：施設管理部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
設備関係（参考例示）				
	設備関係（参考例示）			
	電気設備室			
	機械設備室			
	中央監視室			
	施設関係（例示）			
	ベッドセンター			
	電話交換室			
	リネン関係諸室			
	清掃関係所室			
	警備関係室			
	更衣室			
	休憩室			

諸室計画（諸室データーシート①）：福利厚生部門

区分	名称	使用目的	設計水準	備　　考
	患者(市民)サービス関係			
	喫煙室	①喫煙スペース	①喫煙の考え方。 ・院内は全面禁煙としします。患者さん、来院者、職員も含め禁煙とします。喫煙場所は屋外に限定します。 ・喫煙場所として想定しているのは、玄関外スペース、屋上、低層部屋上等に限定することを想定しています。	
	公衆電話コーナー	①公衆電話スペース		
	総合案内 町の駅コーナー 図書コーナー	①総合案内スペースと兼用して市民・来院者への情報発信、医療関係の啓発図書をおく図書スペースを設置することを想定している。 ②近江八幡ケーブルネットワーク（CATV）等を利用した情報提供コ-ナーを設ける。		①提案による備品類の配置を想定している。
	院外内処方コーナー	①院外処方箋を薬局へFax等で送信する。		①事務用机（W1200）　2台 ②事務用椅子　2台 ③キャビネット　1台
	利便施設			
	売店・フラワーショップ			
	理容室・美容室			
	自販機			
	ATM			
	外来レストラン			
	外来レストラン			
	職場環境整備関係諸室			
	福利厚生室	①職員の福利厚生のため使用する。	①和室仕様とする。 ②茶道対応とする。	
	職員組合事務室	①職員組合事務局	①一般事務室仕様とする。	
	健康管理室	①職員健康管理を行う。	①健康器具を配置することを想定している。	
	職員食堂	①職員食堂	①50人程度が食事を行うスペースとする。 ②外来レストランと厨房等共用し、同一フロアーで間仕切りなどを設ける仕様等工夫をしてください。	

諸室計画（諸室データーシート②）：外来センター

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
Aブロック																															
	総合内科・消化器科・循環器科診察室	10	期間	定					壁型	3室のみ	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○		ﾓﾆﾀｰ	○	中央処置室用モニター。
	ブロック内共用																														
	処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	カンファレンスルーム	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	多目的室（問診等）	1	期間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○						○	
Bブロック																															
	小児科																														
	診察室	3	期間	定													ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○			○	
	処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	隔離診察室	1	期間	定	陰圧												ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○				○			○	
	隔離待合室兼隔離処置室	1	期間	定	陰圧				壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○	○	○				○	
	耳鼻咽喉科																														
	診察室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○			○	
	処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	聴力検査室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ	調光		保護		○	○							○	
	平衡感覚検査室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ			保護		○	○							○	
	泌尿器科																														
	診察室	2	期間	定													ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○			○	
	処置室	1	期間	定				○	壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	ＥＳＷＬ室	1	年間	定				○	壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○						○	
	ブロック内共用																														
	カンファレンスルーム	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	多目的室（問診等）	1	期間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○						○	
	プレイルーム兼授乳室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ							○						○	
Cブロック																															
	外科・整形外科																														
	診察室	7	期間	定					壁型	2室のみ	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○		ﾓﾆﾀｰ	○	中央処置室用モニター。
	外科処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	整形外科処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	整形外科ギブス室	1	期間	定				○	壁型	1			○				ﾛｰｶﾙ			保護			○							○	
	皮膚科																														
	診察室	2	期間	定													ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○			○	
	処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	レーザー処置室	1	期間	定				○	壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護		○	○	○						○	
	産婦人科																														
	診察室	2	期間	定				○									ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○			○	
	内診室	2	期間	定				○	壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○					○			○	
	超音波室	1	期間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○	○						○	
	NST室・妊検室	1	期間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○				○		個別BGM	
	ブロック内共用																														
	小手術室	1	期間	定				○	壁型	2	○	○	○	○			ﾛｰｶﾙ		GC	等電位、非接地	○	○	○	○				○		○	
	カンファレンスルーム	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	多目的室（問診等）	1	期間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○						○	

諸室計画（諸室データーシート①）：外来センター

区分	名　称	設定	空調環境						医療ガス設備								照明環境		電力供給		通信設備									摘要
		室数	空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	制御単位	特殊器具	特殊電力	医用接地非接地電源	CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	
Dブロック																														
	脳神経外科																													
	診察室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○			○	
	処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	眼科																													
	診察室	2	期間	定													ﾛｰｶﾙ	調光		保護	○	○	○	○			○			○	
	処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	暗室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ	調光		保護		○								○	
	レーザ室	1	期間	定				○	壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護		○	○							○	
	視能矯正室・検査室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○							○	
	神経内科																													
	診察室	2	期間	定													ﾛｰｶﾙ	調光		保護	○	○	○	○			○			○	
	処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○	○		○				○	
	精神科（心療内科）																													
	診察室	2	期間	定													ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○			○	
	ブロック内共用																													
	カンファレンスルーム	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	多目的室（問診等）	1	期間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○						○	
外来共用・全体共用																														
	中央処置室	1	期間	定					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ 1/2毎	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○	○	親	○		○	○	ナースコールはベッド毎。
	中央採血室	1	期間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○			○			○	
	産科指導室	1	期間	定		局所											ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					個別BGM	特殊排気の局所は調理実習台用。
	ブロック受付	4	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○			親				○	ナースコールは各ブロック毎。
	職員用トイレ	2		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	外来車椅子用トイレ	4		定													ﾘﾓｺﾝ									○				○	
	外来トイレ	4		定													ﾘﾓｺﾝ									○				○	
	スタッフ通路			定													ﾛｰｶﾙ				○	○		○						○	
	中待ち		期間	定													ﾘﾓｺﾝ							○	○				○	○	順番待表示設備。
	外待ち		期間	定					鍵付壁型	○	○			○			ﾘﾓｺﾝ							○	○				○	○	順番待表示設備。廊下部分およびその他のITVも含む

諸室計画（諸室データーシート①）：入院センター

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
混成系Ｂユニット（小児科、耳鼻科、ＮＩＣＵ＝４０床）																															
病室																															
	１床室	13	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	４床室	4	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護		○			○	○				○	
	重症個室（２床室）	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○			○	○				○	
	ＮＩＣＵ前室	1	期間	24													ﾛｰｶﾙ													○	
	ＮＩＣＵ（９床）	1	年間	24	感染、陽圧		10,000		ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ+ﾓｼﾞｭｰﾙ	3+6	○		○	○		○	ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○	○	○		○	○	○	１床は感染症対策。
	ＮＩＣＵ器材室	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ							○						○	パルスインバーター式殺菌装置の対応。
	ＮＩＣＵ授乳室・沐浴室	1	年間	随	陽圧		100,000										ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ						○		○				○	
	ＮＩＣＵ仮眠室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○			○		○	
	調乳室	1	年間	随	陽圧		10,000										ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ												○	
その他諸室																															
	スタッフステーション	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ		GC+UPS		○	○	○	○	○	親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	処置室	1	年間	24					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○			○				○	
	カンファレンス	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	器材室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	説明室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○		○					○	
	プレイルーム	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC				○	○	○	○				個別BGM	
	院内学級	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ						○	○	○	○				○	
	患者用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ					○				○				○	蓄尿設備の対応。
	洗面所	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ		GC			○	○	○	○					○	
混成系Ｃユニット（産科、婦人科、泌尿器科＝　５０床）																															
病室																															
	１床室	20	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	４床室	7	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護		○			○	○				○	
	重症室（２床室）	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○			○	○			○	○	
その他諸室																															
	スタッフステーション	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ		GC+UPS		○	○	○	○	○	親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	処置室	1	年間	24					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○			○				○	
	内診室	1	年間	24				○	壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○		○				○	
	カンファレンス	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	器材室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	説明室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○							○	
	患者用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ					○				○				○	
	洗面所	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ		GC			○	○	○	○			○		○	
分娩部門																															
	陣痛室・回復室	3	年間	随	陽圧		100,000		壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	等電位、非接地		○	○	○	○	○		○	○	個別BGM	
	分娩室	2	年間	随	陰陽可変		10,000-100,000		壁型+ﾘｰﾙ	2+2	○	○	○	○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○				○	○	○	
	患者用トイレ	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	新生児室	1	年間	24	陽圧		100,000		ﾓｼﾞｭｰﾙ	1	○		○	○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	保護		○	○	○		○		○	○	○	
	沐浴室	1	年間	随	陽圧		100,000										ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ						○		○				○	
	授乳室・調乳室	1	年間	随	陽圧		100,000										ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ				○	○	○		○		○		○	
	産科仮眠室	2	年間	24													ﾛｰｶﾙ						○		○					○	
フロアー共通																															
	サテライトファーマシー	1	年間	随	陽圧		100,000										ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○				○		○	
	デイルーム	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC				○	○	○	○				個別BGM	
	配膳室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ					○								○	
	汚物処理室兼廃棄物集積所	1		24				○									ﾛｰｶﾙ											○		○	
	シャワー室	3		定					SUS壁型	更衣毎	○			○			ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ													○	

諸室計画（諸室データーシート②）：入院センター

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
消化器系ユニット（消化器、外科・内科、感染症＝５４床）																															
病室																															
	１床室	16	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	１床室（感染症）	4	年間	24	感染	HEPA			収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地		○	○		○	○				○	第２種感染症指定対応病室
	４床室	8	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護		○			○	○				○	
	重症室（２床）	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○			○	○			○	○	
その他諸室																															
	スタッフステーション	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ		GC+UPS		○	○	○	○	○	親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	処置室	1	年間	24					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC+UPS	保護	○	○	○	○		○				○	
	カンファレンス	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	器材室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	説明室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○							○	
	患者用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ					○				○				○	蓄尿設備の対応。
	洗面所	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ						○	○				○		○	
混成系Ａユニット（一般内科、外科皮膚科、麻酔科、放射線科）																															
病室																															
	特別個室	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	１床室	9	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	１床室（無菌室）	6	年間	24	陽圧		10,000		収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	等電位、非接地		○	○		○	○			○	○	
	４床室	8	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護		○			○	○				○	
	重症室（２床室）	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○			○	○			○	○	
その他諸室																															
	スタッフステーション	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ		GC+UPS		○	○	○	○	○	親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	処置室	1	年間	24					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC+UPS	保護	○	○	○	○		○				○	
	カンファレンス	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	説明室	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○						○	
	器材室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	患者用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ					○				○				○	蓄尿設備の対応。
	洗面所	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ		GC			○	○	○	○			○		○	
フロア共通																															
	サテライトファーマシー	1	年間	随	陽圧		100,000										ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○				○		○	
	デイルーム	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC				○	○	○	○				個別BGM	
	配膳室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ					○						○		○	
	汚物処理室兼廃棄物集積所	1		24				○									ﾛｰｶﾙ													○	汚物処理洗浄装置の対応。
	大浴室	1		定					SUS壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ													○	
	職員トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ													○	

諸室計画（諸室データーシート②）：入院センター

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
循環器・呼吸器系ユニット（循環器、呼吸器、外科＝５０床）																															
病室																															
	特別個室	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	１床室	15	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	４床室	8	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護		○			○	○				○	
	重症室（２床室）	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○			○	○			○	○	
その他																															
	スタッフステーション	1	年間	24													ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS		○	○	○	○	○	親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	処置室	1	年間	24					壁型	1	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護	○	○	○							○	
	カンファレンス	1	年間	随													ﾘﾓｺﾝ				○	○	○	○	○					○	
	器材室	1		定													ﾘﾓｺﾝ													○	
	説明室	1	年間	随													ﾘﾓｺﾝ				○	○	○	○						○	
	患者用トイレ	2		24													ﾘﾓｺﾝ					○				○				○	蓄尿設備の対応。
	洗面所	1		24													ﾘﾓｺﾝ									○				○	
	車椅子用トイレ	2		24													ﾘﾓｺﾝ									○				○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾘﾓｺﾝ					○	○	○	○			○		○	
脳・神経系ユニット（脳外、神経内科、眼科＝５０床）																															
病室																															
	１床室	16	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	４床室	8	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護		○			○	○				○	
	重症室（２床室）	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○			○	○			○	○	
その他諸室																															
	スタッフステーション	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ		GC+UPS		○	○	○	○	○	親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	処置室	2	年間	24					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC+UPS	保護	○	○	○			○				○	
	カンファレンス	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	説明室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○							○	
	器材室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	介助浴室	1	年間	定					SUS壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ									○				○	
	患者用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ					○				○				○	蓄尿設備の対応。
	洗面所	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子用トイレ	3		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○			○		○	
フロア共通																															
	サテライトファーマシー	1	年間	随	陽圧		100,000										ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○				○		○	
	デイルーム	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC				○	○	○	○				個別BGM	
	配膳室	1		定													ﾛｰｶﾙ					○						○		○	
	汚物処理室兼廃棄物集積所	1		24				○									ﾛｰｶﾙ													○	汚物処理洗浄装置の対応。
	シャワー室	3		定					SUS壁型	更衣毎	○			○			ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ													○	

諸室計画（諸室データーシート②）：入院センター

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
整形外科系ユニット（整形外科＝５０床）																															
病室																															
	１床室	8	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	４床室	10	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護		○			○	○				○	
	重症室（２床室）	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○			○	○			○	○	
その他諸室																															
	スタッフステーション	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ		GC+UPS		○	○	○	○	○	親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	処置室	2	年間	24					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC+UPS	保護	○	○	○			○				○	
	カンファレンス	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	器材室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	説明室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○							○	
	介助浴室	1	年間	定					SUS壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ									○				○	
	患者用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ					○				○				○	蓄尿設備の対応。
	洗面所	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子用トイレ	3		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○			○		○	
回復期リハビリ系ユニット（回復期＝５０床）																															
病室																															
	１床室	8	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護		○	○		○	○				○	
	４床室	10	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護		○			○	○				○	
	重症室（２床室）	1	年間	24					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○			○	○			○	○	
その他諸室																															
	スタッフステーション	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ		GC+UPS		○	○	○	○	○	親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	処置室	1	年間	24					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC+UPS	保護	○	○	○			○				○	
	ＡＤＬ	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ				○	○	○			○				○	
	カンファレンス	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	説明室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○							○	
	器材室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	介助浴室	1	年間	定					SUS壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ									○				○	
	患者用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ					○				○				○	蓄尿設備の対応。
	洗面所	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子用トイレ	3		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○			○		○	
フロア共通																															
	サテライトファーマシー	1	年間	随	陽圧		100,000										ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○				○		○	
	デイルーム	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC				○	○	○	○				個別BGM	
	配膳室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ					○						○		○	
	汚物処理室兼廃棄物集積所	1		24				○									ﾛｰｶﾙ													○	汚物処理洗浄装置の対応。
	介助浴室	1	年間	定					SUS壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ													○	
各病棟共通																															
	廊下			定													ﾘﾓｺﾝ												○	○	
病棟共用（利便施設）																															
	洗濯室・コインランドリー			定													ﾛｰｶﾙ													○	

諸室計画（諸室データーシート②）：集中治療系ユニット

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
	ＩＣＵ・ＣＣＵ																														
	開放型（４床）	1	年間	24	陽圧		100,000		壁型+ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	等電位、非接地	○	○		○		○			○	個別BGM	
	個室（１床）	4	年間	24	陰陽可変		10,000-100,000		壁型+ﾎﾟｰﾄ	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	等電位、非接地	○	○		○		○			○	個別BGM	CCU（ICU仕様、感染症対応）
	器材室	1		24					天吊	1	○		○		○		ﾛｰｶﾙ					○					○		○	
	前室			24													ﾘﾓｺﾝ										○	○	○	
	ＨＣＵ																														
	総室型（４床）	2	年間	24	陽圧		100,000		壁型+ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	等電位、非接地	○	○		○		○			○	個別BGM	
	個室	4	年間	24	陰陽可変		100,000		壁型+ﾎﾟｰﾄ	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	等電位、非接地	○	○		○		○			○	個別BGM	
	器材室	1		24					天吊	1	○		○		○		ﾛｰｶﾙ					○					○		○	
	前室			24													ﾘﾓｺﾝ										○	○	○	
	中央監視・記録スペース	1	年間	24			100,000										ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS		○	○	○	○		親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	その他諸室																														
	面談室兼説明室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○			○		○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○			○		○	
	カンファレンスルーム	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○			○		○	
	仮眠室（医師）	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○			○		○	
	薬剤保管スペース	1		24													ﾛｰｶﾙ					○		○	○			○		○	
	検査室	1	年間	24	陽圧		100,000		天吊	1	○		○	○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC		○	○		○						○	
	汚物処理室廃棄物集積所	1		24				○									ﾛｰｶﾙ											○		○	汚物処理洗浄装置の対応。
	更衣室（女子用）	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ											○		○	
	更衣室（男子用）	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ											○		○	

諸室計画（諸室データーシート②）：集中当直室

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
	医師等当直室	10	年間	随																			○	○	○					○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
	職員用浴室	2		随													ﾛｰｶﾙ													○	
	US	2		随													ﾛｰｶﾙ													○	
	職員用トイレ	2		随													ﾛｰｶﾙ													○	
	洗面所	1		随													ﾛｰｶﾙ													○	

諸室計画（諸室データーシート②）：救急センター

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
	救急前室			随													ﾘﾓｺﾝ												○	○	
	診察室	4	年間	随					壁型	1	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護	○	○	○							○	
	処置室１	1	年間	随					ﾘｰﾙ	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○	○	○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○		○				○	
	処置室２	1	年間	随					ﾘｰﾙ	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○	○	○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○		○			○	○	隔離診察対応とする。
	除染室兼汚物処理室	1		随				○									ﾛｰｶﾙ		GC											○	
	検査室（緊急）	1	年間	随					壁型	1	○		○	○			ﾛｰｶﾙ		GC		○	○								○	
	受付（事務室）	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○		親			ﾓﾆﾀｰ	○	
	患者トイレ	2		随													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員トイレ	2		随													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子対応トイレ	1		随													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ						○	○	○					○	
	家族待合スペース			随													ﾛｰｶﾙ							○						○	

諸室計画（諸室データーシート②）：手術部門

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
清潔区域																															
	手術室１	1	年間	随	陽圧		100		ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ+ﾕﾆｯﾄ	2+2	○	○	○	○	○	○	ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○				○	○	個別BGM	
	手術室2	1	年間	随	陽圧		1,000		ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ+ﾕﾆｯﾄ	2+2	○	○	○	○	○	○	ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○				○	○	個別BGM	
	手術室3	1	年間	随	陽圧		1,000		ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ+ﾕﾆｯﾄ	1+2	○	○	○	○	○	○	ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○				○	○	個別BGM	
	手術室4	1	年間	随	陽圧		10,000		ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ+ﾕﾆｯﾄ	1+2	○	○	○	○	○	○	ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○				○	○	個別BGM	
	手術室5	1	年間	随	陽圧		10,000		ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ+ﾕﾆｯﾄ	1+2	○	○	○	○	○	○	ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○				○	○	個別BGM	
	手術室6	1	年間	随	陽圧		10,000		ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ+ﾕﾆｯﾄ	1+2	○	○	○	○	○	○	ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○				○	○	個別BGM	
	手術室7	1	年間	随	陰陽可変	HEPA	10,000		ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ+ﾕﾆｯﾄ	1+2	○	○	○	○	○	○	ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○				○	○	個別BGM	
	供給ホール	1	年間	24	陽圧		1,000		壁型	○	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	保護	○	○	○	○				○	○	○	
	外周廊下	1		随			100,000										ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC	保護	○	○	○	○				○	○	○	
	トランスファー	1	年間	随			100,000		壁型+天吊	1+1	○			○			ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ		保護	○	○	○	○				○	○	○	
	洗浄・滅菌室	1		随				○									ﾘﾓｺﾝ		GC			○	○	○				○		○	
	写真撮影コーナー	1		随													ﾘﾓｺﾝ		GC			○	○					○		○	
	滅菌器材室	1		随	陽圧		10,000										ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ	GC			○	○	○				○	○	○	
	薬剤保管庫・血液保管ｽﾍﾟｰｽ	1	年間	24			100,000										ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ	GC		○	○	○	○				○	○	○	
	機器・機材室	2		随					天吊	1	○		○		○		ﾘﾓｺﾝ				○	○	○	○				○	○	○	
	術中緊急検査コーナー	1	年間	随					壁型	1	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ	GC		○	○	○	○				○		○	
	汚物処理室兼廃棄物集積所	1		24				○									ﾘﾓｺﾝ													○	
	カンファレンスルーム	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○			○		○	
	職員休憩室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○			○		○	
	手術場管理室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○			○		○	
	職員トイレ	2		随													ﾛｰｶﾙ													○	
	更衣室	1		随													ﾛｰｶﾙ									○				○	
不潔区域																															
	受付及び中央管理室	1	年間	24													ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS		○	○	○	○		親	○	○	ﾓﾆﾀｰ	○	外部と受付のインターホンの設置。
日帰り手術																															
	診察室	2	期間	随					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○		○	○	○		○	
	処置室	1	期間	随			100,000		壁型	2	○		○	○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○		○		○		○	
	患者用トイレ	2		随													ﾛｰｶﾙ									○				○	
その他諸室																															
	更衣室１（女性）	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ							○				○		○	
	更衣室２（男性）	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ							○				○		○	
	患者家族説明室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○		○		○				○	
	家族控室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○		○		○			○	○	ITVは手術部門廊下等の警備用を想定。

諸室計画（諸室データーシート②）：中央材料滅菌部門

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
中央滅菌材料部門（参考例示）																															
不潔エリア																															
	機器洗浄室等																														
準清潔エリア																															
	組立室等																														
清潔エリア																															
	滅菌室等																														
	滅菌保管室等																														
その他諸室																															
	事務管理室	1																													
	器材（リネン）																														
	更衣室																														
	払い出し																														

諸室計画（諸室データーシート②）：腎臓・透析系ユニット、透析センター

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
透析センター（外来）																															
	治療室	2	年間	随	陽圧		100,000	○	壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ1/2毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ	ｸﾘｰﾝ，調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○		○	○					○	隔離対応スペース含む
	薬品・物品修理作業室	1		定					ﾘｰﾙ	1	○		○	○			ﾛｰｶﾙ		GC			○		○						○	
	更衣室	2	年間	定													ﾛｰｶﾙ							○						○	
	待合い兼食堂	1	年間	定													ﾘﾓｺﾝ						○	○	○					○	
	物品倉庫	1															ﾛｰｶﾙ						○							○	
	前室			定													ﾛｰｶﾙ		GC									○		○	
	患者トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
腎臓・透析系ユニット（病棟）																															
	１床室	4	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○		○	○			ﾘﾓｺﾝ		GC+UPS	保護	○	○	○		○	○				○	
	４床室	4	期間	定(24)					収納壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾘﾓｺﾝ		GC	保護		○			○	○				○	
	ディルーム	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾘﾓｺﾝ						○	○	○	○				個別BGM	
	前室			定(24)													ﾛｰｶﾙ		GC									○		○	
	配膳室	1		定													ﾛｰｶﾙ					○						○		○	
	洗面所	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
フロア共通																															
	ＣＡＰＤ室	1	年間	24			100,000		壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○	○	○				○	
	処置室	1	年間	24			100,000		壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC+UPS	等電位、非接地	○	○	○	○	○	○				○	
	スタッフステーション	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ		GC+UPS		○	○	○	○	○	親		○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	カンファレンス	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○			○		○	
	資料室	1		定													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
	機械室	1		随													ﾛｰｶﾙ		GC									○		○	
	シャワー室	2		定					SUS壁型	更衣毎	○			○			ﾛｰｶﾙ									○				○	
	患者トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ					○				○				○	蓄尿設備の対応。
	車椅子用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	汚物処理室兼廃棄物集積所	1		24				○									ﾛｰｶﾙ													○	汚物処理洗浄装置の対応。

諸室計画（諸室データーシート②）：ＭＥ管理部門

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
	ＭＥ機器集中管理室	1	年間	24				○	壁型	1	○		○	○	○		ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○			○		○	
	ＭＥ技士室	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ					○	○		○					○	

諸室計画（諸室データーシート②）：薬剤部門

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
	入院調剤・注射室	1	年間	24													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○				○		○	
	外来相談室	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ					○	○							○	
	ＤＩ・薬歴室	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○					○	
	処方箋保管室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	受付		年間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○			○	○		○	投薬表示設備
	湿性製剤室	1	年間	随	陽圧	局所	100,000	○									ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC			○	○	○						○	
	ＩＶＨ調整室・抗ガン室	1	年間	随	陰陽可変		10,000										ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC		○	○	○	○						○	
	乾性製剤室	1	年間	随		局所		○									ﾛｰｶﾙ		GC			○	○	○						○	
	カンファレンスルーム	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○			○		○	
	薬剤当直室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ						○		○			○		○	
	カートスペース			定													ﾛｰｶﾙ											○		○	
	職員トイレ	2		随													ﾛｰｶﾙ													○	

諸室計画（諸室データーシート②）：リハビリテーションセンター

区分	名　称	設定	空調環境						医療ガス設備								照明環境		電力供給		通信設備										摘要
		室数	空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	制御単位	特殊器具	特殊電力	医用接地非接地電源	CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	
	理学療法室	1	期間	随	床暖房				鍵付壁型	○	○			○			ﾘﾓｺﾝ			保護	○	○	○	○	○					個別BGM	個別BGMは音楽療法。
	物理療法室	1	期間	定	床暖房				鍵付壁型	○	○			○			ﾘﾓｺﾝ			保護	○	○	○		○					個別BGM	個別BGMは音楽療法。
	作業療法室	1	期間	随	床暖房				鍵付壁型	○	○			○			ﾘﾓｺﾝ			保護	○	○	○	○	○					個別BGM	個別BGMは音楽療法。
	ＡＤＬ室		期間	定	床暖房				鍵付壁型	○	○			○			ﾘﾓｺﾝ			保護		○	○	○	○	○			○	○	
	水治療室	1	期間	随	床暖房			○	SUS壁型	1	○			○			ﾘﾓｺﾝ	防水		保護			○			○			○	○	
	受付		期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○		親	○		ﾓﾆﾀｰ	○	部門入口ITV
	言語療法室	1	期間	定					鍵付壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光		保護	○	○	○	○		○			○	○	
	診察室	1	期間	定					鍵付壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○			○			○	
	相談室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ					○	○	○		○				○	
	スタッフルーム	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
	器具庫	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	評価室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○						○	
	記録保管室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ					○	○							○	
	患者更衣室	2	期間	定													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	患者トイレ	2		定													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子用トイレ	1		定													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員トイレ	2		定													ﾛｰｶﾙ													○	

諸室計画（諸室データーシート②）：検査部門

区分	名称	設定	空調環境						医療ガス設備								照明環境		電力供給		通信設備									摘要
		室数	空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	制御単位	特殊器具	特殊電力	医用接地非接地電源	CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	
検査受付																														
	検査総合受付室	1	年間	定		脱臭											ﾛｰｶﾙ		GC+UPS		○	○	○			親	○		ﾓﾆﾀｰ	○	
検体検査																														
	採尿前室			定													ﾛｰｶﾙ													
	採尿室(男)	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	採尿室(女)	1		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	車椅子用トイレ	2		24													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	検体検査室																														FMS方式による
	（一般検査室） （緊急検査室） （血液検査室） （免疫化学検査室）																														
	（保冷庫室）																														
	（冷凍庫室）																														
輸血管理部門																														
	輸血検査室	1	年間	随			100,000		天吊	1	○		○	○			ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○						○	
	自己血採血室	1	年間	随			100,000		壁型	1	○	○	○	○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護		○	○	○	○	○	○	○		○	
	血液照射室	1		随															GC		○	○		○						○	
細菌検査																														
	前室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ													○	
	細菌検査処理室	1	年間	随	陰圧	HEPA	ｴｱｰｶｰﾃﾝ	○									ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC		○	○	○	○	○					○	
	クリーンルーム	1	年間	随	陰圧	HEPA	ｴｱｰｶｰﾃﾝ	○									ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ	GC		○	○	○	○	○					○	
	培地作製室	1	年間	随	陰圧	HEPA	ｴｱｰｶｰﾃﾝ	○									ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ												○	
病理検査室																														
	受付・検体処理室	1	年間	随		脱臭		○									ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○						○	
	標本作製室	1	年間	随		脱臭		○									ﾛｰｶﾙ		GC				○	○						○	
	診断室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○						○	
	標本保管室	1	年間	随		脱臭		○									ﾛｰｶﾙ													○	
生理機能検査																														
	肺機能､眼底検査室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○			○	○		○	
	心電図室	1	年間	随					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	等電位	○	○	○				○			○	
	心エコー室	1	年間	随					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	等電位	○	○	○				○			○	
	前室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ										○			○	
	誘発１	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○							○	
	誘発２	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○							○	
	ﾄﾚｯﾄﾞﾐﾙ(ｴﾙｺﾞﾒｰﾀ)	1	年間	随					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○				○	○		○	
	脳波室	1	年間	随					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○					○	○	○	○	
	睡眠脳波室	1	年間	随					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○					○	○	○	○	低温空調の対応。
	脳波操作室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○				○	○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	データ庫	1		随													ﾛｰｶﾙ													○	
	待合い		期間	定													ﾘﾓｺﾝ							○	○				○	○	
管理部門など																														
	検査仮眠室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ						○		○		○			○	
	スタッフルーム	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
	職員トイレ	2		随													ﾛｰｶﾙ													○	
解剖､霊安室																														
	解剖前室	1		随													ﾛｰｶﾙ				○		○							○	
	更衣室	1		随													ﾛｰｶﾙ													○	
	器材､準備室	1	年間	随		脱臭 HEPA		○									ﾛｰｶﾙ						○							○	
	解剖室	1	年間	随		脱臭、 局所、 HEPA		○	壁型	1			○	○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS				○	○						○	特殊排気の解剖台等との接続。
	標本室	1	年間	24		脱臭 HEPA		○									ﾛｰｶﾙ													○	
	霊安室	1	年間	随		脱臭		○									ﾛｰｶﾙ	調光	GC					○						○	遺体保存冷蔵庫の設置と接続。

諸室計画（諸室データーシート②）：放射線部門

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
画像診断																															
	一般撮影室	3	年間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○		○					○	○	
	乳房撮影室	1	年間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○		○					○	○	
	Ｘ－ＴＶ室	2	年間	定				○	壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○		○					○	○	
	泌尿器科撮影室	1	年間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○		○					○	○	
	婦人科・断層撮影室	1	年間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○		○					○	○	
	血管撮影室																														
	撮影室①	1	年間	定	陽圧		10,000		壁型	1	○	○	○	○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○		○				○	○	個別BGM	
	撮影室②	1	年間	定	陽圧		10,000		壁型	1	○		○	○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ調光	GC+UPS	等電位、非接地	○	○		○				○	○	個別BGM	
	操作室	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○			○	○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	前室	1	年間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ											○		○	
	更衣室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ													○	
	機械室	2	年間	24				○									ﾛｰｶﾙ				○	○	○							○	
	ＣＴ室	2	年間	定					壁型	1	○	○ 1室	○	○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○	○			○		○	○	
	ＭＲＩ室	2	年間	定		ﾍﾘｳﾑ			SUS壁型	1	○	○ 1室	○	○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○	○			○		○	個別BGM	
	ＭＲＩ機械室	2	年間	24				○									ﾛｰｶﾙ		GC	保護											
	腹部超音波室	2	年間	定				○	壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ		GC	保護	○	○	○	○			○	○	○	○	
	骨塩測定室	1	年間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○					○		○	○	
	回復室	1	年間	定					壁型	1	○		○	○			ﾛｰｶﾙ	調光		保護		○				○	○		○	○	
	更衣室	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	薬品倉庫	1		24													ﾛｰｶﾙ													○	
	ポータブル置場	1		定													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○						○	
	操作廊下	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○	○	○	○	親	○	○	ﾓﾆﾀｰ	○	
	待合いスペース		期間	定													ﾘﾓｺﾝ							○	○				○	○	順番待表示設備
その他諸室																															
	読影室	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ	調光			○	○	○	○						個別BGM	
	暗室	1		定		局所											ﾛｰｶﾙ	調光										○		○	
	スタッフルーム	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○	親		○		○	
	更衣室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	放射線当直室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ						○		○					○	
	器材室	1		24	陽圧			○									ﾛｰｶﾙ													○	
	患者用トイレ	2		定													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	検査用トイレ	2		定													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	職員用トイレ	2		定													ﾛｰｶﾙ													○	
放射線治療																															
	ﾘﾆｱｱｸｾﾗﾚｰﾀｰ室	1	年間	定				○	壁型	1	○	○		○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○		○					○	○	
	シミュレータ室	1	年間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○		○					○	○	
	操作・治療計画室	1	年間	24				○									ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○	○	○		親			ﾓﾆﾀｰ	○	
	小線源治療室	1	年間	定	陽圧			○	壁型	1	○	○		○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○		○				○	○	○	
	診察室	1	年間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○			○			○	
	回復室	1	年間	定					壁型	1	○		○	○			ﾛｰｶﾙ	調光		保護						○			○	○	
	工作室	1	年間	定	陰圧												ﾛｰｶﾙ					○	○							○	
	患者トイレ	2		定													ﾛｰｶﾙ									○				○	
	待合いスペース		期間	定													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
核医学検査																															
	体外計測室	1	年間	定	陰圧	RI			壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	埋込ﾊﾟｰ	GC	保護	○	○	○	○					○	○	
	読影及びデータ管理室	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○	○	○						○	
	処置室	1	年間	定	陰圧	RI			天吊	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	埋込ﾊﾟｰ		保護	○	○	○	○						○	
	準備室	1	年間	定	陰圧	RI+ﾌｰﾄﾞ											ﾛｰｶﾙ	埋込ﾊﾟｰ			○	○		○		○				○	
	待合いスペース		期間	定													ﾛｰｶﾙ							○	○				○	○	順番待表示設備
	貯蔵室	1		定	陰圧	RI											ﾛｰｶﾙ														
	受付兼管理室	1	年間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○		親				○	
	廃棄物室	1		定		RI											ﾛｰｶﾙ														
	ＲＩ専用トイレ、シャワー	1		定		RI											ﾛｰｶﾙ													○	
	トレッドミル検査室	1	年間	定	陰圧	RI			天吊	1	○			○			ﾛｰｶﾙ					○	○	○		○				○	

諸室計画（諸室データーシート②）：内視鏡部門

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
	上部内視鏡室	1	年間	定				○	壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○	○		○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○	○			○	○		個別BGM	
	下部内視鏡室	1	年間	随				○	壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○	○		○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○	○			○	○		個別BGM	
	下部内視鏡室	1	年間	随				○	壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○	○		○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC	保護	○	○	○	○			○	○	○	個別BGM	
	X線操作室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○	○	○				○		○	
	治療内視鏡室	1	年間	随				○	壁型	1	○	○	○	○			ﾛｰｶﾙ	ｸﾘｰﾝ調光	GC	保護	○	○	○	○			○	○	○	個別BGM	
	上部用前処置室／更衣室	1	年間	定					天吊	1	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○	○	○	○	○	○	個別BGM	
	下部前処置室	1	年間	定				○	天吊	1	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護	○	○	○	○	○	○	○	○	○	個別BGM	
	リカバリールーム	1	年間	随					壁型	ﾍﾞｯﾄﾞ毎	○			○			ﾛｰｶﾙ			保護		○		○	○	○		○	○	個別BGM	
	職員休憩室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○			○		○	
	洗浄/消毒/器材室	1		随		局所		○	壁型	1			○				ﾛｰｶﾙ						○					○		○	
	待合い		年間	定													ﾘﾓｺﾝ							○	○			○		○	
	車椅子用トイレ	2		随													ﾛｰｶﾙ									○		○		○	

諸室計画（諸室データーシート②）：健診センター

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
	受付	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○			○			○	
	待合い（ラウンジ）	1	期間	定													ﾘﾓｺﾝ							○	○					○	
	診察室	2	期間	定					壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○			○			○	
	器材室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	エコー・心電図室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ	調光			○	○					○			○	
	更衣室（男）	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ													○	
	更衣室（女）	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ													○	
	相談室①	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○						○	
	相談室②	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○						○	
	事務室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○						○	

諸室計画（諸室データーシート②）：栄養部門

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
調理部門																															
	厨房																														
	食品庫																														
	冷蔵室（前）																														
	冷蔵室（後）																														
	冷凍室																														
	荷さばき室																														
	検収室																														
	下処理室																														
	洗浄室																														
	配膳車プール																														
	下膳エリア																														
	物品庫																														
	休憩室																														
	更衣室																														
	シャワー室																														
	トイレ																														
栄養管理																															
	栄養事務室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	個別栄養指導室	2	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	検食室、来客室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ						○	○	○					○	

諸室計画（諸室データーシート②）：管理部門

区分	名称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
医事部門																															
	受付	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○						○	
	医事事務室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ	ﾙｰﾊﾞｰ	GC		○	○	○	○	○					○	
	入退院管理室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○						○	
	湯沸室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
	職員トイレ	2		定													ﾛｰｶﾙ													○	
経営・情報部門																															
	経営情報企画室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ	ﾙｰﾊﾞｰ	GC+UPS		○	○	○	○	○					○	
	サーバー室		年間	24													ﾛｰｶﾙ	ﾙｰﾊﾞｰ	GC+UPS		○	○	○	○						○	
	病歴室	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ				○	○	○							○	
庶務部門																															
	庶務課	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○					○	
	印刷室兼書庫	1	期間	定				○									ﾛｰｶﾙ						○							○	
	湯沸室	1		定													ﾛｰｶﾙ													○	
管理部門																															
	更衣室（女子）	2	期間	随													ﾛｰｶﾙ						○							○	
	仮眠室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ						○		○					○	
	更衣室（男子）	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ						○							○	
	仮眠室	1	年間	随													ﾛｰｶﾙ						○		○					○	
	看護実習生更衣室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ						○							○	
	名誉院長室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	院長室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○					○	
	応接室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
	副院長室	3	期間	随													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○					○	
	医局	2	期間	随													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○					○	
	医局専用応接室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ						○	○	○					○	
	看護部長室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○					○	
	婦長事務室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	事務長室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ		GC		○	○	○	○	○					○	
	事務応接室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
	国際交流室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
	SPC事務局																														
	会議室①	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○	○	○	○					○	ＡＶ設備（音響、スクリーン他）
	会議室②	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○	○	○	○					○	ＡＶ設備（音響、スクリーン他）
	会議室③	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○	○	○	○					○	ＡＶ設備（音響、スクリーン他）
	会議室④	1	期間	随					鍵付壁型	1	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○	○	○	○					○	ＡＶ設備（100インチプロジェクター、音響、スクリーン他）
	講堂	1	期間	随					鍵付壁型	3	○			○			ﾛｰｶﾙ	調光	GC		○	○	○	○	○					○	ＡＶ設備（150インチハイビジョンプロジェクター、音響、スクリーン他）
	研修室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
	図書室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	ボランティア室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ					○	○	○	○					○	
	事務部門更衣室	2	期間	随													ﾛｰｶﾙ						○	○						○	
	共通倉庫	1		随													ﾛｰｶﾙ													○	
	倉庫	1		随													ﾛｰｶﾙ													○	
	職員トイレ	2		随													ﾛｰｶﾙ													○	
地域医療連携室																															
	地域医療連携室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	医療相談室	4	期間	随				○ 1室									ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	相談待合い		期間	随													ﾛｰｶﾙ													○	
	医師会連携室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	湯沸室	1		随													ﾛｰｶﾙ													○	

諸室計画（諸室データーシート②）：物品管理部門

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
	中央倉庫																														
	その他物品保管																														
	事務室																														
	備蓄倉庫	1		随													ﾛｰｶﾙ						○							○	

諸室計画（諸室データーシート②）：施設管理部門

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
設備関係																															
	電気設備室																														
	機械設備室																														
	中央監視室																														
施設関係																															
	ベッドセンター																														
	電話交換室																														
	リネン関係諸室																														
	清掃関係諸室																														
	警備関係諸室																														
	更衣室																														
	休憩室																														

諸室計画（諸室データーシート②）：福利厚生部門

区分	名　称	設定 室数	空調環境 空調方式	運転時間	特殊空調	特殊排気	空気清浄度	臭気・塵埃他	医療ガス設備 ｱｳﾄﾚｯﾄ	室毎数	酸素	笑気	空気	吸引	窒素	余剰	照明環境 制御単位	特殊器具	電力供給 特殊電力	医用接地非接地電源	通信設備 CPU	LAN	電話	時計	TV	ﾅｰｽｺｰﾙ	患者呼出	ｲﾝﾀｰﾎﾝ	ITV	ﾛｰｶﾙ放送	摘要
患者（市民）サービス関係																															
	公衆電話コーナー			定													ﾘﾓｺﾝ						○							○	
	総合案内、まちの駅コーナー、図書コーナー	1	期間	定													ﾘﾓｺﾝ				○	○	○	○	○					○	
	院外処方コーナー	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ					○	○							○	
利便施設																															
	売店・フラワーショップ																														
	理容室・美容室																														
	自販機																														
	ＡＴＭ																														
外来レストラン																															
	外来レストラン																														
職場環境整備関係諸室																															
	福利厚生室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	職員組合事務室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	健康管理室	1	期間	随													ﾛｰｶﾙ				○	○	○	○	○					○	
	職員食堂	1	期間	定													ﾛｰｶﾙ						○	○	○					○	

諸室計画（諸室データーシート③）：外来センター

| | | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：外来センター

| | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：入院センター

| | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：入院センター

| | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：入院センター

| | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：入院センター

| | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：集中治療系ユニット

| | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：手術部門

| | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：腎臓・透析系ユニット、透析センター

	室数	給排水衛生・ガス・蒸気						器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。）																																		備考
		給水	給湯	ガス	蒸気	滅菌水	特殊排水	和風大便器	洋風大便器	洋風大便器	身障者用洋風大便器	腰掛式幼児用大便器	小便器	幼児用小便器	洗面器	身障者用洗面器	医療用手洗器	手術用手洗器	洗面化粧台	洗面化粧台	洗髪洗面器	掃除流し	汚物流し	シングルレバー混合水栓	洗濯用混合水栓	シャワー水栓	バス水栓	ユニットシャワー	ユニットバス	2槽シンク	1槽シンク	ミニキッチン（上部収納付）	冷水器（2連式）	ベビーシート	鏡	沐浴槽	手洗乾燥機	洗濯流し	車椅子式入浴装置	仰臥位入浴装置	シャワー式入浴装置	リフト付入浴装置	
								手摺	手摺、洗浄便座	手摺（洗浄便座対応）	手摺、洗浄便座、自動洗浄		自動洗浄、は手摺付）（1カ所		自動水栓	手摺、自動水栓			鏡、収納付	鏡、収納付（壁面収納）					洗濯パン					医科用レバー混合水栓、収納付作業台	電磁コンロ、シングルレバー混合水栓	電磁コンロ、シングルレバー混合水栓				サーモスタット付混合水栓							
透析センター（外来）																																										
治療室	2	○	○				透析								4	1																	5		5							
薬品・物品修理作業室	1	○	○				透析																						○					○							
更衣室	2																																									
待合い兼食堂	1	○	○												○	○															○			○							
物品倉庫	1																																									
前室		○	○												○																		○		○							
患者トイレ	2	○	○						○				○		○	○						○	○										○		○							洋風大便器は洗浄便座を１基設置する。蓄尿設備装置の給水、排水の対応。
腎臓・透析系ユニット（病棟）																																										
１床室	4	○	○				透析		○							○																	○									
４床室	4	○	○				透析									○																											
ディルーム	1	○	○												○	○															○				○							
前室		○	○												○																		○		○							
配膳室	1	○	○																												○										
洗面所	1	○	○												○	○					○													○									
フロア共通																																										
ＣＡＰＤ室	1	○	○																										○						○							
処置室	1	○	○																				○						○						○							
スタッフステーション	1	○	○												○														○					○	○							
カンファレンス	1	○	○																○																○							
職員休憩室	1	○	○																○								○				○										
資料室	1	○	○																○																						
機械室	1	○	○				透析																						○													
シャワー室	2	○	○												○	○											○															
患者トイレ	2	○	○						○	○			○		○	○						○	○										○		○							洋風大便器は洗浄便座を１基設置する。蓄尿設備装置の給水、排水の対応。
車椅子用トイレ	2	○	○								○			○		○																	○	○	○							
職員トイレ	2	○	○						○						○																			○		○							
汚物処理室兼廃棄物集積所	1	○	○																				○		○				○								○						汚物処理洗浄装置の対応。

諸室計画（諸室データーシート③）：ＭＥ管理部門

ＭＥ機器集中管理室	1	○	○				感染								○														○		○											２槽シンク排水は感染排水処理系統とする。
ＭＥ技士室	1	○	○																								○															

諸室計画（諸室データーシート③）：薬剤部門

入院調剤・注射室	1	○	○			RO																							○													RO水手洗ユニット
外来相談室	1																																										
ＤＩ・薬歴室	1																																									
処方箋保管室	1																																									
受付																																										
湿性製剤室	1	○	○	○	○																								○													オートクレーブの接続及びステンレス排水パンの設置。
ＩＶＨ調整室・抗ガン室	1	○	○	○		RO													○										○							○						RO水手洗ユニット
乾性製剤室	1	○	○																										○													
カンファレンスルーム	1	○	○																												○												
薬剤当直室	1	○	○																○								○																
カートスペース																																											
職員トイレ	2	○	○						○						○																		○		○							

諸室計画（諸室データーシート③）：リハビリテーションセンター

理学療法室	1	○	○																										○							○							
物理療法室	1	○	○																											○													
作業療法室	1	○	○																				4						○		○			○		○							シングルレバー混合水栓はステンレス手洗い場に設置。
ＡＤＬ室		○	○																	○														○									模擬台所の給水、給湯、排水の対応。
水治療室	1	○	○																		○			○	○				○					○			○						水中トレッドミル装置の給水、給湯、排水の対応。床排水。
受付																																										
言語療法室	1	○	○																	○																○							
診察室	1	○	○				感染										○						○						○							○							汚物流し排水は感染排水処理系統とする。
相談室	1	○	○																	○															○							
スタッフルーム	1	○	○																	○															○							
器具庫	1																																										
評価室	1	○	○																											○							○						
記録保管室	1																																										
患者更衣室	2	○	○													○				○															○		○							
患者トイレ	2	○	○						○	○			○		○	○																			○		○							
車椅子用トイレ	1	○	○								○					○						○											○		○							
職員トイレ	2	○	○						○				○		○																					○							

諸室計画（諸室データーシート③）：検査部門

| | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：放射線部門

| | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：健診センター

| | | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：管理部門

| | | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

諸室計画（諸室データーシート③）：物品管理部門

| | | 室数 | 給排水衛生・ガス・蒸気 | | | | | | 器具類（各室の用途により大きさ・機能を選定し、器具の種類・機能等は参考とする。） | | | | | |

ア　病院施設整備業務

③ 施設整備に係る建設工事及びその関連業務

項目	内容
1. 目的	設計業務に基づき、安全に所定の工期内に病院の建設を完了すること。
2. 業務内容 (1) 対象工事	病院施設とする。 1) 病院本体（病院本館及びエネルギー部門を含む施設） 2) 付帯施設 植栽（庭園を含む）、駐車場、駐輪場、ヘリコプター緊急離発着場、塀、門扉、擁壁、構内道路、公告掲示板、サイン板・案内板、調整池他 （埋め戻し完了状態以降からの造成工事含む）
(2) 業務範囲	1) 着工前業務 a. 各種申請業務 施設要求性能書におけるア　病院施設整備業務の「⑩建設工事に伴う各種申請業務」「⑪補助金・許認可等申請業務」にて記載。 b. 近隣調整業務 施設要求性能書おけるア　病院施設整備業務の「⑧周辺影響調査・対策業務」及び「⑨電波障害調査・対策業務」に示す調査を実施し、建物及びその工事によって近隣に与える影響を調査・分析・検討し、適切な対策を講じる。 c. 近隣説明 本市との契約締結時・設計完了時・工事着手時において周辺自治会及び関係各機関に対して説明会を開催する。また、事業の進捗に係る重要な段階及び近隣調整が必要な場合についても同様とする。 2) 建設工事業務 ・選定事業者は各種関連法令及び工事の安全等に関する指針等を遵守し、病院の建設工事を実施する。 ・工事監理については施設要求性能書におけるア　病院施設整備業務の「⑦工事監理業務」に示す。 ・周辺影響対策業務に基づき、工事中の近隣対策を十分に行う。 ・工事完成時、選定事業者は、現場及び施工記録等により市の確認を受ける。 ・市が別途発注する医療機器、備品等の搬入・据付作業が選定事業者の業務に密接に関連する場合には、必要に応じて調整・協力を行うこと。
(3) 近隣対応	・選定事業者は自己の責任及び費用において、騒音・悪臭・光害・粉塵・交通渋滞その他建設工事が近隣の生活環境に与える影響を勘案し、合理的に要求される範囲の近隣対応を実施する。なお、かかる近隣対応について事業者は市に対して事前及び事後にその内容及び結果を報告する。

ア　病院施設整備業務

④備品（家具を含む。）等の調達・設置業務

項目	内容
1. 目的	設計･建設業務と一体化した調和のとれた選定を行うとともに、効率的な備品の調達及び設置を行う。
2. 業務内容	
(1) 対象備品	1)　諸室リストに基づく備品整備一覧表の備品 2)　選定事業者提案によるロビー、待合い、中待合い等の備品類
(2) 対象業務	1)　選定業務 対象備品の選定を行う。 2)　調達業務 選定した備品の調達を行う。 3)　設置業務 調達した備品を所定の場所に設置する。
3. 要求水準	1)　備品の選定にあたっては建築計画との整合、必要とされる機能等を考慮し、備品リストに示す備品と同等品を選定する。選定にあたっては病院と協議する。 2)　選定事業者提案によるロビー・待合い等に設置する備品類は、病院の快適性・高齢者への配慮等を考慮し、院内を効率よく導く動線としての機能・デザインをも持つものとする。選定及び配置に当たっては病院と協議決定するものとする。

備品整備一覧表

商品名	合計数量	イトーキ　品番	内田洋行　品番	岡村製作所　品番	コクヨ　品番
椅子（医師用）	100	KZ-435CG-W4E1	5-300-2801	CG45ZR-FM03	CR-G503F4K464-WNN
椅子（応接用）	12	PCK-311HW-	1-208-7504	L894RA-FN98	HE-8CN156YKJ57
椅子（会議用）	24	KLK-710AE-Z9	1-321-2070	8113SZ-F653	CK-810KC34NN
椅子（患者用）	160	KZ-472DL-W4	6-795-3031	CG15RF-P566	HP-CRG7F4VC64-W
椅子（事務用）	120	KKC-930BA-T4	5-309-1501	CG14GZ-FM36	CR-G128F4KA54-W
椅子（シャワー用）	10	PCK5023-11	2-720-0031	-	HE-ASH9020
椅子（デイルーム用）	260	PCK-2005FW-709	-	L897AZ-FP98	HE-9HC456YKRN
椅子（説明用）	90	KLK-710AE-Z9	1-321-2070	8113SZ-F653	CK-810KC34NN
椅子（ナース用）	100	PCK-0102DC-W4	-	CS19RS-FM16	CR-FGM120F4VD54-WN
椅子（補助用）	40	PCK-0105DC-W4	-	CG15RA-FM06	HP-CK4D
椅子（ミーティング用）	150	KKC-940BA-T4	1-876-3610	CG14GZ-FM36	CR-G120F4KA54-WN
椅子（両袖用）	4	KBL-3611-TI	5-312-2100	H121BH-X635	CR-G351LD
応接セット	15	VKシリーズセット	RP-21シリーズセット	ロビーIシリーズ	ルカラ（写真）
応接セット	1	RAシリーズ（写）	RS-16Nシリーズ（写）	S-42Xシリーズ	ロバート（写真）
応接セット	9	YKシリーズ（写）	RP-22シリーズ（写）	S-3Yシリーズ	ビストロ6・レザー（写真）
応接テーブル	6	PCKT-366HA	1-387-9255	L874RB-MB35	HE-8TN606Y
折りたたみテーブル	8	TFG-184K-T2	6-161-5200	8184NA-MB12	KT-PS710F1
会議用椅子	150	KKR-210AE-T4	1-321-2070	H180BZ-FR03	CK-810KC34NN
会議用テーブル①	30	TFG-184L-T2	6-161-5100	8184NX-MB12	KT-S710F1
会議用テーブル②	15	TFG-184K-T2	6-161-5200	8184NA-MB12	KT-PS710F1
キャビネット(書類用)	20	33WSETN-WE	1-300-2921	4642AZ-Z21他	S-335F1,S-335GF1,S-314BF4
下駄箱（12人用）	5	HDK-103AT-WE	1-302-0212	9345AN-Z13	SX-K3F1N
下駄箱（15人用）	3	HDK-1253AT-WE	1-302-0214	9345TP-Z13	SX-D44F1NN
下駄箱（16人用）	1	HDK-104AT-WE	1-302-0214	9345AM-Z13	SX-K4F1N
下駄箱（24人用）	6	HDK-1046AT-WE	1-302-0206	9345YJ-Z13	SX-46TF1N

商品名	合計数量	イトーキ　品番	内田洋行　品番	岡村製作所　品番	コクヨ　品番
コシラーク	4	PCV-1610DC-	-	-	-
昇降テーブル	1	DTC-162-WE	6-795-3501	L879AZ-MB35	MT-WSG189F1
書架①	6	HXE-189HX-H3	1-379-2066	D225BZ-W460	MG-7GKR
書架②	1	HXL-189HY	1-379-2066	DX03BA-MB37	MG-7BR
食堂用テーブル	65	PCT-0512HN	1-208-3947	L876ZD-ME15	HE-9HTF669WMYT81
処置テーブル	1	HPT-145BT-WE	-	L884CZPB903	HP-TDS1245AT1
説明テーブル	20	DRL-15E0-	6-163-1560	8176FR-M937	MT-53F1N
センターテーブル	6	TDB-1264E	1-387-9140	8339TA-M297	NT-390F1
ソファー（3連背付き）	10	PCL-0413CP	6-219-4304	2365CB-FS61	HE-9HCN356YKB
ソファベッド	5	LHC-13C	1-387-9902	8301SB-FS61	LW-C169KB
脱衣かご	84	LCJ-101	2-530-2104	L885SAPB951	HP-DK5N
机（医師用：1200ﾀｲﾌﾟ）	38	CZX-127KE	1-566-4470	DS21VM-MB51	SD-BSEER127LF11
机（医師用：2100ﾀｲﾌﾟ）	33	PCT-218DRR-W3W7-SET	-	L873GR-MB13	SD-MXNER167LF11
机（工作用）	2	ULT-181C	1-280-4210	93813B-X930	HE-8TB44YP20
机（事務用：1200ﾀｲﾌﾟ）	100	CZX-127CA-	1-566-4470	DS15VF-MB51	SD-BSE127LC3F11
ナーステーブル	10	HPT-C1829R	6-795-9999	-	HP-NTD1812YF1
長椅子①	40	PCLB-0133NDT	1-384-1351	2328DA-P644	CN-150VF64
長椅子②	7	LBT-5018F	1-384-1351	2302DZ-P88	CN-150VF65
平机	4	CZX-107HA-	1-566-2440	DS20VL-MB51	SD-BSE107LF11
ベッド	10	HKA-435SET	-	L860SCPB711	HE-BHE1KB
ミーティングテーブル	30	HPT-C1827R	6-795-2061	-	WD-CS1614F1N
リクライニングチェア	2	PCK-301AHW-SET	-	L897RA-FN22	HE-1HCNR257MG*(枕付)
両袖机	7	CXY-188BA-45	1-327-0021	D225DZ-W481	MG-7DDCR
ロッカー（更衣：1人用）	34	HDJ-0311SSN-	1-302-3412	4571GZ-Z21	LK-S1F1
ロッカー（更衣：3人用）	2	HDJ-0931SSN-	1-302-3432	4573GZ-Z21	LK-3F1
ロッカー（更衣：4人用）	130	HDJ-0941SSN-	1-302-3442	4574GZ-Z21	LK-4F1

商品名	合計数量	イトーキ　品番	内田洋行　品番	岡村製作所　品番	コクヨ　品番
ロッカー（手荷物用:12人用）	53	HDT-6334NL-	1-302-4134	9345KF-Z13	SLK-HT12DF1
ロッカー（手荷物用:18人用）	1	HDT-6336SL-	1-302-4136	9345RF-Z13	SLK-HT18LF1
ロッカー（手荷物用:9人用）	1	HDT-3333SL-	1-302-4133	9345RF-Z13	SLK-HY9LF1
ワークテーブル	2	JLD-167HF-	5-197-1060	DV20MG-MB74	SD-WSWT167F1
ワードローブ	7	HXE-186HW-H3	1-379-9999	D225AZ-W460	MG-7LRN
汚物入れ	必要数	PCA-TM016	2-530-5302	L946MA-S01	ｲﾚ-C20

ア　病院施設整備業務

⑤医療機器の調達・整備業務

項目	内容
1.目的	病院本体整備工事に伴い、事前整備が必要医療機器の設置を目的とする。
2.業務内容	
(1) 調達機器・設置部門及び台数	想定機器・設置部門及び台数については下記の設置医療機器一覧を参照するものとする。（詳細については、次頁より各項目毎の仕様を参以下の仕様は、あくまで想定であるため、異なる姿・形であっても性能や設置場所の面積等を考慮したうえで、充分に仕様の水準を満たすと判断されるものであれば、提案に委ねるものとする。ただし、最終的に購入する医療機器は選定事業者と病院が協議の上決定する。

設置医療機器一覧

設置対象機器	設置部門	台数
医療用手洗い装置	手術部　外周廊下等	1式
無影灯(1)	手術部　手術室1	1台
無影灯(2)	手術部　手術室2､3	2台
無影灯(3)	手術部　手術室4～7	4台
無影灯(4)	産科部門　分娩室1､2	2台
無影灯(5)	外来センター　Cブロック　小手術室	1台
無影灯(6)	救急センター　処置室	2台
手術台（架台のみ）	手術部　手術室1～3	1式
天井吊式懸垂型ｻﾎﾟｰﾄｼｽﾃﾑ(1)	手術部　手術室1～7	7台
天井吊式懸垂型ｻﾎﾟｰﾄｼｽﾃﾑ(2)	手術部　手術室1～3	3台
天井吊式ｻﾎﾟｰﾄｼｽﾃﾑ(1)	集中治療部門　ICU､CCU	8台
天井吊式ｻﾎﾟｰﾄｼｽﾃﾑ(2)	病棟部門　混成系Bユニット　NICU	3台
輸液・ｼﾘﾝｼﾞﾎﾟﾝﾌﾟ搭載装置	集中治療部門　HCU	12台
ホルマリン消毒装置	病棟部門　混成系Bユニット　NICU	1台
汚物処理洗浄装置	病棟部門・集中治療部門・透析ｾﾝﾀｰ　各汚物処理室	6台
蓄尿測定洗浄装置	病棟部門　透析センター	9式
高圧蒸気滅菌装置及び移設品	手術部　洗浄・滅菌室	1台
透析装置	透析センター　フロア共通　機械室	1式
湿性製剤室機器類	薬剤部　湿性製剤室	1式
IVH調整室機器類	薬剤部　IVH調整室	1式
車椅子式入浴装置	病棟部門　整形外科ユニット　介助浴室	1台
仰臥位入浴装置	病棟部門　脳･神経系ﾕﾆｯﾄ　介助浴室	1台
シャワー式入浴装置	病棟部門　回復リハビリ系ﾕﾆｯﾄ　介助浴室	1台
リフト付入浴装置	病棟部門　フロア共通　介助浴室	1台

付記：設置部門および台数については、ア　病院施設整備業務　②施設整備に係る設計（基本設計・実施設計）及びその関連業務　9.諸室計画（諸室リスト）に基づく想定である。
選定事業者側の設計提案による台数変更は提案として受け入れます。ただし、本調達整備業務に係る医療機器は病院と選定事業者が協議した上で決定するものとする。

医療用手洗い装置

設置部門	手術部門
設置場所	手術部外周廊下
設置台数	5人用×2台
	3人用×1台
用途	手術室への入室時における手、肘の洗浄に使用
仕様	ステンレスシンクユニットタイプ
処理水量	最大 4L/min　以上　（1蛇口当たり）
使用時温度	使用時の温度は35～40℃の範囲であること
作動方式	ノータッチセンサー方式
処理水性状	除菌・パイロジェンフリー水
その他	本装置までのRO水の供給は、中央材料滅菌部門にて提案をうける洗浄、滅菌装置に使用されるRO水と同じものとする。よってRO水製造装置は中央材料滅菌部門で用意するものとし、本装置までの供給接続も充分考慮する。
付属品	○ソープコンテナ（作動方式：ノータッチセンサー方式） ○ブラシケース（作動方式：ノータッチセンサー方式） ○ミキシングバルブ ○蛍光灯 ○標準付属品一式
備考	○逆汚染防止機能を具備していること。 ○水処理機器は蛇口毎に設けていること。 ○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

無影灯（1）

設置部門	手術部門
設置場所	手術室1（クラス100）
設置台数	1式
用途	手術室内での手術時における直接局部照明
仕様	アーム式無影灯
機器構成	壁面操作部、支持機構部、照明灯本体（主灯）、照明灯本体（副灯）、TVアーム
灯体形状	手術室内の層流を乱さぬよう円形流線型であり、多灯式とする
照度	主灯130,000Lux、副灯90,000Lux以上とする
灯体回転半径	主副とも2,000㎜以上とする
灯体上下動範囲	主副とも800㎜以上とする
焦点調整	2箇所以上で行えることとし、消毒可能なハンドルが装備されていることとする
焦点深度	500㎜以上とする
使用電球	ハロゲン球を使用することとする
電球色温度	最高照度時4,000°K以上とする
ＴＶアーム	術中での映像配信を行うため、TVアームを装備とする
その他	○照明灯本体（主灯）（副灯）はBCR手術室の設計を考慮し、それぞれ独立のアームが独立の箇所より整備されていることとし、TVアームは照明灯本体（副灯）に付随するものとする
備考	○本装置はBCR手術室での使用に有効に対応できる仕様とする ○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

無影灯（2）

設置部門	手術部門
設置場所	手術室2､3（クラス1,000）
設置台数	1式×2室
用途	手術室内での手術時における直接局部照明
仕様	アーム式無影灯
機器構成	壁面操作部、支持機構部、照明灯本体（主灯＋副灯）、TVアーム
灯体形状	手術室内の層流を乱さぬよう円形流面型とする
照度	主灯120,000Lux、副灯90,000Lux以上とする
灯体回転半径	主副とも1,500㎜以上とする
灯体上下動範囲	主副とも800㎜以上とする
焦点調整	焦点調整が行えることとし、消毒可能なハンドルが装備されていることとする
焦点深度	500㎜以上とする
使用電球	ハロゲン球を使用することとし、電球交換は灯体上部にてできること
電球色温度	最高照度時3,800°K以上とする
ＴＶアーム	術中での映像配信を行うため、TVアームを装備とする
その他	○照明灯本体（主灯＋副灯）のアームは天井面一箇所での取り付けとする ○TVアームは照明灯本体の副灯側及びその近くに取り付けるものとする ○光源が灯体中心部にあり、全面反射方式であること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

無影灯（3）

設置部門	手術部門
設置場所	手術室4～7（クラス10,000）
設置台数	1式×4室
用途	手術室内での手術時における直接局部照明
仕様	アーム式無影灯
機器構成	壁面操作部、支持機構部、照明灯本体（主灯＋副灯）
灯体形状	手術室内の層流を乱さぬよう円形流面型とする
照度	主灯120,000Lux、副灯90,000Lux以上とする
灯体回転半径	主副とも1,500㎜以上とする
灯体上下動範囲	主副とも800㎜以上とする
焦点調整	焦点調整が行えることとし、消毒可能なハンドルが装備されていることとする
焦点深度	500㎜以上とする
使用電球	ハロゲン球を使用することとし、電球交換は灯体上部にてできること
電球色温度	最高照度時3,800°K以上とする
その他	○照明灯本体（主灯＋副灯）のアームは天井面一箇所での取り付けとする ○光源が灯体中心部にあり、全面反射方式であること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

無影灯（4）

設置部門	産科部門
設置場所	分娩室1､2（クラス10,000）
設置台数	1台×2室
用途	分娩室内での分娩時における直接局部照明
仕様	アーム式無影灯
機器構成	壁面操作部、支持機構部、照明灯本体（主灯）
灯体形状	分娩室内の層流を乱さぬよう円形流面型とする
照度	90,000Lux以上とし、電球4灯以上とする
灯体回転半径	1,500㎜以上とする
灯体上下動範囲	1,200㎜以上とする
焦点調整	焦点調整が行えることとし、消毒可能なハンドルが装備されていることとする
焦点深度	500㎜以上とする
使用電球	ハロゲン球を使用することとする
電球色温度	最高照度時4,000°K以上とする
その他	○光源が灯体中心部にあり、全面反射方式であること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

無影灯（5）

設置部門	外来センター　Cブロック
設置場所	小手術室
設置台数	1台
用途	小手術室内での外科系処置時における直接局部照明
仕様	アーム式無影灯
機器構成	壁面操作部、支持機構部、照明灯本体（主灯）
灯体形状	小手術室内の層流を乱さぬよう円形流面型とする
照度	90,000Lux以上とし、電球4灯以上とする
灯体回転半径	1,500㎜以上とする
灯体上下動範囲	1,200㎜以上とする
焦点調整	焦点調整が行えることとし、消毒可能なハンドルが装備されていることとする
焦点深度	500㎜以上とする
使用電球	ハロゲン球を使用することとする
電球色温度	最高照度時4,000°K以上とする
その他	○光源が灯体中心部にあり、全面反射方式であること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

無影灯（6）

設置部門	救急センター
設置場所	処置室
設置台数	1台×2室
用途	処置室内での処置時における直接局部照明
仕様	アーム式無影灯
機器構成	壁面操作部、支持機構部、照明灯本体（主灯）
灯体形状	円形流面型とする
照度	90,000Lux以上とし、電球4灯以上とする
灯体回転半径	1,500㎜以上とする
灯体上下動範囲	1,200㎜以上とする
焦点調整	焦点調整が行えることとし、消毒可能なハンドルが装備されていることとする
焦点深度	500㎜以上とする
使用電球	ハロゲン球を使用することとする
電球色温度	最高照度時4,000°K以上とする
その他	○光源が灯体中心部にあり、全面反射方式であること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

手術台（架台のみ）

設置部門	手術部門
設置場所	手術室1～3
設置台数	1台×3室
用途	手術を行うための手術台として使用
仕様	埋込型手術台
提案依頼事項	○手術室1～3は埋込型の手術台とし、手術室4～7は移動型とする
	○今回は埋込型の手術台が設置されることを考慮し、設計を行うことを前提とする
	○ただし、手術室全体を考慮し、今後調達対象となる手術台の仕様についても提案を求めるものとする
その他	○埋込型手術台の設置レイアウト、仕様等については、選定事業者決定後の基本・実施設計段階において病院側と協議するものとする
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

天井吊式懸垂型サポートシステム（1）

設置部門	手術部門
設置場所	手術室1～7
設置台数	各室×1台　計7台
用途	天井からの吊式型で各種治療機器・監視用機器類を搭載でき、任意の位置に回転
	移動させることにより手術室内の治療空間を機能的に利用することができるもの
仕様	アーム式天井吊式懸垂型装置
機器構成	支持機構部、装置本体（アウトレットユニット、機器搭載架台1ﾃｰﾌﾞﾙ）
機器形状	天井面支持部よりのアームは、回転移動・操作性を考慮し、2アーム型とする
回転角度	本体の回転角度は最大で約300°程度とする
機器許容搭載荷重	200kg程度とする
アウトレット	本体に供給用のボックスを設けており、医療ガスアウトレット・圧力計・電源・
	通信アウトレット・医療接地を装備していること
ブレーキシステム	アーム移動の操作性を考慮し、エアーブレーキシステム対応とする
将来対応	情報機器系の配線増設ができるよう、アーム内に空配管を装備していること
	搭載機器の増設を考慮し、機器搭載架台が追加取り付けできる対応であり、複数
	台機器搭載可能である使用であること
	増設の際、コンセントも装備された仕様のものであること
その他	
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

天井吊式懸垂型サポートシステム(2)

設置部門	手術部門
設置場所	手術室1～3
設置台数	手術室1～3室×1台　計3台
用途	天井からの吊式型で各種治療機器・監視用機器類を搭載でき、任意の位置に回転
	移動させることにより手術室内の治療空間を機能的に利用することができるもの
仕様	アーム式天井吊式懸垂型装置
機器構成	支持機構部、装置本体（アウトレットユニット、機器搭載架台1ﾃｰﾌﾞﾙ）
機器形状	天井面支持部よりのアームは、回転移動・操作性を考慮し、2アーム型とする
回転角度	本体の回転角度は最大で約300°程度とする
機器許容搭載荷重	70kg程度とする
アウトレット	本体に供給用のボックスを設けており、医療ガスアウトレット・圧力計・電源・
	通信アウトレット・医療接地を装備していること
ブレーキシステム	アーム移動の操作性を考慮し、エアーブレーキシステム対応とする
将来対応	情報機器系の配線増設ができるよう、アーム内に空配管を装備していること
	搭載機器の増設を考慮し、機器搭載架台が追加取り付けできる対応であり、複数
	台機器搭載可能である使用であること
	増設の際、コンセントも装備された仕様のものであること
	手術室4～7については、将来設置を念頭に架台の事前準備を考慮すること
その他	
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

天井吊式サポートシステム（1）

設置部門	集中治療部門
設置場所	ICU、CCU
設置台数	8台
用途	天井からの吊式型で治療・監視用機器類及び輸液ポンプ等を搭載でき、任意の位置に回転移動させることにより集中治療室内の治療空間を機能的に利用することができるもの
仕様	アーム式天井吊式装置
機器構成	支持機構部、装置本体（治療・監視用機器搭載ユニット、輸液ﾎﾟﾝﾌﾟ等搭載ユニット）
機器形状	天井面支持部よりのアームは、人工呼吸器等を搭載するアームと、輸液ポンプ等を搭載するアームで構成される2軸型のものであること また、それぞれのアームは任意の位置に回転移動させるため、患者のベッドに当たらないように考慮し、ダブルアーム型とする
回転角度	本体の回転角度は最大で約300°程度とする
機器許容搭載荷重	1つ目のアームは170～200kg、2つ目のアームは70～100kg程度とする
アウトレット	アームに医療ガスアウトレット・弱電用アウトレット・電源及び医療用接地を装備していること
ブレーキシステム	アーム移動の操作性を考慮し、エアーブレーキシステム対応とする
将来対応	情報機器系の配線増設ができるよう、アーム内に空配管を装備していること
その他	
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

天井吊式サポートシステム（2）

設置部門	病棟部門　混成系Bユニット
設置場所	NICU
設置台数	3台
用途	天井からの吊式型で治療・監視用機器類及び輸液ポンプ等を搭載でき、任意の位置に回転移動させることによりNICU内の治療空間を機能的に利用することができるもの
仕様	アーム式天井吊式装置
機器構成	支持機構部、装置本体（治療・監視用機器・輸液ポンプ等搭載ユニット）
機器形状	天井面支持部よりのアームは、治療・監視用機器・輸液ポンプ等を搭載でき、1アームの仕様のものであること また、アームは任意の位置に回転移動させるため、患者のベッドに当たらないように考慮する
回転角度	本体の回転角度は最大で約300°程度とする
機器許容搭載荷重	1つ目のアームは170～200kg、2つ目のアームは70～100kg程度とする
アウトレット	アームに医療ガスアウトレット・弱電用アウトレット・電源及び医療用接地を装備していること
ブレーキシステム	アーム移動の操作性を考慮し、エアーブレーキシステム対応とする
将来対応	情報機器系の配線増設ができるよう、アーム内に空配管を装備していること
その他	○本発注における台数は3台であるが、将来対応として、残り3台分の設置が可能なように天井面に架台を事前準備しておくこと（今回、残り3台分については天井面よりのモジュールアウトレットを準備予定）
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

輸液・シリンジポンプ搭載装置

設置部門	集中治療部門
設置場所	HCU
設置台数	12台
用途	HCUのベッド上天井面に位置し、複数個の輸液・シリンジポンプを吊り下げる
仕様	直線型輸液・シリンジポンプ搭載装置
機器構成	支持機構部、水平レール、吊り下げハンガーユニット
機器形状	輸液・シリンジポンプを取り付けられる吊下げ棒を4本以上有しており、HCUの ベッド上を直線移動できるものであること
移動範囲	本体レールの移動範囲は1,400～1,900㎜程度の範囲とする
機器許容搭載荷重	40～60kg程度とする
アウトレット	本体には電源及び医療用接地を装備していること
その他	
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

ホルマリン消毒装置

設置部門	病棟部門　混成系Bユニット
設置場所	NICU
設置台数	１台
用途	保育器および周辺機器
仕様	循環式ホルマリンガス無消毒脱臭装置
機器形状	保育器および周辺機器が消毒できる形状でコンパクトなもの
処理時間	約3～4時間程度
環境対応	処理後の対象機器へのホルマリンガスの残留、臭気がないこと
設置場所	NICU器材室内に作業動線を考慮し、適切に設置すること
その他	○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

汚物処理洗浄装置

設置部門	病棟部門、集中治療部門、透析センター
設置場所	各汚物処理室兼廃棄物集積所
設置台数	計6台
用途	患者に使用したベッドパン、膿盆、吸引瓶等の洗浄を自動的に行う
仕様	電気式蒸気発生消毒装置
機器構成	装置本体、必要専用ラック
対象処理物品	ベッドパン、蓄尿瓶、膿盆、汚物バケツ、耐熱性プラスチック製品、鋼製小物等
洗浄設定温度	通常水温～95℃
プログラム	処理対象機器に応じて、予め温度・処理時間を設定できるプログラムを有すること
エラー表示	プログラム通り実行されなかったり、トラブルが生じたときにはエラー表示で確認できること
洗浄槽(チャンバー)	一体形成型のステンレススチールであること
扉開閉	対象機器洗浄の際は、ワンタッチでおこなえること
その他	○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

蓄尿測定洗浄装置

設置部門	病棟部門　透析センター
設置場所	各使用部署患者用トイレ
設置台数	各診療ユニット×9台　計9台
用途	患者の尿量測定
仕様	測定ごとの尿量・尿比重及び洗浄機能を有する
測定人数	30名以上
測定項目	1回毎の尿量・尿比重、1回毎の測定時刻、24時間の総尿量・平均比重・尿回数
測定範囲	尿量：20～3000ml程度
	尿比重：1.000～1.080程度
測定精度	尿量：20ml以上100ml以下の範囲、±5%以下
	尿量：100ml以上3000ml以下の範囲、±1%以下
	尿比重：±0.003以下
操作方法	患者名・操作案内はバックライト液晶表示、患者識別はタッチパネル方式
操作指示	音声案内機能であること
エラー表示	患者氏名、患者ID、操作案内、装置異常、誤作動等の発生時にはわかりやすい
	エラーメッセージ及び警告音の機能を有すること
洗浄	一測定毎に機器内の薬液洗浄が自動的にでき、臭気対策も施されていること
その他	○本装置は、病棟部門スタッフステーションに設置予定の看護支援システムとネットワークで接続され、病院内医療情報システムデータベースへ蓄尿情報をアップロードする機能を有していること ○各トイレへの設置に関しては、この装置の使用状態を充分に検討し設計レイアウトを考慮すること ○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

高圧蒸気滅菌装置及び移設品

設置部門	手術部門
設置場所	洗浄・滅菌室
設置台数	1台
用途	手術に使用する鋼製小物の滅菌
仕様	電気式蒸気発生装置
滅菌対象物	手術部において緊急滅菌を要する鋼製小物等
仕様温度範囲	115～121℃程度の範囲
ドア構造	自動開閉方式
外形寸法	設置場所面積を考慮し、提案に委ねる
RO水供給	本装置にRO水を供給し、クリーンな蒸気発生を行うものとする
	本装置までのRO水の供給は、中央材料滅菌部門にて提案をうける洗浄、滅菌
	装置に使用されるRO水と同じものとする
	RO水製造装置は中央滅菌部門で用意するものとし、本装置までの供給接続も
	充分考慮する
移設品	洗浄・滅菌室には、現施設にて使用されているウォッシャーディスインフェク
	ター（ミーレ社製）を移設するものとする
	移設品についての設備機器等の仕様については、現施設に納入されたメーカー
	と事前に打ち合わせを行って頂くこととし、あわせてRO水の接続も考慮すること
	RO水の供給に関しては、先の高圧蒸気滅菌装置と同様とする
その他	○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

透析装置

設置部門	透析センター
設置場所	フロア共通　機械室
設置対象機器	逆浸透法精製水製造装置　一式
	多人数用透析液供給装置　一式
	A粉末自動溶解装置　　一式
	B粉末自動溶解装置　　一式
用途	人工透析を行うに必要な透析液の製造、供給
逆浸透法精製水製造装置	○透析装置100台分対応の容量であり、製造装置としては複数台対応とすること
	○RO膜はアミロイド系若しくはポリアミド系の複合膜を用いていること
	○クリーン化対応であること
	○ROポンプは連続運転仕様で、RO水循環にてｴﾝﾄﾞﾄｷｼﾝの繁殖を抑制はかること
	○停滞水の自動排水を行い、原水状態を良好に保ち、透析終了時にはタンク内の完全排水機能を有すること
	○各種ガイダンスがデジタル表示されること
	○自己診断機能を有すること
多人数用透析液供給装置	○透析患者監視装置40台×2式分の対応であること
	○万一、故障が発生した場合でも対応できるような2系統のﾐｷｼﾝｸﾞ部を有すること
	○自己診断機能を有し、エラー履歴をメモリーできる機構を有すること
	○タッチパネル式で装置の運転状況等が把握できる機構を有すること
	○異常発生時にその異常内容に対するトラブルシューティング表示ができること
A粉末自動溶解装置	○透析患者監視装置40台×2式分の対応であること
	○濃度調整誤差が±1.5%以内であること
	○上ブタも含め装置内水系の全ての洗浄が可能であること
	○タッチパネル式で装置の運転状況等が把握できる機構を有すること
	○複数社の粉末に対応できること
B粉末自動溶解装置	○透析患者監視装置40台×2式分の対応であること
	○濃度調整誤差が±2.0%以内であること
	○多人数用透析液供給装置への送液ラインが連続洗浄可能であること
	○タッチパネル式で装置の運転状況等が把握できる機構を有すること
	○複数社の粉末に対応できること
その他	○設置対象機器から透析患者監視装置までの配管等設備についても充分に考慮すること ○機械室内の各機器は使用、トラブル等の対応を考慮し、同一メーカーが望ましい
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

湿性製剤室機器類

設置部門	薬剤部門
設置場所	湿性製剤室
設置対象機器	RO水製造装置　　1台
	高圧蒸気滅菌装置　1台
RO水製造装置	○処理水量は250～300ﾘｯﾄﾙ／時間程度とする
	○水槽部容量は100ﾘｯﾄﾙ以上とする
	○供給先としては無菌製剤室前室の手洗い装置、入院調剤室内の水剤部門とする
高圧蒸気滅菌装置	○滅菌対象物は一般器具、薬液、ポリ容器とし、将来的にはシール・キャッピン
	グされた薬袋も考慮する
	○使用温度範囲は72～120℃程度の範囲内とする
	○使用圧力は2.0kg/ｃ㎡以下とする
	○短時間で滅菌可能な仕様とする（2時間程度）
	○缶内収納容量としては、滅菌瓶500ml　40本、1000ml　15本以上程度のもの
その他	○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

IVH調整室機器類

設置部門	薬剤部門
設置場所	IVH調製室
設置対象機器	エアーシャワーユニット　1台
	薬液洗浄パスボックス　1台
	保冷パスボックス　1台
	パスボックス　1台
	安全キャビネット　1台
	クリーンベンチ　1台
用途	IVH薬剤の調剤等に使用
ｴｱｰｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ	○無菌製剤室への入退室時において使用
薬液洗浄ﾊﾟｽﾎﾞｯｸｽ	○室外から無菌製剤室への受け渡しに使用
	○一定時間薬液に噴霧消毒をおこない、無菌エアーにて乾燥後、搬入できる機能を有すること
	○最大40～60程度の輸液が一度に収納できること
保冷ﾊﾟｽﾎﾞｯｸｽ	○室内外からの受け渡しに使用
	○保冷が必要な物品の冷蔵保存機能も兼ね備える
	○最大80～100袋程度のIVH調剤が収納できること
ﾊﾟｽﾎﾞｯｸｽ	○調合された輸液等の一時保管及び取り出しに使用
	○インターロック機構を有すること
安全キャビネット	○バイオハザード対策用として設置すること
	○低度及び中程度の危険性を持つ微生物・病原体等の取り扱いを行うことを前提としたキャビネットの仕様であり、(社）日本空気清浄協会認定のクラスⅠ.に相当するもの
	○外形寸法については、提案に委ねるが、横幅は1,800～2,000㎜程度が望ましい
クリーンベンチ	○HEPAフィルターによる集塵機能を有しており、清浄度クラス１００であること
	○外形寸法については、提案に委ね、室内の面積にもよるが、横幅は1,300㎜程度1,900㎜程度の２種類が望ましい
その他	○基本的に各機器の外形寸法・仕様・構成については建築設計との関係を考慮し事業者側の提案に委ねることとする ○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

車椅子式入浴装置

設置部門	病棟部門　整形外科ユニット
設置場所	介助浴室
設置台数	1台
用途	車椅子使用の患者さんへの入浴を快適に行える装置であること
仕様	搬送車のまま直接入浴できるもの
機器構成	浴槽本体、貯湯タンク、搬送車2台
浴槽容量	450～550ﾘｯﾄﾙ程度で入浴者が肩までつかれるものであること
貯湯タンク容量	500～550ﾘｯﾄﾙ程度
ドア開閉方法	手動または半自動方式、自動ロック機構を備えていること
給湯方式	ミキシング方式であり、浴槽用・シャワー用が同時に使用でき、且つ自動給湯制御機能を備えていること
安全管理	給湯、浴槽内の温度表示を別々に行い、特に高温時での通知や貯湯タンク内の温度が高騰した際での浴槽への送湯を自動停止する機能を備えていること
車椅子（搬送車）	リクライニング機能を有し、背もたれは限りなく水平に保てるようにできること リクライニング機能としての水平許容範囲としては0～15°の範囲とする 車椅子の槽内への進入の際にはキャスターが浴槽に入らないこと
その他	○殺菌装置機構付であること ○気泡浴装置機能を装備していること ○ハンドシャワーを装備していること ○介助者がスムースに動作できるようなレイアウトを充分検討すること ○設計時において、装置が介助浴室内に適切に配置され、介助者の動作がスムースに行えるように配慮すること ○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

仰臥位入浴装置

設置部門	病棟部門　脳・神経系ユニット
設置場所	介助浴室
設置台数	1台
用途	患者さんへの入浴を快適に行える装置であること
仕様	担架スライドが安易に行え、患者さんおよび介助者が快適であるもの
機器構成	浴槽本体、ストレッチャー1台、担架1台
浴槽タイプ	片袖型の浴槽昇降式であり、昇降機構としては電動油圧式であること
浴槽容量	500～550ﾘｯﾄﾙ程度
給湯方式	ミキシング方式であり、浴槽用・シャワー用が同時に使用でき、且つ自動給湯
	制御（停止）機能を備えていること
温度表示	給湯温度・浴槽内温度表示が行えること
入浴スイッチ	センター、サイドにそれぞれ1箇所以上装備されていること
担架接続	スムースにスライドができ、且つ、安全なロック機構を備えていること
肩掛け湯装置	浴槽側または担架側に備えていること
シャワー	ハンドシャワーを有しており、ミキシング方式は独立していること
ストレッチャー	電動昇降型であること
その他	○リクライニング調整機構を装備していること ○オートスライド機構を装備していること ○殺菌装置機能を装備していること ○気泡浴装置機能を装備していること ○オーバーフローを設けていること ○介助者がスムースに動作できるようなレイアウトを充分検討すること ○設計時において、装置が介助浴室内に適切に配置され、介助者の動作がスムースに行えるように配慮すること ○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

シャワー式入浴装置

設置部門	病棟部門　回復リハビリ系ユニット
設置場所	介助浴室
設置台数	1台
用途	患者さんへの入浴を快適に行える装置であること
仕様	スプレーノズルによるシャワー方式ユニット
機器構成	浴槽本体および附属収納搬送車1台
設定温度範囲	38～42℃の範囲で1℃単位で設定できること
温度表示	デジタル表示
温度管理	設定温度範囲外の温度になった場合自動停止が行える機能を有していること
シャワー	ハンドシャワーを有していること
収納搬送車	電動昇降型であること
その他	○自動殺菌装置機能を装備していること ○清掃が容易に行えること ○介助口を設けていること ○観察窓を設けていること ○常に安定したシャワー量を吐出できるように加圧ポンプを内蔵していること ○介助者がスムースに動作できるようなレイアウトを充分検討すること ○設計時において、装置が介助浴室内に適切に配置され、介助者の動作がスムースに行えるように配慮すること ○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

リフト付入浴装置

設置部門	病棟部門
設置場所	介助浴室
設置台数	1台
用途	介助浴室でのリフト付入浴
仕様	普通入浴およびリフトを使用した入浴介助装置
機器構成	浴槽本体及び入浴補助リフト
昇降機構	電動昇降式
昇降ストローク	550～600㎜程度
その他	○リフト付入浴装置一台につきどのような体形の患者さんでも対応できる仕様であること ○リフトを使用しない患者さんの場合においては、リフトが邪魔にならないような仕様であること ○設計時において、装置が介助浴室内に適切に配置され、介助者の動作がスムースに行えるように配慮すること ○本装置までの供給･接続を考慮すること
備考	○取扱説明書は、日本語のものを用意するものとする

ア　病院施設整備業務

⑥ 総合医療情報システムの開発・整備業務

項目	内容
1.　目的	本業務の目的については、「ウ　病院運営業務　④ 総合医療情報システム運営業務」にあわせて記載しているため、同項を参照のこと。
2.　業務内容	本業務の業務内容については、「ウ　病院運営業務　④ 総合医療情報システム運営業務」にあわせて記載しているため、同項を参照のこと。
3.　業務の要求水準	本業務の要求水準については、「ウ　病院運営業務　④ 総合医療情報システム運営業務」にあわせて記載しているため、同項を参照のこと。
3.　費用負担区分	本業務の費用負担区分については、「ウ　病院運営業務　④ 総合医療情報システム運営業務」にあわせて記載しているため、同項を参照のこと。

ア　病院施設整備業務

⑦ 工事監理業務

項目	内容
1．目的	設計図書と照合し、工事が設計図書のとおり実施されていることを確認する。
2．業務内容	
(1)　対象工事	病院施設とする。 1）病院本体（病院本館及びエネルギー部門を含む施設） 2）付帯施設 植栽（庭園を含む）、駐車場、駐輪場、ヘリコプター緊急離発着場、車庫、塀、門扉、擁壁、構内道路、公告掲示板、サイン板・案内板、調整池　他 （造成工事含む）
(2)　業務範囲	・ 選定事業者は、建築基準法(法第５条の２）に規定される工事監理者を設置し、工事監理を行い、定期的に市から工事施工及び工事監理の状況の確認を受ける。また、市が要請したときは、工事施工の事前説明及び事後報告並びに工事現場での施工状況の確認を行う。 ・ 工事監理者は事業者を通じて工事監理者の状況を毎月市に定期報告し、市の要請があったときには随時報告を行うこと。 ・ 工事監理業務は「四会連合協定・建築監理業務委託契約約款」によることとし、その業務内容は「四会連合協定・建築監理業務委託書」に示された業務とする。 ・ 市への必要書類の提出は工事監理者が行う。

ア　病院施設整備業務

⑧ 周辺影響調査・対策業務

項目	内容
1．目的	建設工事に伴い近隣地域に及ぼす影響を調査・分析・検討し、適切な対策を講じることにより、近隣住民の安全を確保し、理解を得、円滑に工事を実施する。
2．業務内容	
(1)　対象工事	病院施設とする。 1)　病院本体（病院本館及びエネルギー部門） 2)　付帯施設 植栽（庭園を含む）、駐車場、駐輪場、ヘリコプター緊急離発着場、車庫、塀、門扉、擁壁、構内道路、公告掲示板、サイン板・案内板、調整池　他 （造成工事を含む）
(2)　業務範囲	次の調査を実施し、必要に応じ対策を講じる。 1)　騒音、振動対策 2)　車両交通対策 3)　歩行者対策 4)　地下水対策 5)　近隣対策 6)　その他 ・　工事中は、現道を使用することから一般車両の運行に支障となることを防ぐため、警備員を配置する。 ・　農道は、使用しない。 ・　周辺区域の関係団体に対し、必要に応じて工事連絡を行う。 ・　工事期間中の降雨、台風等気象条件の変化や災害時に対応出来るよう体制を整え、安全管理を徹底する。

ア　病院施設整備業務

⑨電波障害調査･対策業務

項目	内容
1. 目的	建設工事及び建物による電波障害を調査･分析･検討し、障害の発生が予測される場合は適切な対策を講じる。
2. 業務内容	
(1) 業務範囲	次の業務を実施する。 1) 電波障害調査（事前･事後調査） 2) 対策業務 ア　一時対応方式 ・ 調査の結果、既存受信設備の更新（受信局の変更･アンテナの取替･ブースターの取付･ケーブルの取替等）で改善がされる場合は一時対応とする。 イ　ＣＡＴＶ（近江八幡ケーブルネットワーク）方式 ・ 加入申請業務 連絡先　滋賀県近江八幡市桜宮町２３６番地 ＴＥＬ　０７４８－３４－７７８８ 近江八幡ケーブルネットワーク株式会社 ・ 工事負担金　戸建住宅工事費　(65,000円/戸) ・ 維持管理費　戸建住宅　(120,000円/戸)
(2) 参考資料等	電波到来方向図（【図6】） 彦根局、京都局からの電波を受信している地域に障害の発生が予測される。 提案される建物計画に対して、参考資料を基に電波障害が予測される住戸を想定すること。想定した住戸において既にCATV化の対応がされている住戸を除くものについて対策を行う必要が生じると想定すること。 なお、工事中における一時的な障害や建物反射によるゴーストにおいても対策工事を想定すること。

⑩ 建設工事に伴う各種申請業務

項目	内容
1. 目的	事業者が行う建設に伴う各種申請業務を実施し、事業の円滑な進行を確実にする。
2. 業務内容	
(1) 業務範囲	選定事業者が実施する申請業務 ・ 本件施設等の設計及び建設に関する事業上の義務を履行するために必要な一切の許認可は選定事業者が自己の責任及び費用において実施する。 ・ 市は、選定事業者の要請がある場合は選定事業者による許認可の取得、届出等に必要な資料の提出その他について協力する。
(2) 参考	1）中高層建築物計画書 2）免震評定申請 3）防災計画書 4）建築基準法等に基づく許認可申請 上記申請についての諸費用を含むものとする。

ア　病院施設整備業務

⑪補助金・許認可等申請業務

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1．目的</td><td>市が行う補助金・許認可等の申請業務について、技術的協力及び書類作成の補助業務を行う。</td></tr>
<tr><td>2．業務内容</td><td></td></tr>
<tr><td>(1)　業務範囲</td><td>・市が実施する補助金申請業務について選定事業者は書類作成等の補助業務を行う。
・市が実施する許認可等の申請業務について選定事業者は技術的協力及び書類作成業務を行う。</td></tr>
<tr><td>(2)　補助金対象メニュー</td><td>国庫補助金を受けようとする事業
1　病院群輪番制病院施設・設備整備事業
2　がん診療施設施設・設備整備事業
3　小児医療施設施設・設備整備事業
4　医学的リハビリテーション施設施設・設備整備事業
5　院内感染対策施設・設備整備事業
6　看護婦勤務環境改善施設整備補助金
7　災害医療センター施設・設備事業
8　第２種感染症施設整備事業

県補助金を受けようとする事業
1　医療施設近代化施設整備補助金</td></tr>
<tr><td>(3)補助金の流れ（参考）</td><td>補助金の申請（平成17年3月末竣工想定）
1 事前協議（基本設計及び実施設計終了後）　平成14年度
2 事業計画書の提出　平成15年度
3 申請事業者に対いし内容確認（補助金内示）
4 補助金交付申請書の提出　平成16年度
5 補助金交付決定　平成16年度
6 補助金交付　平成17年4月～5月

補助金の実績報告
1 実績報告書提出
2 補助金の確定通知
3 補助金交付</td></tr>
</table>